

重要

再生できるディスクの種類・・・ 123ページ

ディスクの操作について・・・ 123ページ

7.0型ワイドシステムTV/DVD-A/DVD-V/  
VCD/CD/チューナー・5.1ch対応・  
MP3対応・DSPメインユニット

# AVH-P9DVA

取扱説明書

必ずお読みください

目次

はじめに

機能の紹介

間く

ラジオ

CD

MP3

マルチCD

マルチMD

見る

TV

DVD

ビデオCD

DVDプレーヤー

音を操る

DSP

設定

各種の設定

DVDの機能設定

その他の機能

付録

目次 6ページ

carrozzeria

# 必ずお読みください

## 安全のために必ずお守りください

### 絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



**注意**

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

## 安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

### 警告

#### [使用方法]

##### 運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

##### 走行中にテレビやDVDなどを見ない



禁止

運転者がテレビやDVDなどを見る時は、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやDVDなどを見ると前方不注意となり、交通事故の原因となります。

#### [異常時の処置]

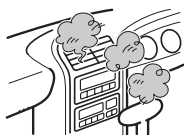
##### 故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

##### 異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

##### ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



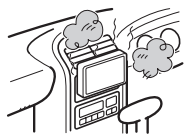
必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

## ⚠ 注意

### [使用方法]

モニター部にヒーターの熱などを当てない



禁止

モニター部にエアコンのクーラーの冷気やヒーターの熱を当てないでください。そのままご使用になると故障や火傷の原因となることがあります。

## 安全走行のために

本機はパーキングブレーキのオン/オフを検知しており、走行中にテレビやDVDの映像を見ることができないようになっています。(走行中は次のようなメッセージが表示されます。)



例：テレビを見ようとしたとき

このようなメッセージは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけると解除されます。

## リアモニターについて

リアモニター出力に、後部座席専用のモニターを接続すれば、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。リアモニター出力は、パーキングブレーキのオン/オフに関係なく映像が出力されます。リアモニター出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

## 携帯電話をお使いになる際のご注意

携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナをTVモニターに近づけないでください。画面に、はん点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

## バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

## ドルビーデジタル/DTS対応

本機では、5.1チャンネルで収録された映画/音楽のDVDを臨場感豊かに再現することができます。



- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。  
Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 「DTS」および「DTS Digital Surround」は、Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。

## MP3再生対応

MP3ファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録されたディスクが再生可能です。（→126、134ページ）

### MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配信システムなど。

# 目次

## 必ずお読みください

安全のために必ずお守りください	2
安全上のご注意	3
安全走行のために	4
バッテリー上がりを防ぐために	4
ドルビーデジタル/DTS対応	5
MP3再生対応	5

## はじめに

本体・モニター	10
各部の名称	10
リモコン	12
各部の名称	12
リモコンに電池を入れる	14
リモコン取り扱い上のご注意	14
リモコンの操作モードについて	15
50枚型マルチCDプレーヤーをご使用になる場合のご注意	15
電源のON/OFF	16
電源ON	16
電源OFF	16
ソースON	17
ソースOFF	17
デモモードについて	17
モニターの操作	18
モニターの収納	18
モニターの角度調節	18
モニターを一時的に手前に倒す	19
ディスクの出し入れ	20
ディスクの入れかた	20
ディスクの取り出しかた	20
メニュー操作の基本	21
ジョイスティックでのメニュー操作	21
聞きたいソース(音源)を選ぶ	22
ソースを切り換える	22
ナビゲーションユニットのソースを切り換える	22
音量を調節する	23
情報プレートの見かた	24

## 機能の紹介

聞く	25
ラジオ	25
基本的なラジオ画面の見かた	25

基本的なリモコンの操作方法	25
CD	26
基本的なCD画面の見かた	26
基本的なリモコンの操作方法	26
MP3	27
基本的なMP3画面の見かた	27
基本的なリモコンの操作方法	27
見る	28
テレビ	28
基本的なテレビ画面の見かた	28
基本的なリモコンの操作方法	28
DVDオーディオ	29
基本的なDVDオーディオ画面の見かた	29
基本的なリモコンの操作方法	29
DVDビデオ	30
基本的なDVDビデオ画面の見かた	30
基本的なリモコンの操作方法	30
ビデオCD	31
基本的なビデオCD画面の見かた	31
基本的なリモコンの操作方法	31
音を操る	32
DSP(デジタルシグナルプロセッサー)...	32
DSPメニュー(AUDIOメニュー)	32
画面の見かた	32
基本的なリモコンの操作方法	32

## ラジオ(TUNER)

ラジオを聞く	33
ラジオ(TUNER)に切り替える	33
バンドを切り替える	33
放送局を選んで、ラジオを聞く	33
いろいろな操作	34
FUNCTIONメニューを表示する	34
受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる(BSM)	34
プリセットチャンネルリストへ登録する(PRESET CH MEMORY)	35
放送局名を選ぶ(STATIONS NAME MEMO)	36

## CD

CDを聞く	37
内蔵プレーヤー(CD)に切り替える	37
再生を停止する	37
一時停止する	37
早戻し/早送りする	37

トラックの選択 (頭出し) をする	37
<b>いろいろな再生をする</b> .....	<b>38</b>
FUNCTIONメニューを表示する	38
リピート再生する (REPEAT)	38
ランダム再生をする (RANDOM)	39
再生を一時停止 (ポーズ) する (PAUSE)	39
スキャン再生する (SCAN)	39
リストからトラック名で選んで再生する (TRACK LIST)	40
タイトルを入力する	40
「CD TEXT」の情報表示	41

## MP3

<b>MP3を聞く</b> .....	<b>42</b>
内蔵プレーヤー (MP3) に切り替える	42
再生を停止する	42
一時停止する	42
早戻し/早送りする	42
トラックの選択 (頭出し) をする	43
フォルダーを切り替える	43
<b>いろいろな再生をする</b> .....	<b>43</b>
FUNCTIONメニューを表示する	43
リピート再生する (REPEAT)	44
ランダム再生をする (RANDOM)	44
再生を一時停止 (ポーズ) する (PAUSE)	45
スキャン再生する (SCAN)	45
曲名で選んで再生する	46

## TV

<b>テレビを見る</b> .....	<b>47</b>
テレビ (TV) に切り替える	47
バンドを切り替える	47
チャンネルを選んで、テレビを見る	47
<b>いろいろな操作</b> .....	<b>48</b>
FUNCTIONメニューを表示する	48
受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる (BSSM)	48
プリセットチャンネルリストへ登録する (PRESET CH MEMORY)	49
2カ国語放送の音声を切り替える (MULTIPLEX)	50

## DVD

<b>DVDを見る</b> .....	<b>51</b>
内蔵プレーヤー (DVD) に切り替える	51

再生を停止する	52
一時停止する	52
コマ送り/スロー再生する	52
早戻し/早送りする	52
チャプター (トラック) の選択 (頭出し) をする	52
タイトル (グループ) を切り替える	53
静止画を切り替える (DVDオーディオのみ)	53
メニューを操作する	53
再生中に音声や言語を切り替える	53
再生中に字幕言語を切り替える	54
再生中にアングルを切り替える	54

<b>いろいろな再生をする</b> .....	<b>54</b>
FUNCTIONメニューを表示する	54
リピート再生する (REPEAT)	55
ランダム再生をする (RANDOM) (DVDオーディオのみ)	55
再生を一時停止 (ポーズ) する (PAUSE)	56
スキャン再生する (SCAN) (DVDオーディオのみ)	56
見たい (聞きたい) 場所をさがす (SEARCH)	57
ダイナミックレンジコントロールを使う (D.R.C)	58

## ビデオCD

<b>ビデオCDを見る</b> .....	<b>59</b>
内蔵プレーヤー (VideoCD) に切り替える	59
再生を停止する	59
一時停止する	59
コマ送り/スロー再生する	60
早戻し/早送りする	60
トラックの選択 (頭出し) をする	60
トラックを指定して再生する (ダイレクトサーチ)	60
PBCメニューを操作する	61
音声の出力方法を切り替える	61
<b>いろいろな再生をする</b> .....	<b>61</b>
FUNCTIONメニューを表示する	61
リピート再生する (REPEAT)	62
再生を一時停止 (ポーズ) する (PAUSE)	63
見たい場所をさがす (SEARCH)	63
音声の出力方法を切り替える (L/R SELECT)	64

## マルチCD (M-CD)

CDを聞く .....	65
マルチCD (M-CD) に切り替える	65
ディスクを切り替える	65
早戻し／早送りする	65
トラックの選択 (頭出し) をする	65
いろいろな再生をする .....	66
FUNCTIONメニューを表示する	66
リピート再生する (REPEAT)	66
ランダム再生をする (RANDOM)	67
再生を一時停止 (ポーズ) する (PAUSE)	67
スキャン再生する (SCAN)	68
CDの音質を調整する (COMPRESSION)	69
リストからトラック名で選んで再生する (TRACK LIST)	70
タイトルを入力する (TITLE EDIT)	70
「CD TEXT」の情報表示	71
ITSを使う .....	72
ITSリストを作る (ITS MEMORY)	72
ITSリストから再生する (ITS PLAY)	73
ITSリストから1曲ずつ削除する	73
ITSリストからディスクごとに削除する	74

## マルチMD (M-MD)

MDを聞く .....	75
マルチMD (M-MD) に切り替える	75
ディスクを切り替える	75
早戻し／早送りする	75
トラックの選択 (頭出し) をする	75
タイトル表示を切り替える	75
いろいろな再生をする .....	76
FUNCTIONメニューを表示する	76
リピート再生する (REPEAT)	76
ランダム再生をする (RANDOM)	77
スキャン再生する (SCAN)	77

## DVDプレーヤー (S-DVD)

ディスクを再生する .....	78
DVDプレーヤー (S-DVD) に切り替える	78
ディスクを切り替える (マルチDVDの場合)	78
早戻し／早送りする	78

トラック (チャプター) の選択 (頭出し) をする	78
DVDプレーヤーの電源をON/OFFする	79
いろいろな再生をする .....	79
FUNCTIONメニューを表示する	79
リピート再生する (REPEAT)	80
ランダム再生をする (RANDOM)	80
再生を一時停止 (ポーズ) する (PAUSE)	81
スキャン再生する (SCAN)	81
ITS再生について	82
CDのタイトルを入力する	82

## DSP (Digital Signal Processor)

AUDIOメニューを表示する	83
イコライザーを使う	84
オートイコライザーをON/OFFする	86
リスニングポジションを選ぶ	86
前後左右の音量バランスを調節する	87
各ソースの音量の違いをそろえる	87
オリジナルの音質で聞く	88
ドルビープロロジックIIを使う	88
接続したスピーカーの設定をする	89
カットオフ周波数を設定する	91
スピーカー出力レベルを調節する	92
テストトーンでスピーカーレベルを調節する	93
タイムアライメントを使う	94
オートタイムアライメント／イコライジング (Auto TA/EQ) を行う前に	95
オートタイムアライメント／イコライジング (Auto TA/EQ) を行う	96

## 各種の設定

各種の設定をする .....	98
初期設定 .....	98
初期設定メニューを表示する	98
外部機器の音声を聞く (AUX)	98
外部機器の名称を入力する	99
音の歪みを補正する (DIGITAL ATT)	100
ミュート／アッテネートを設定する (TEL/GUIDE)	100
ディスクの自動再生を設定する (DVD AUTO PLAY)	101



夜間のサブディスプレイの明るさを切り替える (SUB DISPLAY DIMMER)	101
オーディオの設定をリセットする (AUDIO RESET)	102
ナビゲーションシステム接続時の設定をする (NAVI MIXING)	102
<b>基本設定</b>	<b>103</b>
基本設定メニューを表示する	103
ビデオ入力を設定する (AV INPUT)	103
バックカメラの接続を設定する (BACK UP CAMERA)	104
時計を設定する (CLOCK ADJUST)	105
モニターの自動開閉を設定する (AUTO FLAP)	105
モニターのセットバックを設定する (FLAP SET BACK)	106
リアモニターの表示を設定する (REAR MODE)	106

## DVDの機能設定

<b>DVDの機能を設定する</b>	<b>107</b>
DVDセットアップメニューを表示する	107
字幕言語を設定する	107
音声言語を設定する	108
メニュー言語を設定する	109
アシスト字幕を設定する	109
マルチアングルマークの表示／非表示を設定する	110
TVアスペクトを設定する	110
視聴制限を設定する (パレンタルロック)	111
ボーナスグループを再生する	113

## その他の機能

瞬時に音量を小さくする (ATT)	115
交通情報を受信する (TI)	115
エンタテインメントを表示させる	115
DVDのコンディションメモリー	116

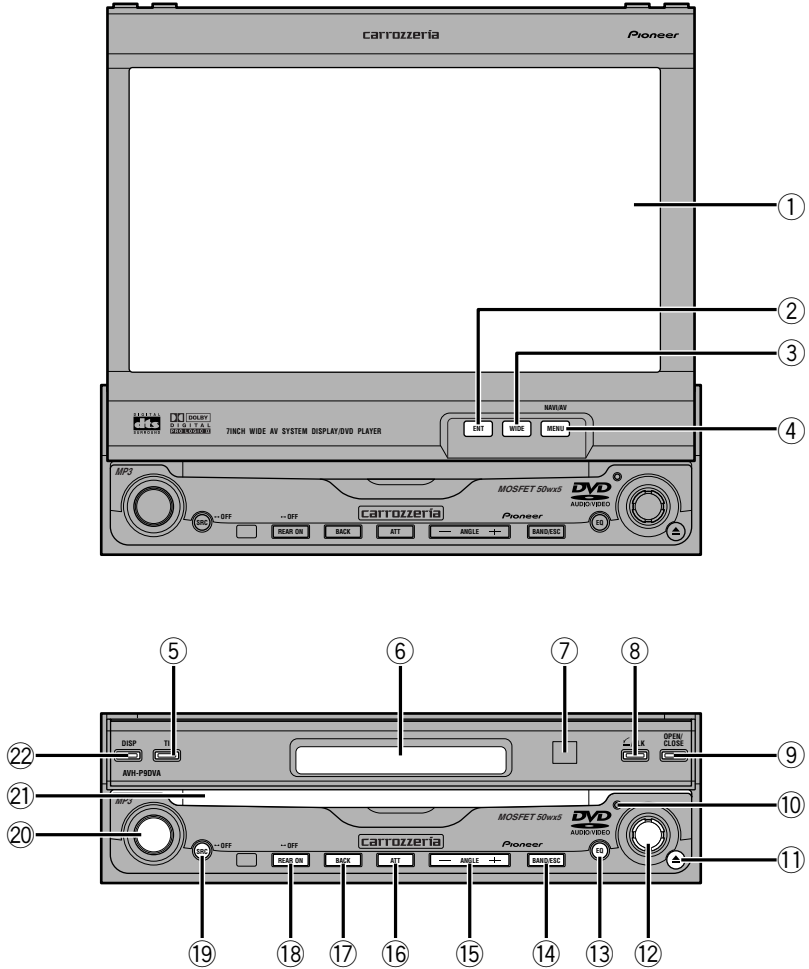
## 付録

ワイド画面の拡大方法を切り替える	117
ワイドモードの種類	118
画質調整	119
リアモニターを使うとき	120
リアモニターの映像の切り替え	120
本機のリセット	121
リモコンコードの設定	122
再生できるディスクの種類	123
DVDに表示されているマークの意味	125
著作権について	125
MP3について	126
フォルダーとMP3ファイルについて	126
MP3とは?	126
再生できるMP3ファイルについて	127
使用上の注意	128
モニターの正しい使いかた	129
言語コード表	131
用語解説	132
故障かな?と思ったら	135
こんなメッセージが表示されたら	140
保証書とアフターサービス	142
仕様	143
索引	145

# はじめに

## 本体・モニター

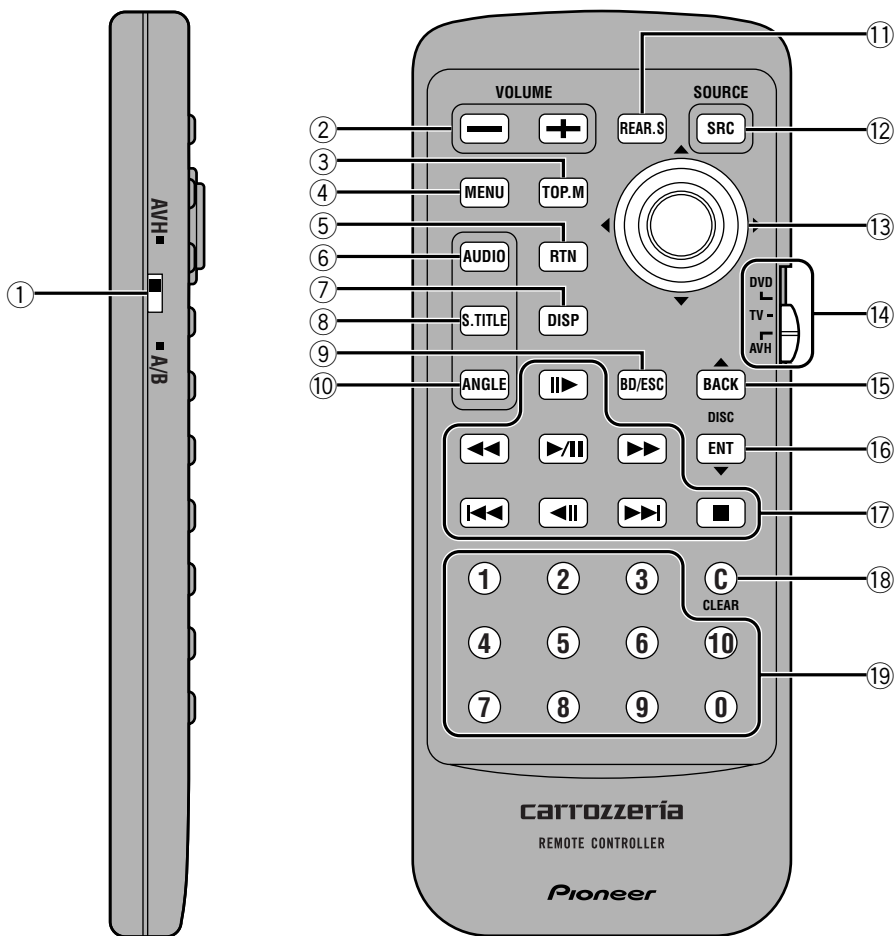
### 各部の名称



















- ① **モニター**  
7インチのワイド液晶モニターです。
- ② **ENTボタン (→115ページ)**  
画面表示 (エンタテインメント) を切り替えます。
- ③ **WIDEボタン (→117ページ)**  
ワイド画面の拡大方法を切り替えます。
- ④ **MENUボタン (→119ページ)**  
長く押すと、画質調整メニューに変わります。ナビゲーションシステムを接続している場合、ナビゲーション画面とソース画面を切り替えます。
- ナビゲーションシステムの操作については、ナビゲーションシステムの説明書をご覧ください。
- ⑤ **TIボタン (→115ページ)**  
交通情報を受信します。
- ⑥ **サブディスプレイ**  
モニターを収納した状態で、ソースの種類、ソース情報、時刻などを表示します。
- ⑦ **外光センサー (→119ページ)**  
周囲の明るさに合わせて画面の明るさを自動調整するためのセンサーです。
- ⑧ **一時可倒ボタン (→19ページ)**  
モニターを一時的に水平にします。
- ⑨ **OPEN/CLOSEボタン (→18ページ)**  
モニターを収納したり、立ち上げたりします。
- ⑩ **リセットボタン (→121ページ)**  
出荷時の設定に戻します。
- ⑪ **イジェクトボタン (→20ページ)**  
ディスクを取り出します。
- ⑫ **ジョイスティック**  
上下左右に操作したり、押すことでさまざまな機能を実行できます。
- ⑬ **EQボタン (→84ページ)**  
押すたびに、イコライザーを切り替えます。
- ⑭ **BAND/ESCボタン**  
ラジオやテレビのバンドを切り替えます。
- ⑮ **ANGLEボタン (→18ページ)**  
モニターの角度を調整します。
- ⑯ **ATTボタン (→115ページ)**  
音量を一時的に下げます。
- ソースがOFFのときに長く (約2秒) 押すと、デモモードをON/OFFします。
- ⑰ **BACKボタン**  
一つ前の画面に戻ります。
- ⑱ **REAR ONボタン (→120ページ)**  
リアモニターの映像を切り替えます。
- ⑲ **ソース (SRC) ボタン**  
ソースを切り替えます。
- ⑳ **VOLUME**  
音量 (ボリューム) を調節します。
- ㉑ **ディスク挿入口 (→20ページ)**  
ディスクを挿入します。
- ㉒ **DISPボタン**  
画面表示を切り替えます。

# リモコン

## 各部の名称

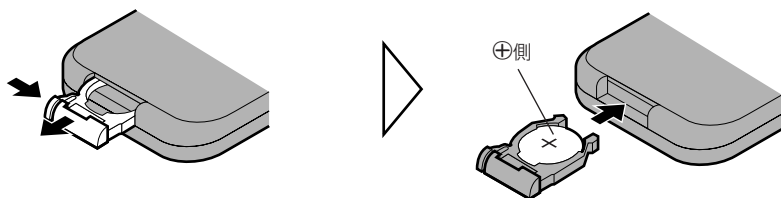


- ① リモコンコード切り替えスイッチ  
(→122ページ)  
リモコンコードを切り替えます。
- ② VOLUME (  /  ) ボタン  
音量 (ボリューム) を調節します。
- ③  ボタン  
DVDの最上位メニューを表示します。
- ④  ボタン  
DVDのディスクメニューを表示します。
- ⑤  ボタン  
ビデオCDのPBCメニューを表示します。
- ⑥  ボタン  
DVDの音声言語を切り替えます。
- ⑦  ボタン  
画面表示を切り替えます。
- ⑧  ボタン  
DVDの字幕言語を切り替えます。
- ⑨  ボタン  
ラジオやテレビのバンドを切り替えます。
- ⑩  ボタン  
DVDのアングルを切り替えます。
- ⑪  ボタン (→79、120ページ)  
リアモニターの映像を切り替えます。
- ⑫ ソース (  ) ボタン  
ソースを切り替えます。
- ⑬ ジョイスティック (  )  
上下左右に操作したり、押すことでさまざまな機能を実行できます。
- ⑭ 操作モード切り替えスイッチ  
(→15ページ)  
リモコンの操作モードを切り替えます。
- ⑮  ボタン  
一つ前の画面に戻ります。
- ⑯  ボタン  
画面表示 (エンタテインメント) を切り替えます。
- ⑰ ディスク操作ボタン  
各種ディスクの再生、停止、早送りなどの操作をします。
- ⑱ クリア (  ) ボタン  
入力した数字を取り消します。
- ⑲ 数字ボタン  
ラジオ、テレビのプリセットチャンネルや、ディスクのトラック番号などを直接指定します。

## リモコンに電池を入れる

電池ホルダーを取り出し、リチウム電池 (CR2025) を図のようにしてセットします。はじめてお使いになるときは、電池ホルダー部から出ているフィルムを引き抜いてください。電池があらかじめセットされていますので、すぐにお使いいただくことができます。

リモコンの操作可能範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

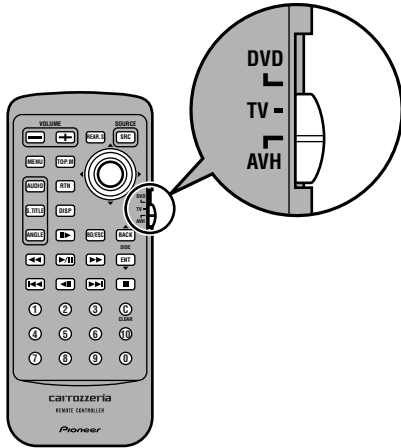


## リモコン取り扱い上のご注意

- ・リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- ・本体に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないときがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。
- ・付属の電池は充電できません。
- ・リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。
- ・不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。

## リモコンの操作モードについて

本機のリモコンには、DVDモード、TVモード、AVHモードの3つの操作モードがあります。



### DVDモード：

以下の操作をするときに使います。

- DVDのディスクメニューをジョイスティックで操作するとき
- DVDオーディオの静止画を切り替えるとき
- ビデオCDのPBCメニューを数字ボタンで操作するとき
- DVDのグループやタイトル、ビデオCDのトラックを数字ボタンで指定するとき

### TVモード：

リアモニター接続時に、フロントモニターから独立して、リアモニターでTVソースを操作するときに使います。チャンネル操作をジョイスティックで行います。

### AVHモード：

リモコンで、各ソースを操作するときに使います。各ソースの操作、メニューの操作を、本体のボタン、ジョイスティックと同様に、リモコンの各ボタンとジョイスティックで行います。通常は、このモードでお使いください。

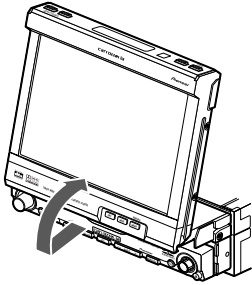
- DVDモードのときは、**[DISP]** **[ENT]** **[BACK]** ボタンは使えません。
- TVモードのときは、ジョイスティック、ソース (**[SRC]**)、VOLUMEボタンだけ使えます。

## 50枚型マルチCDプレーヤーをご使用になる場合のご注意

本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。

## 電源のON/OFF

### 電源ON



エンジンスイッチをACCまたはONにすると、本機の電源がONになり、モニターが自動的に立ち上がります。

- 基本設定の「AUTO FLAP」(→105ページ)をMANUALに設定していると、モニターは自動で立ち上がりません。OPEN/CLOSEボタンを押して、立ち上げてください。
- 本機とナビゲーションユニットを組み合わせている場合、エンジンスイッチをACCまたはONにしたときに、画面が黒くチラつくことがあります。故障ではありません。

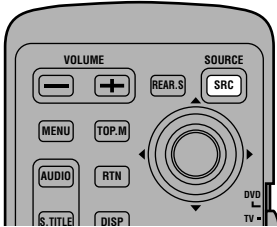
### 電源OFF

エンジンスイッチをOFFにすると、本機の電源がOFFになります。モニターは、自動的に収納されません。

基本設定の「AUTO FLAP」(→105ページ)をMANUALに設定していると、モニターは自動で収納されません。OPEN/CLOSEボタンを押して、収納してください。



## ソースON



ディスクを挿入すると、挿入されたディスクを自動判別して、内蔵プレーヤーになります。ラジオやテレビは、ソース (SRC) ボタンを繰り返し押しして選びます。

初期設定の「DVD AUTO PLAY」(→101ページ) をOFFに設定していると、ディスクを挿入しても自動的に内蔵プレーヤーにはなりません。ソース (SRC) ボタンを押してソースを選択してください。

## ソースOFF

本体またはリモコンのソース (SRC) ボタンを長く (約1秒) 押すと、ソースがOFFになります。モニターは立ち上がったまま、情報プレートのソースアイコンに「OFF」が表示されます。

本機の電源をOFFにしても、ナビゲーションユニットのソースはOFFになりません。ナビゲーションユニットのソースは、ナビゲーションユニットのリモコンでOFFにしてください。

## デモモードについて

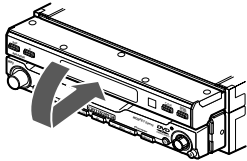
デモモードは、本機がソースOFFのときに、各ソースや本機の機能の画面を表示する機能です。デモを解除したいときは、ソースOFFのときに、本体のATTボタンを長く (約2秒) 押してください。もう一度長く (約2秒) 押すと、デモが始まります。

車のエンジンを止めた状態で、デモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。

赤リード線 (アクセサリ電源) は、常に車のバッテリーから電源を供給する電源回路には接続しないでください。車のイグニッションスイッチと本機の電源をOFFにしても、デモが表示され、バッテリー上がり原因になります。

## モニターの操作

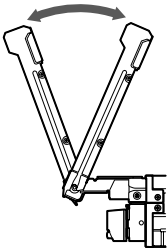
### モニターの収納



OPEN/CLOSEボタンを押すと、モニターを収納することができます。

モニターを収納した場合は、サブディスプレイに現在のソースの動作状態が表示されます。

### モニターの角度調節

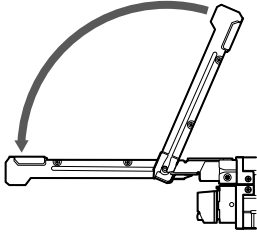


車外からの光が画面に反射しているときなどは、本体のANGLEボタンを押して、見やすくなるようにモニターの角度を調節することができます。

角度調節は、手で行わないでください。モニターに強い力が加わると、故障することがあります。

## モニターを一時的に手前に倒す

モニターの背後にあるスイッチを操作したいときなどは、本体の一時可倒ボタンを押すと、モニターを一時的に手前に倒すことができます。

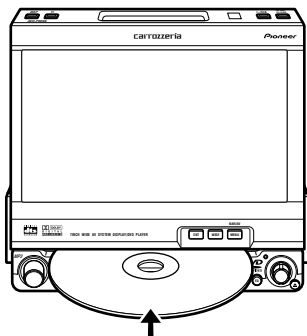


ボタンを押すとモニターが一時的に手前に倒れ、約10秒後に自動的に元に戻ります。

- モニターが完全に収納されたことを確認してください。モニターが途中で止まってしまった場合、OPEN/CLOSEボタンを押して必ず収納してください。（そのまま放置しないでください。故障することがあります。）
- モニターは、自動開閉機能により次のように動作します。
  - エンジンスイッチをON（またはACC）にすると、自動的にモニターが立ち上がります。車のエンジンスイッチをOFFにすると、OFFにしてから約6秒後にモニターが本体に収納されます。
  - 自動開閉機能を、OFFにすることもできます。（→105ページ）
- 本体にモニターを収納して車のエンジンスイッチをOFFにしたときは、再びエンジンスイッチをON（またはACC）にしても、モニターは立ち上がりません。OPEN/CLOSEボタンを押して立ち上げてください。
- モニターが車のコンソールやダッシュボードに当たる場合は、ANGLEボタンの（-）側を押して、モニターを手前に調節してください。
- 立ち上がったモニターを後ろに下げることができます。（→106ページ）
- 角度調節したモニターを立ち上げたときは、自動的に調節した角度になります。

## ディスクの出し入れ

### ディスクの入れかた

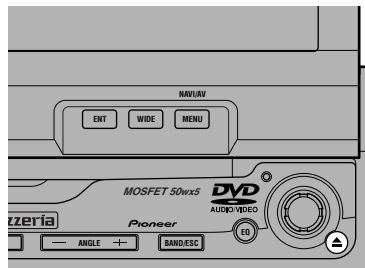


タイトル面を上にして、ディスクをディスク挿入口に差し込みます。  
挿入されたディスクの種類を自動判別して、再生が始まります。

- ・ 8 cmディスクもアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- ・ ディスク挿入口には、本機に対応したディスク以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

初期設定の「DVD AUTO PLAY」(→101ページ)をOFFに設定していると、ディスクを挿入しても自動的に内蔵プレーヤーにはなりません。ソース([SRC])ボタンを押してソースを選択してください。

### ディスクの取り出しかた

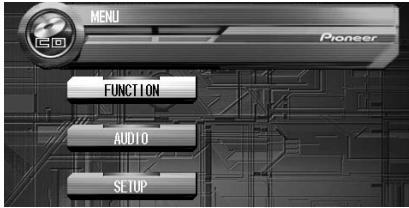


イジェクトボタンを押すと、ディスクが本機から出てきます。

取り出したディスクは、ケース等に入れて保管してください。

## メニュー操作の基本

各ソースでは、ジョイスティックを押すとメインメニューが表示されます。  
本機では、メインメニューから各ソースのさまざまな操作や設定を行います。



**FUNCTION** : ソースごとに割り当てられたFUNCTIONメニューが表示されます。

**AUDIO** : 各ソースごとに音色や音場のきめ細かな設定を行うAUDIOメニューが表示されます。

**SETUP** : 本機の基本設定のSETUPメニューが表示されます。

**NEXT** : 項目に次ページがある場合に表示され、選択すると次ページに切り替わります。

**PREV** : NEXTで表示したページから、前のページに戻ります。

## ジョイスティックでのメニュー操作

ジョイスティックを上下左右に操作して (◀▶)、メニュー項目を選択します。

選択された項目は、ハイライト (白く輝くように) 表示されます。  
現在設定されている項目には、黄色いランプが点灯します。

### 本書の表記

ジョイスティックの操作に関して、本書では以下のように表記しています。

メニュー項目や設定項目を選ぶ : (例) 「FUNCTION」を選択する、「ON」を選択する

選択項目から任意に選ぶ : (例) 放送局名を選ぶ

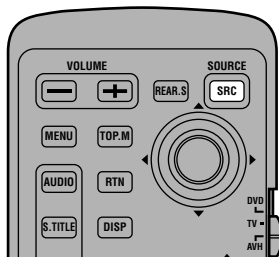
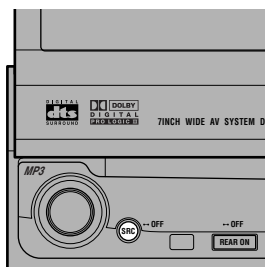
選択した項目特有の画面に切り替える : (例) 「○○」を選択し、ジョイスティックを押す

## 聞きたいソース（音源）を選ぶ

### ソースを切り換える

#### 1 ソース（SRC）ボタンを押す

押すごとに、ソースが切り替わります。



ラジオ（FM/AM）→ テレビ → ビデオ → 内蔵プレーヤー → マルチDVD/1枚型DVD（別売）→ マルチCD（別売）→ マルチMD（別売）→ External 1\*1（エクスターナルユニット1）→ External 2\*1（エクスターナルユニット2）→ AUX（外部機器）→ NAVI（ナビゲーションユニット）

- ・ 接続していないソースには切り替わりません。
- ・ CDやDVDがセットされていないときは、そのソースには切り替わりません。
- ・ ビデオの設定をVIDEOにしないと、ビデオには切り替わりません。（「ビデオ入力を設定する」→103ページ）
- ・ AUX（外部機器）の設定をONにしないと、AUXには切り替わりません。（「外部機器の音声を聞く」→98ページ）
- ・ 本機の青リード線（オートアンテナ）に車側のオートアンテナコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。

\*1 External（エクスターナルユニット）とは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品（将来発売される製品など）の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機では、2台のExternal（エクスターナルユニット）をコントロールすることができますが、External1、External2のどちらに切り替えても「EXT」が表示されます。2台のExternal（エクスターナルユニット）を接続した場合、本機によって、External1、External2が自動的に設定されます。

### ナビゲーションユニットのソースを切り換える

本機では、ナビゲーションユニットのソース（CDやミュージックサーバーなど）を切り換えることはできません。

#### 1 ソース（SRC）ボタンを押してナビゲーションユニット（NAVI）にする

#### 2 ナビゲーションユニットのソースを切り換える（ナビゲーションユニットの説明書）

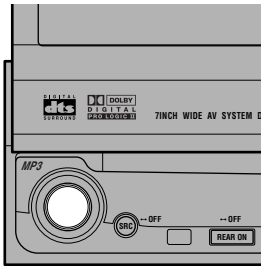
## 音量を調節する

本体での操作

### 1 VOLUMEを回す

0~40の範囲で調節することができます。

約4秒間、音量が表示されます。



リモコンでの操作

### 1 VOLUMEの **+** または **-** を押す

0~40の範囲で調節することができます。

約4秒間、音量が表示されます。



## 情報プレートの見かた

電源を入れたときや、ソースを選択したり切り替えたときには、画面の上部に情報プレートが表示されます。



情報プレートの左端にはソースアイコンがあり、現在選択しているソースが表示されます。また、ソースアイコンの右側には、選択したソースに応じて、再生時間や放送局名などのさまざまな情報が表示されます。(詳しくは、各ソースの説明をご覧ください。)

表示する内容が、一度に表示しきれない場合は、**[DISP]** ボタンを押すたびに表示が切り替わります。また、テレビやDVD、ビデオCDなどの映像ソースでは、情報プレートは、約8秒後に自動的に消えます。情報プレートを表示したいときは、**[DISP]** ボタンを押してください。



# 機能の紹介

## 聞く

### ラジオ

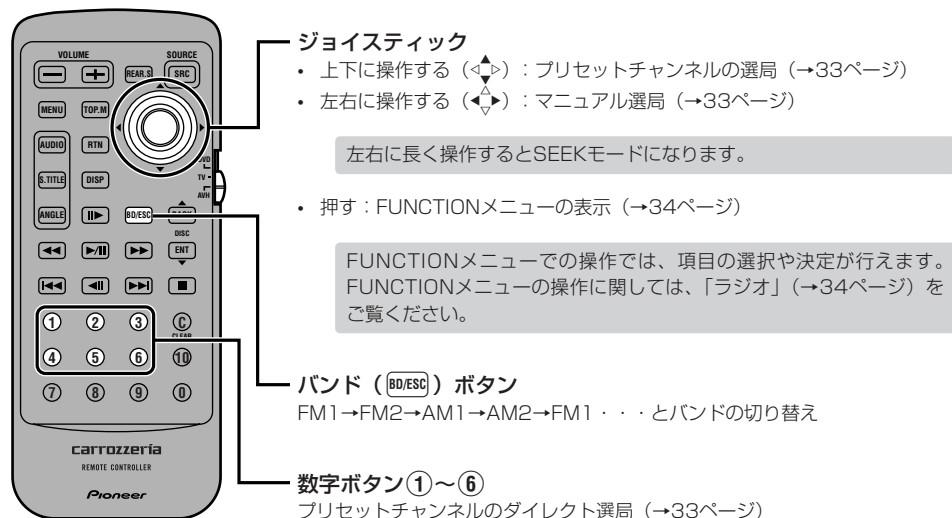
#### 基本的なラジオ画面の見かた

ラジオを聞くときの画面には、以下のような情報が表示されます。



#### 基本的なリモコンの操作方法

ラジオの操作は、本体の各ボタン（→10ページ）とリモコンのAVHモードで行います。



## CD

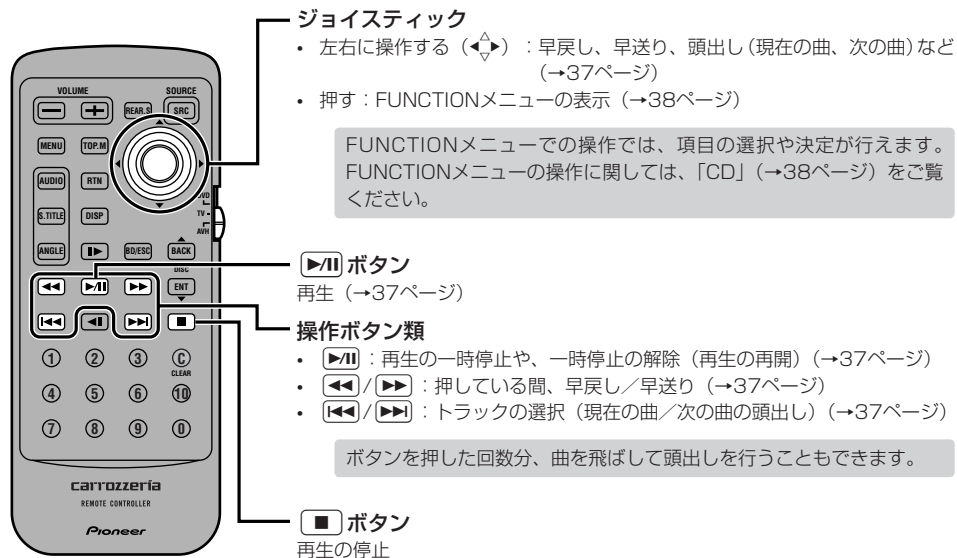
### 基本的なCD画面の見かた

CDを聞くときの画面には、以下のような情報が表示されます。



### 基本的なリモコンの操作方法

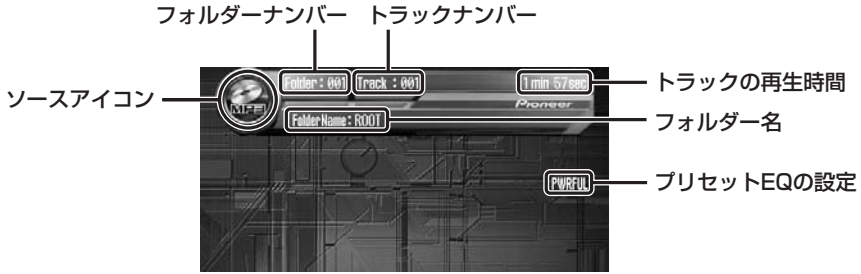
CDの操作は、本体の各ボタン (→10ページ) とリモコンのAVHモードで行います。



## MP3

## 基本的なMP3画面の見かた

MP3を聞くときの画面には、以下のような情報が表示されます。



## 基本的なリモコンの操作方法

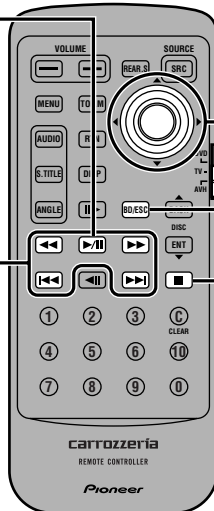
MP3の操作は、本体の各ボタン（→10ページ）とリモコンのAVHモードで行います。

**▶|| ボタン**  
再生（→42ページ）

## 操作ボタン類

- ▶|| : 再生の一時停止や、一時停止の解除（再生の再開）（→42ページ）
- ◀▶ / ▶▶ : 押している間、早戻し／早送り（→42ページ）
- ◀◀ / ▶▶ : トラックの選択（現在の曲／次の曲の頭出し）（→43ページ）

ボタンを押した回数分、曲を飛ばして頭出しを行うこともできます。



## ジョイスティック

- 左右に操作する (◀▶) : 早戻し、早送り、頭出し（現在のトラック、次のトラック）など（→42ページ）
- 上下に操作する (◀▶) : フォルダーの選択（→43ページ）
- 押す：FUNCTIONメニューの表示（→43ページ）

FUNCTIONメニューでの操作では、項目の選択や決定が行えます。FUNCTIONメニューについては、「MP3」（→43ページ）をご覧ください。

## BD/ESC ボタン

再生パートの切り替え（CD-DA／MP3混在ディスク再生時）

## ■ ボタン

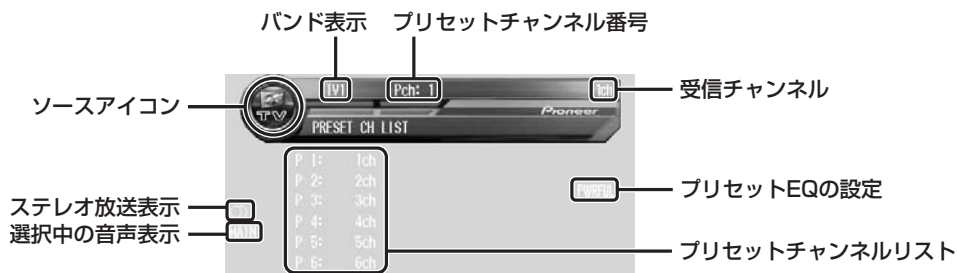
再生の停止

# 見る

## テレビ

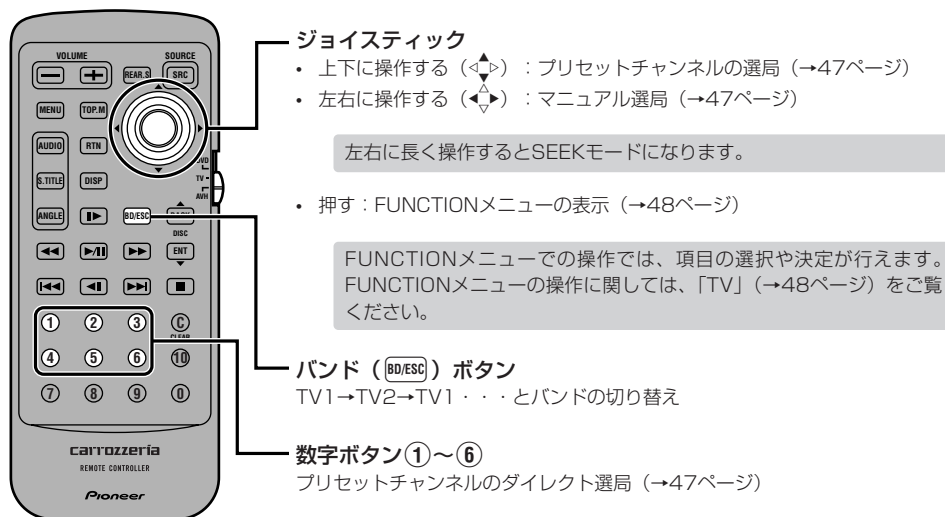
### 基本的なテレビ画面の見かた

テレビを見るときの画面には、以下のような情報が表示されます。  
情報プレートは、DISP ( DISP ) ボタンを押すと表示されます。



### 基本的なリモコンの操作方法

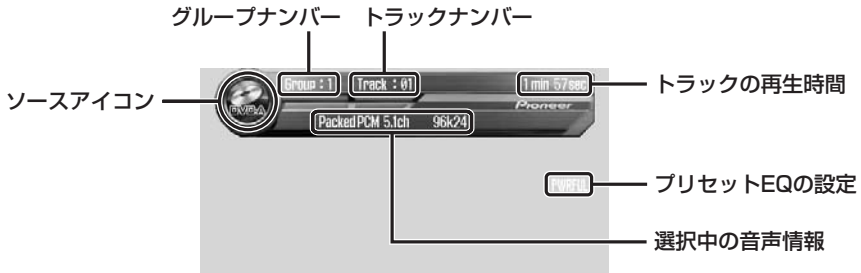
テレビの操作は、本体の各ボタン (→10ページ) とリモコンのAVHモードで行います。



## DVDオーディオ

## 基本的なDVDオーディオ画面の見かた

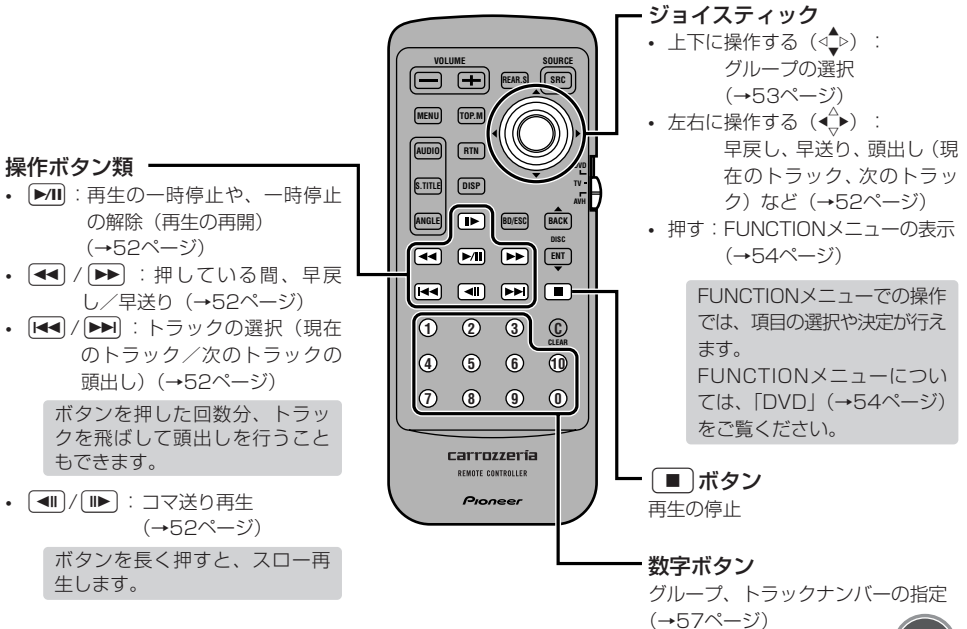
DVDオーディオを聞くときの画面には、以下のような情報が表示されます。  
情報プレートは、DISP (DISP) ボタンを押すと表示されます。



## 基本的なリモコンの操作方法

DVDオーディオの操作は、本体の各ボタン (→10ページ) とリモコンのAVHモードで行います。

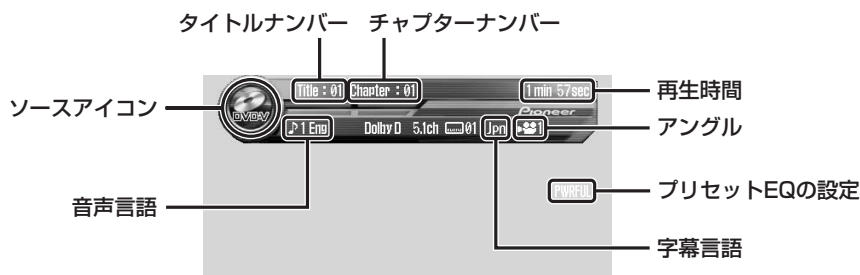
DVDのディスクメニューでジョイスティックを使うときや、ダイレクトサーチで数字ボタンを使うときは、DVDモードにします。



## DVDビデオ

### 基本的なDVDビデオ画面の見かた

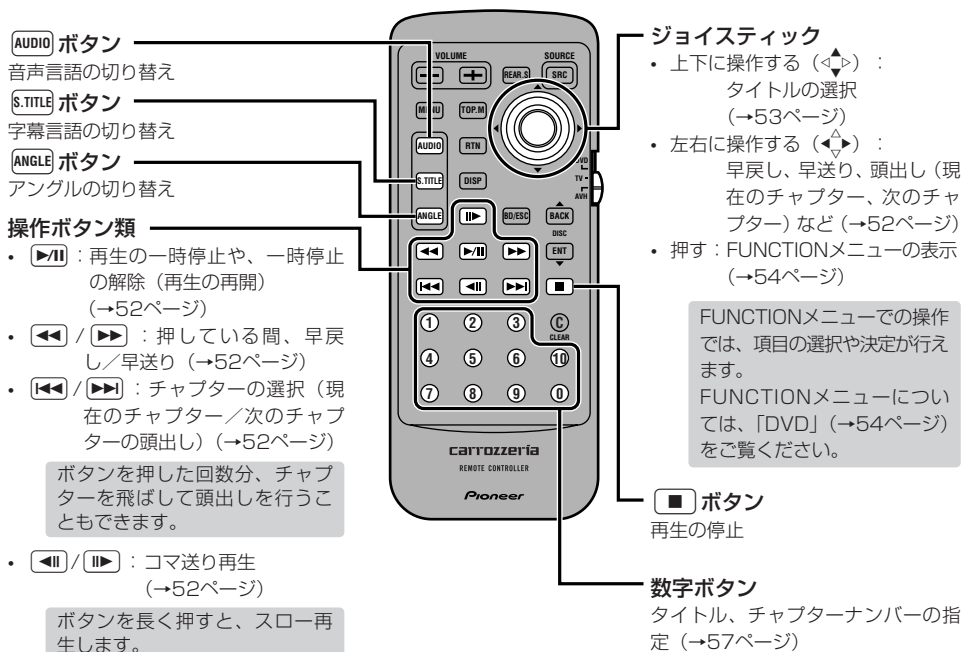
DVDビデオを見るときには、以下のような情報が表示されます。情報プレートは、DISP (DISP) ボタンを押すと表示されます。



### 基本的なリモコンの操作方法

DVDビデオの操作は、本体の各ボタン (→10ページ) とリモコンのAVHモードで行います。

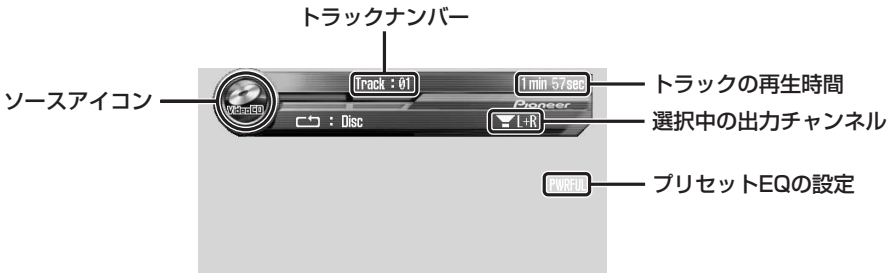
DVDのディスクメニューでジョイスティックを使うときや、ダイレクトサーチで数字ボタンを使うときは、DVDモードにします。



## ビデオCD

## 基本的なビデオCD画面の見かた

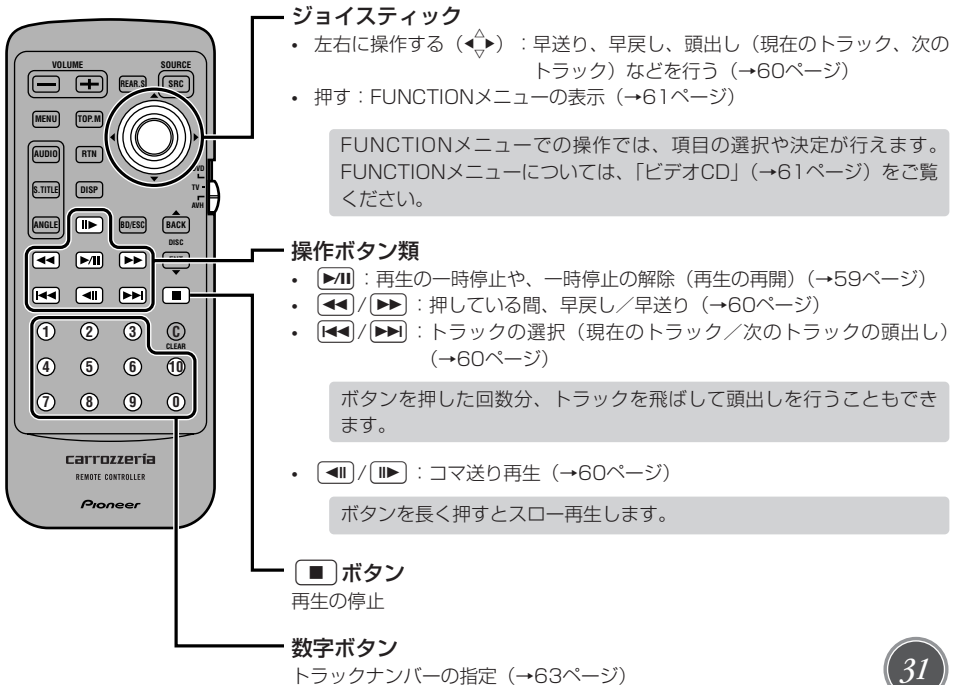
ビデオCDを見るときには、画面には、以下のような情報が表示されます。  
情報プレートは、DISP (DISP) ボタンを押すと表示されます。



## 基本的なリモコンの操作方法

ビデオCDの操作は、本体の各ボタン (→10ページ) とリモコンのAVHモードで行います。

PBCメニューやダイレクトサーチで数字ボタンを使うときは、DVDモードにします。

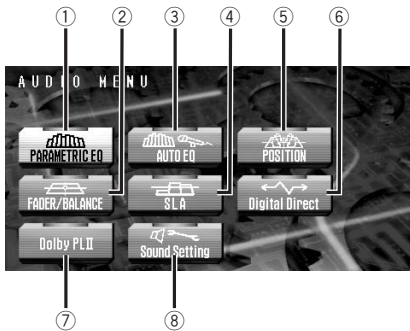


## 音を操る

## DSP (デジタルシグナルプロセッサー)

## DSPメニュー (AUDIOメニュー) 画面の見かた

DSP (デジタルシグナルプロセッサー) は、きめ細かく好みの音場を創り出すことができます。DSPは、FUNCTIONメニューから「AUDIO」を選択すると表示される「AUDIOメニュー」で設定します。



- ① イコライザーカーブを設定する (→84ページ)
- ② 音量バランスを調節する (→87ページ)
- ③ オートイコライザーをON/OFFする (→86ページ)
- ④ 各ソースの音量レベルを設定する (→87ページ)
- ⑤ リスニングポジションを設定する (→86ページ)
- ⑥ オリジナルの音質で再生する (→88ページ)
- ⑦ ドルビープロロジックⅡを設定する (→88ページ)
- ⑧ 接続したスピーカーの設定をする (→89ページ)

## 基本的なリモコンの操作方法

DSPの操作は、本体の各ボタン (→10ページ) とリモコンのAVHモードで行います。



選択されたボタンはハイライト (白く輝くように) 表示されます。



# ラジオ (TUNER)

## ラジオを聞く

### ラジオ (TUNER) に切り替える

#### 1 ソース (SRC) ボタンを押して、ラジオ (TUNER) にする

ソースを切り替えると、情報プレートとプリセットチャンネルリストが表示されます。

### バンドを切り替える

FMとAMのバンドを切り替えます。本機は、FM1、FM2、AM1、AM2と各バンド2つのリストを持っています。リストには6局まで表示されます。

#### 1 BD/ESC ボタンを押す

押すたびに、FM1→FM2→AM1→AM2と切り替わります。

バンド1とバンド2を切り替えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるのかわからない地域に行ったときに、バンド2に切り替えてBSM (→34ページ) を使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのままお使いになれます。

### 放送局を選んで、ラジオを聞く

放送局の選局は、ジョイスティックの左右操作によるマニュアル選局と、上下操作によるプリセットチャンネル選局とがあります。

#### マニュアル選局で選ぶ

#### 1 ジョイスティックを左右に操作する (◀▶)

周波数が切り替わります。

- ピッと音がするまで左右に長く操作すると、SEEKモードになります。SEEKモードとは、受信状態の良い周波数で自動的に止まる機能です。SEEKを止めるときは、もう一度ジョイスティックを左右に短く操作します。
- 数字ボタン①～⑥を長く押し (約2秒)、選択中のバンドのプリセットチャンネルに受信中の放送局を登録することができます。

#### プリセットチャンネルから選ぶ

プリセットチャンネルは、あらかじめ登録された放送局 (→35ページ) で、バンドごとに、それぞれ6局まで登録できます。

#### 1 ジョイスティックを上下に操作して (◀▶)、リストから聞きたい放送局を選ぶ

- リモコンの数字ボタン①～⑥を押して、表示されたリスト内のプリセットチャンネルを直接選ぶこともできます。
- 数字ボタン①～⑥を長く押し (約2秒)、選択中のバンドのプリセットチャンネルに受信中の放送局を登録することができます。

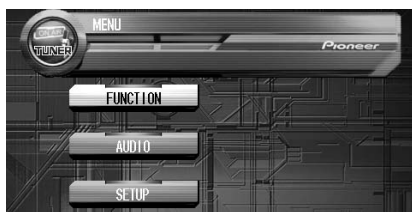
## いろいろな操作

受信状態の良い放送局の自動選局やプリセットチャンネルへの登録、放送局名選択の操作は、FUNCTIONメニューを表示して行います。

### FUNCTIONメニューを表示する

#### 1 ジョイスティックを押す

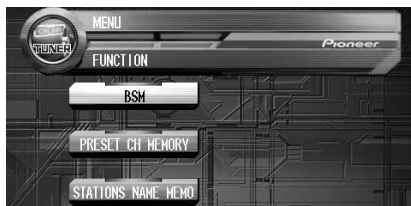
メインメニューが表示されます。



メインメニューでは、FUNCTIONメニューを表示する「FUNCTION」のほかに、DSP設定を行う「AUDIO」(→83ページ)と本機の基本設定を行う「SETUP」(→103ページ)があります。

#### 2 「FUNCTION」を選択し、ジョイスティックを押す

FUNCTIONメニューが表示されます。



- **[BD/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。FUNCTIONメニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

### 受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる (BSM)

受信状態の良い放送局を、自動的に6局まで記憶させます。

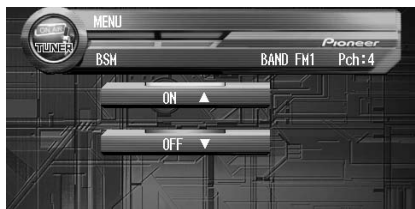
#### 1 **[BD/ESC]** ボタンを押して、BSMで記憶させたいバンドを選ぶ

#### 2 FUNCTIONメニューを表示する

#### 3 「BSM」を選択し、ジョイスティックを押す

BSM機能の選択項目(「ON」「OFF」)が表示されます。

## 4 「ON」 を選択する



BSMが始まります。  
BSM中は、画面に「BSM」が点滅します。  
BSMが終了すると、「OFF」が選択された状態に戻ります。

- ソース画面に戻る場合は [BD/ESC] ボタンを押してください。
- 受信状態の良い放送局が6局より少ないときは、以前に記憶したチャンネルが残ることがあります。
- BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー) の略です。

## プリセットチャンネルリストへ登録する (PRESET CH MEMORY)

バンドごとに、それぞれ6局まで登録することができます。お好みの放送局をお好みの順番で登録することができます。

1 [BD/ESC] ボタンを押して、記憶させたいバンドを選ぶ

2 FUNCTIONメニューを表示する

3 「PRESET CH MEMORY」を選択し、ジョイスティックを押す

プリセットチャンネルリストと選局バーが表示されます。

4 ジョイスティックを左右に操作して (◀▶)、登録したい放送局を選局する



ジョイスティックをピツと音がするまで操作して、SEEKモードで選局することもできます。

5 ジョイスティックを上下に操作して (◀▶), 登録したいリストの場所を選ぶ

## 6 ピックと音がするまで、ジョイスティックを長く (約2秒) 押す

選んだ場所に黄色のランプが点灯し、放送局名が表示され、登録が完了します。

- 続けて登録することができます。
- ソース画面に戻る場合は、**[BD/ESC]** ボタンを押してください。

## 4 ジョイスティックを上にも操作して (▲)、放送局名を変更する

## 5 **[BD/ESC]** ボタンを押して、ソース画面に戻る

- 選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、“No data”と表示されます。
- 放送局名を表示させたくないときは、“-----” (全て空白) を選んでください。
- パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCDをお使いの場合、モジュレーター周波数に合わせて、放送局名を“FM M-CD”に変更して表示することができます。

## 放送局名を選ぶ (STATIONS NAME MEMO)

同じ周波数でも地域によって受信する放送局は異なります。受信している放送局名と表示されている放送局名が異なる場合に、放送局名の表示を変更することができます。

本機に登録されていない放送局名は選べません。

## 1 実際の放送局名と表示が異なる場合、FUNCTIONメニューを表示する

## 2 「STATIONS NAME MEMO」を選択し、ジョイスティックを押す

放送局名選択バーが表示されます。

## 3 ジョイスティックを左右に操作して (◀▶)、放送局名を選ぶ



## CDを聞く

ディスク挿入口にディスクを挿入するか、他のソースから内蔵プレーヤーに切り替えた場合に、自動的に再生が始まります。

## 内蔵プレーヤー (CD) に切り替える

### 1 ソース (SRC) ボタンを押して内蔵プレーヤー (CD) にする

ソースを切り替えると、情報プレートが表示されます。


- ディスク情報の読み込みなど、準備動作中には「FORMAT READ」が表示され、操作はできません。準備動作が終了するまでお待ちください。
- 本機で使用できるディスクに関しては、付録「再生できるディスクの種類」(→123ページ)をご覧ください。

## 再生を停止する

### 1 ボタンを押す



## 一時停止する

### 1 ボタンを押す

一時停止を解除する場合は、もう一度  ボタンを押します。

## 早戻し／早送りする



### 1 / ボタンを押す

押ししている間、早戻し () / 早送り () ができます。

ジョイスティックを左右に倒して操作することもできます。左右に操作している間、早戻し／早送りができます。

## トラックの選択 (頭出し) をする

### 1 / ボタンを押す

 ボタンを押すと、現在再生中の曲の頭出しができ、 ボタンを押すと次の曲の頭出しができます。

またボタンを数回押しすると、押しした回数分の曲を飛ばして頭出しをすることができます。

ジョイスティックを左右に倒して操作することもできます。左右に短く操作すると、頭出しができます。倒した回数分の曲を飛ばして頭出しをすることもできます。

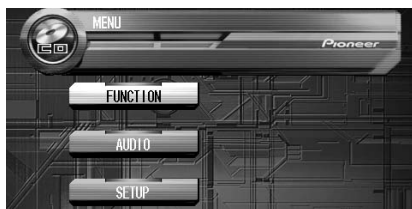
## いろいろな再生をする

リピートやランダムなど、いろいろな再生の操作は、FUNCTIONメニューを表示して行います。

### FUNCTIONメニューを表示する

#### 1 ジョイスティックを押す

メインメニューが表示されます。



メインメニューでは、FUNCTIONメニューを表示する「FUNCTION」のほかに、DSP設定を行う「AUDIO」(→83ページ)と本機の基本設定を行う「SETUP」(→103ページ)があります。

#### 2 「FUNCTION」を選択し、ジョイスティックを押す

FUNCTIONメニューが表示されます。



- ・ダイナミックレンジコントロールの効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。(→58ページ)
- ・**[BD/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- ・**[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。FUNCTIONメニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

### リピート再生する (REPEAT)

リピート再生には、再生中のディスク全体を繰り返す「DISC」と、現在再生中の曲を繰り返す「TRACK」があります。

#### 1 FUNCTIONメニューを表示する

#### 2 「REPEAT」を選択し、ジョイスティックを押す

リピート範囲の選択項目(「DISC」「TRACK」)が表示されます。

#### 3 「DISC」または「TRACK」を選択し、ジョイスティックを押す



決定した範囲でリピート再生が行われます。

リピート再生中に、早戻し/早送りの操作を行った場合、リピート再生は解除されます。

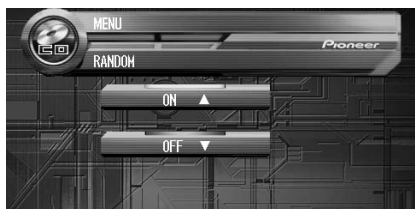
## ランダム再生をする (RANDOM)

曲を順不同 (ランダム) に再生します。

- 1 FUNCTIONメニューを表示する
- 2 「RANDOM」を選択し、ジョイスティックを押す

ランダム機能の選択項目 (「ON」「OFF」) が表示されます。

### 3 「ON」を選択する



ランダム再生が始まります。

ランダム再生を止めるときは、「OFF」を選択します。

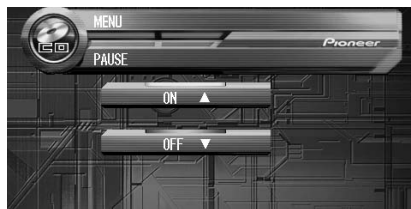
## 再生を一時停止 (ポーズ) する (PAUSE)

再生を一時停止します。

- 1 FUNCTIONメニューを表示する
- 2 「PAUSE」を選択し、ジョイスティックを押す

ポーズ機能の選択項目 (「ON」「OFF」) が表示されます。

### 3 「ON」を選択する



再生が一時停止します。

一時停止を解除し、再び再生を始めるときは、「OFF」を選択します。

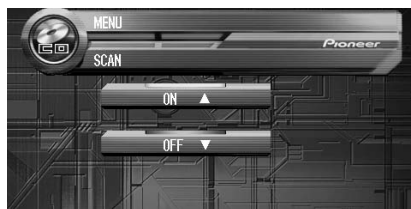
## スキャン再生する (SCAN)

曲の始めの部分 (約10秒間) だけを次々に再生します。

- 1 FUNCTIONメニューを表示する
- 2 「SCAN」を選択し、ジョイスティックを押す

スキャン機能の選択項目 (「ON」「OFF」) が表示されます。

### 3 「ON」を選択する



スキャン再生が始まります。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にソース画面に戻ります。

- 4 聞きたい曲が再生されたら、「SCAN」にして、「OFF」を選択する

スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

## リストからトラック名で選んで再生する (TRACK LIST)

「CD TEXT」再生中に、トラック (曲名) のリストを表示して、聞きたい曲を選択することができます。

### 1 FUNCTIONメニューを表示する

### 2 「TRACK LIST」を選択し、ジョイスティックを押す

トラック名のリストが表示されます。

### 3 聞きたい曲を選択し、ジョイスティックを押す



選んだ曲の再生が始まります。リストは一度に6トラックを表示します。

「NEXT」を選択すると、次の6トラックに表示が切り替わります。

「PREV」を選択すると、前の6トラックに表示が切り替わります。

## タイトルを入力する

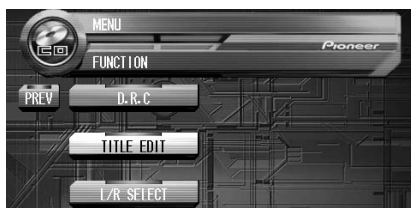
CDにタイトルを入力することができます。入力したタイトルは本機に記憶され、ディスクを挿入するたびに表示されます。

- タイトルは20文字まで入力できます。
- 内蔵プレーヤーのCDタイトルは、48枚分の記憶ができます。
- 48枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

### 1 FUNCTIONメニューを表示する

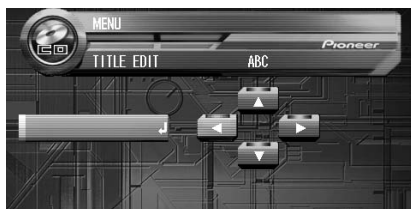
### 2 「NEXT」を選択し、ジョイスティックを押す

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。



### 3 「TITLE EDIT」を選択し、ジョイスティックを押す

タイトル入力画面が表示されます。



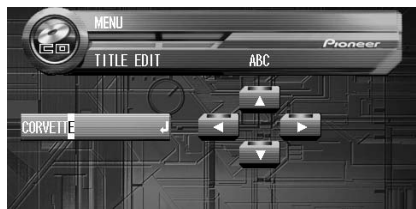


#### 4 ジョイスティックを押して、入力する文字種を切り替える

押すたびに、以下のように切り替わります。

アルファベットの大文字 (A～Z) → アルファベットの小文字 (a～z) → 数字と記号 (0～9、! ” # など) → カタカナ (ア～ン、ー) → 拗促音、濁点、半濁点 (アイウエオヤユヨツ ° )

#### 5 ジョイスティックを上下に操作して (◀▶)、入力する文字や記号を選択する



#### 6 ジョイスティックを左右に操作して (◀▶)、入力する位置を移動する

#### 7 入力が終わったら、ジョイスティックを右に操作して (▶)、改行マーク (↓) まで移動する

入力したタイトルが記憶されます。

#### 8 [BD/ESC] ボタンを押して、ソース画面に戻る

## 「CD TEXT」の情報表示

「CD TEXT」とは

CDのタイトルや歌手名などの文字情報が収録されているCDです。ディスクタイトル面に下記のマークの付いているCDは「CD TEXT」ディスクです。下記マークの付いていない「CD TEXT」ディスクもあります。



タイトル表示について

本機はカナやアルファベットなどの表示だけではなく、ひらがなや漢字などの表示にも対応しています。「CD TEXT」に漢字などの文字情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。

タイトル表示を切り替える

ディスクタイトルやトラックタイトルなどの文字情報を表示させることができます。全角で10文字、半角で20文字まで一度に表示させることができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

#### 1 「CD TEXT」再生中に、[DISP] ボタンを押す

押すたびに以下のように切り替わります。

ディスクタイトル (DiscTitle) → ディスクアーティストネーム (DiscArtist) → トラックタイトル (TrackTitle) → トラックアーティストネーム (TrackArtist)

- トラックアーティストネーム (歌手名) などが収録されていないCDで表示を切り替えると、「NO ARTIST」などが表示されます。
- [DISP] ボタンを長く押し (約2秒)、隠れているタイトルをスクロール表示できます。

# MP3


## MP3を聞く

CD-ROM、CD-R/RWに記録したMP3ファイルを再生することができます。ディスク挿入口にディスクを挿入するか、他のソースから内蔵プレーヤーに切り替えた場合に、自動的に再生が始まります。

## 内蔵プレーヤー（MP3）に切り替える

### 1 ソース ( ) ボタンを押して内蔵プレーヤー (MP3) にする

ソースを切り替えると、情報プレートが表示されます。

- ディスク情報の読み込みなど、準備動作中には「FORMAT READ」が表示され、操作はできません。準備動作が終了するまでお待ちください。
- 本機で利用できるディスクに関しては、付録「再生できるディスクの種類」(→123ページ)をご覧ください。
- MP3ファイルと音楽データが混在したディスクを再生する場合は、 ボタンを押すと、MP3ファイルと音楽データを切り替えて再生できます。MP3ファイルと、音楽データを切り替えた場合、再生は最初の曲から始まります。このとき、音楽データ側に記録された文字情報は表示されません。


## MP3のタイトルを表示させる

MP3ファイルに記録させた曲名やフォルダ名、アルバム名などの文字情報を表示させることができます。全角で10文字、半角で20文字まで、一度に表示することができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

### 1 ボタンを押す

押すたびに、以下のように切り替わります。

フォルダ名 (FolderName) → ファイル名 (FileName) → 曲名 (TrackTitle) → 歌手名 (ArtistName) → アルバム名 (AlbumTitle) → コメント (Comment) → ビットレート (BitRate)


- VBR (Variable Bit Rate) で記録されている場合、「VBR」と表示されます。
- 曲名 (TrackTitle) などが収録されていないCD-ROMで表示を切り替えると「no title」などが表示されます。
-  ボタンを長く押すと (約2秒)、隠れているタイトルをスクロール表示できます。

## 再生を停止する

### 1 ボタンを押す



## 一時停止する

### 1 ボタンを押す

一時停止を解除する場合は、もう一度  ボタンを押します。

## 早戻し／早送りする

### 1 / ボタンを押す

押している間、早戻し (  ) / 早送り (  ) ができます。

ジョイスティックを左右に倒して操作することもできます。左右に操作している間、早戻し／早送りができます。

## トラックの選択（頭出し）をする

### 1 ◀◀ / ▶▶ ボタンを押す

◀◀ ボタンを押すと、現在再生中の曲の頭出しができて、▶▶ ボタンを押すと次の曲の頭出しができます。

またボタンを数回押すと、押した回数分の曲を飛ばして頭出しをすることができます。

ジョイスティックを左右に倒して操作することもできます。左右に短く操作すると、頭出しができます。倒した回数分の曲を飛ばして頭出しをすることもできます。

## フォルダーを切り替える

### 1 ジョイスティックを上下に操作する (▲▼)

フォルダーの番号順に切り替えることができます。

**BD/ESC** ボタンを長く押すと（2秒以上）、フォルダー001（ROOT）に戻ります。ただし、フォルダー001（ROOT）にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。

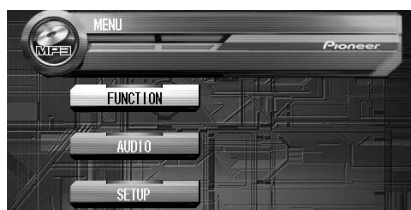
## いろいろな再生をする

リピートやランダムなど、いろいろな再生の操作は、FUNCTIONメニューを表示して行います。

## FUNCTIONメニューを表示する

### 1 ジョイスティックを押す

メインメニューが表示されます。



メインメニューでは、「FUNCTION」メニューを表示する「FUNCTION」のほかに、DSP設定を行う「AUDIO」（→83ページ）と本機の基本設定を行う「SETUP」（→103ページ）があります。

### 2 「FUNCTION」を選択し、ジョイスティックを押す

FUNCTIONメニューが表示されます。



- ・ダイナミックレンジコントロールの効果を得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。(→58ページ)
- ・**[BD/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- ・**[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。FUNCTIONメニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

## リピート再生する (REPEAT)

リピート再生には、再生中のディスク全体を繰り返す「DISC」と、フォルダー内を繰り返す「FOLDER」と、現在再生中の曲を繰り返す「TRACK」があります。

### 1 FUNCTIONメニューを表示する

### 2 「REPEAT」を選択し、ジョイスティックを押す

リピート範囲の選択項目(「DISC」「FOLDER」「TRACK」)が表示されます。

### 3 「DISC」,「FOLDER」または「TRACK」を選択し、ジョイスティックを押す



決定した範囲でリピート再生が行われます。

- ・「FOLDER」を選択した場合、サブフォルダー内の曲は再生されません。
- ・トラックリピートのときに、早戻し/早送りの操作を行うと、リピート範囲が「FOLDER」になります。
- ・MP3ファイルと音楽データが混在したディスクでは、「DISC」を選択しても、MP3ファイルまたは音楽データのうち選択した側のみを再生します。

## ランダム再生をする (RANDOM)

ディスクやフォルダー内の曲を順不同(ランダム)に再生します。

### 1 「REPEAT」にして、リピート範囲を選択する

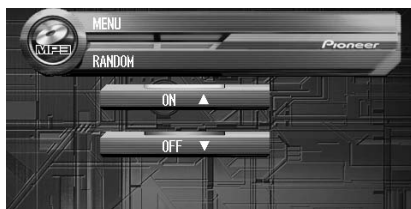
選択したリピート範囲内でランダム再生が行われます。

### 2 **[BACK]** ボタンを押す

### 3 「RANDOM」を選択し、ジョイスティックを押す

ランダム機能の選択項目(「ON」「OFF」)が表示されます。

### 4 「ON」を選択する



選択した範囲内で、ランダム再生が始まります。

ランダム再生を止めるときは、「OFF」を選択します。

- ・ランダム再生中の情報は、ソース画面に常に表示されます。
- ・「FOLDER」を選択した場合、サブフォルダー内の曲はランダム再生されません。
- ・トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、リピート範囲がフォルダーリピートに切り替わり、ランダム再生します。

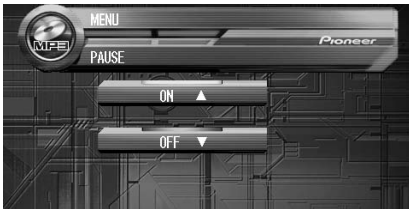
## 再生を一時停止（ポーズ）する（PAUSE）

再生を一時停止します。

- 1 FUNCTIONメニューを表示する
- 2 「PAUSE」を選択し、ジョイスティックを押す

ポーズ機能の選択項目（「ON」「OFF」）が表示されます。

### 3 「ON」を選択する



再生が一時停止します。

一時停止を解除し、再び再生を始めるときは、「OFF」を選択します。

## スキャン再生する（SCAN）

今聞いているフォルダーの曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのフォルダーの1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

### 1 「REPEAT」にして、リピート範囲を選択する（→44ページ）

聞きたい曲をさがすとき  
（トラックスキャン再生）

リピート範囲をフォルダーリピートに切り替えます。再生中のフォルダーの全曲を約10秒ずつ再生することができます。（サブフォルダー内の曲はスキャン再生されません。）

聞きたいフォルダーをさがすとき  
（フォルダースキャン再生）

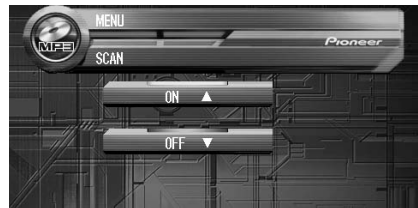
リピート範囲をディスクリピートに切り替えます。ディスク内のすべてのフォルダーの1曲目だけを、約10秒ずつ再生することができます。

### 2 「BACK」ボタンを押す

### 3 「SCAN」を選択し、ジョイスティックを押す

スキャン機能の選択項目（「ON」「OFF」）が表示されます。

### 4 「ON」を選択する



スキャン再生が始まります。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にソース画面に戻ります。

## 5 聞きたい曲（フォルダー）が再生されたら、「SCAN」にして、「OFF」を選択する

- スキャン再生を始めた曲（またはフォルダー）まで戻るとスキャン再生は解除されます。
- トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、リピート範囲がフォルダーリピートに切り替わり、スキャン再生しします。

## 曲名で選んで再生する

曲名の一覧（トラックリスト）から、聞きたい曲を選んで再生することができます。


### 1 FUNCTIONメニューを表示する

### 2 「FOLDER&TRACK LIST」を選択し、ジョイスティックを押す

フォルダー名と曲名のリストが表示されます。



リストは一度に6つのフォルダー名／曲名を表示します。

フォルダー名（)を選択すると、選択したフォルダー内の曲名をリスト表示します。

「NEXT」を選択すると、次のフォルダー名／曲名のリストに切り替わります。

「PREV」を選択すると、前のフォルダー名／曲名のリストに戻ります。

「UP」を選択すると、1つ上のフォルダーに移動します。

### 3 聞きたい曲（♪）を選択し、ジョイスティックを押す

選んだ曲が再生されます。

## テレビを見る

停車中で、パーキングブレーキがかかっているときに、テレビの映像を見られます。走行中は安全のため、テレビの映像は表示されません。(音声を聞くことはできます。)

リアモニターを接続して、リアモニターでテレビをご覧になるときは、リモコンの操作モードを「TV」にしてお使いください。

## テレビ (TV) に切り替える

### 1 ソース (SRC) ボタンを押して、テレビにする

ソースを切り替えると、情報プレートとプリセットチャンネルリストが、約8秒間表示されます。

情報プレートとプリセットチャンネルリストは、ソース画面でジョイスティックを操作したときも表示されます。

## バンドを切り替える

本機はTV1、TV2と2つのバンドを持っています。

### 1 BD/ESC ボタンを押す

押すたびに、TV1→TV2と切り替わります。

## チャンネルを選んで、テレビを見る

チャンネルは、ジョイスティックの左右操作によるマニュアル選局と、上下操作によるプリセットチャンネル選局とがあります。

### マニュアル選局で選ぶ

#### 1 ジョイスティックを左右に操作する (◀▶)

チャンネルが切り替わります。

- ピッと音がするまで左右に長く操作すると、SEEKモードになります。SEEKモードとは、受信状態の良い放送局で自動的に止まる機能です。SEEKを止めるときは、もう一度ジョイスティックを左右に短く操作します。
- 数字ボタン①～⑥を長く押しと(約2秒)、選択中のバンドのプリセットチャンネル1～6に受信中のチャンネルを登録することができます。(プリセットチャンネル7～12への登録は、プリセットチャンネルメモリー(→49ページ)で行います。)

### プリセットチャンネルから選ぶ

プリセットチャンネルは、あらかじめ登録されたチャンネル(→49ページ)で、バンドごとにそれぞれ12局まで登録できます。

#### 1 ジョイスティックを上下に操作して (◀▶)、リストから見たいチャンネルを選ぶ

プリセットチャンネルリストは、プリセットチャンネル1～6と7～12の6チャンネルずつ表示されます。

- リモコンの数字ボタン①～⑥を押して、プリセットチャンネル1～6を直接選ぶこともできます。
- 数字ボタン①～⑥を長く押しと(約2秒)、選択中のバンドのプリセットチャンネル1～6に受信中のチャンネルを登録することができます。(プリセットチャンネル7～12への登録は、プリセットチャンネルメモリー(→49ページ)で行います。)

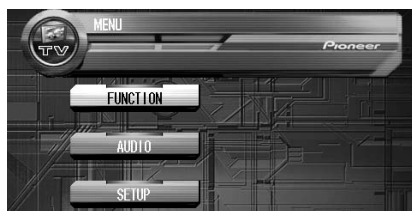
## いろいろな操作

受信状態の良いチャンネルの自動選局やプリセットチャンネルへの登録、2か国語放送の音声切り替えなどの操作は、FUNCTIONメニューを表示して行います。

### FUNCTIONメニューを表示する

#### 1 ジョイスティックを押す

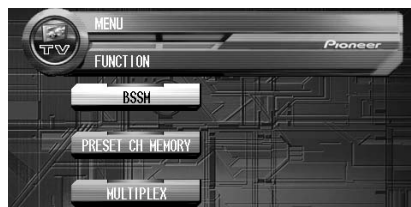
メインメニューが表示されます。



メインメニューでは、FUNCTIONメニューを表示する「FUNCTION」のほかに、DSP設定を行う「AUDIO」(→83ページ)と本機の基本設定を行う「SETUP」(→103ページ)があります。

#### 2 「FUNCTION」を選択し、ジョイスティックを押す

FUNCTIONメニューが表示されます。



- **[BD/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。FUNCTIONメニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

### 受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる (BSSM)

受信状態の良いチャンネルを、自動的にチャンネルの小さい順に、1~12の記憶番号に記憶させます。

#### 1 **[BD/ESC]** ボタンを押して、記憶させたいバンドを選ぶ

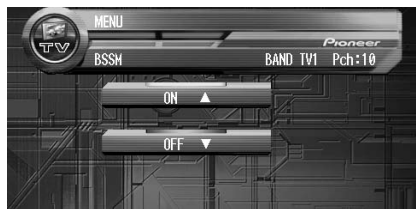
#### 2 FUNCTIONメニューを表示する

#### 3 「BSSM」を選択し、ジョイスティックを押す

BSSM機能の選択項目(「ON」「OFF」)が表示されます。



#### 4 「ON」を選択する



BSSMが始まります。  
BSSM中は、画面に「BSSM」が点滅します。  
BSSMが終了すると、「OFF」が選択された状態に戻ります。

- ソース画面に戻る場合は [BD/ESC] ボタンを押してください。
- 受信状態の良いチャンネルが12局より少ないときは、以前に記憶したチャンネルが残ることがあります。
- BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー) の略です。

## プリセットチャンネルリストへ登録する (PRESET CH MEMORY)

バンドごとに、それぞれ12局まで登録することができます。お好みのチャンネルをお好みの順番で登録することができます。

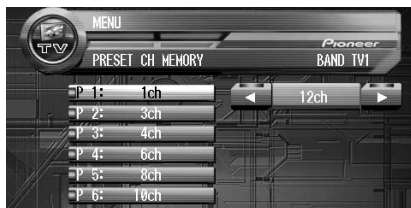
#### 1 [BD/ESC] ボタンを押して、記憶させたいバンドを選ぶ

#### 2 FUNCTIONメニューを表示する

#### 3 「PRESET CH MEMORY」を選択し、ジョイスティックを押す

プリセットチャンネルリストと選局バーが表示されます。

#### 4 ジョイスティックを左右に操作して(◀▶)、登録したいチャンネルを選局する



ジョイスティックをピッと音がするまで操作して、SEEKモードで選局することもできます。

#### 5 ジョイスティックを上下に操作して(◀▶), 登録したいリストの場所を選ぶ

#### 6 ピッと音がするまで、ジョイスティックを長く(約2秒)押す

選んだ場所に黄色のランプが点灯し、チャンネルが表示され、登録が完了します。

- 続けて登録することができます。
- ソース画面に戻る場合は、[BD/ESC] ボタンを押してください。

## 2カ国語放送の音声を切り替える (MULTIPLEX)

2カ国語放送（音声多重放送）を受信しているときは、音声を切り替えることができます。

### 1 FUNCTIONメニューを表示する

### 2 「MULTIPLEX」を選択し、ジョイスティックを押す

現在の音声の設定が表示されます。

### 3 ジョイスティックを左右に操作する ()



操作するたびに、設定が以下のように切り替わります。

MAIN（主音声）→SUB（副音声）→MAIN+SUB（主音声+副音声）

- ソース画面に戻る場合は **[BD/ESC]** ボタンを押してください。
- 洋画やニュースの2カ国語放送のように、2種類の音声を持った放送のことを音声多重放送といいます。
- 2カ国語放送の場合は、一般に主音声を日本語、副音声を外国語（例：英語）で放送しています。（逆の場合もあります。）

# DVD

## DVDを見る

停車中で、パーキングブレーキがかかっているときに、DVDの映像を見られます。走行中は安全のため、DVDの映像（DVDオーディオの静止画も含む）は表示されません。（音声を聞くことはできます。）


DVDのディスクメニューをリモコンのジョイスティックで操作するときや、タイトルやグループをリモコンの数字ボタンで操作したときは、「DVD」モードにしてください。

ディスク挿入口にディスクを挿入したり、他のソースから内蔵プレーヤーに切り替えた場合に、自動的に再生が始まります。

## 内蔵プレーヤー（DVD）に切り替える


### 1 ソース（SRC）ボタンを押して内蔵プレーヤー（DVD）にする

ソースを切り替えると、情報プレートが、約8秒間表示されます。

- ディスク情報の読み込みなど、準備動作中には「FORMAT READ」が表示され、操作はできません。準備動作が終了するまでお待ちください。
- DVDディスクによっては、操作を受け付けない部分があります。そのような場合は、（禁止マーク）が表示されます。（ディスクによっては、表示されないこともあります。）
- ディスクによっては、最初にディスクメニューが表示されるものがあります。その場合は、ディスクメニューから操作を行います。
- ディスク特有のメニューの操作方法は、ディスクの説明書をご覧ください。
- 本機で使用できるディスクに関しては、付録「再生できるディスクの種類」（→123ページ）をご覧ください。
- 前回再生途中で他のソースに切り替えていた場合は、ディスクのその場所から再生が再開されます。ディスクを抜き差しした場合は、ディスクの最初から再生されます。

## DVD情報の切り替え

DVD再生中は、情報プレートに言語や字幕、アングルなどの情報が表示されます。

情報プレートは、 ボタンを押すと表示されます。

もう一度押すと、現在のリピート範囲が表示されます。

約8秒間操作しなかった場合、情報プレートは消えます。




## 再生を停止する

### 1 ボタンを押す

## 一時停止する


### 1 ボタンを押す

一時停止を解除する場合は、もう一度  ボタンを押します。

## コマ送り／スロー再生する

### コマ送り再生

### 1 ボタンを押す



押すたびに映像がコマ送りされます。  
 ボタンを押すと通常再生に戻ります。


DVDオーディオのブラウザブル静止画(→53、132ページ)を再生しているときは、静止画のコマ送りができます。


### スロー再生

### 1 再生中に が表示されるまで を押す

映像がスロー再生されます。

スロー再生中にさらに  /  を押すと、スロー再生の速度を4段階 (1/16 ↔ 1/8 ↔ 1/4 ↔ 1/2) で切り替えることができます。

 ボタンを押すと通常再生に戻ります。


- コマ送り／スロー再生中は、音声を聞くことはできません。
- DVDオーディオでは、映像が記録されているトラックのみ、コマ送りやスロー再生をすることができます。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、コマ送り／スロー再生ができない場合があります。
- ディスクによっては、コマ送り／スロー再生中の映像が乱れる場合があります。
- コマ戻しと戻り方向のスロー再生はできません。

## 早戻し／早送りする

### 1 / ボタンを押す

押ししている間、早戻し () / 早送り () ができます。



ピッと音がするまで長く(約5秒)押し続けると、早戻し／早送りのままになります。

 ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

ジョイスティックを左右に倒して操作することもできます。左右に操作している間、早戻し／早送りができます。

## チャプター(トラック)の選択(頭出し)をする

### 1 / ボタンを押す

 ボタンを押すと、現在再生中のチャプター(トラック)の頭出しができ、 ボタンを押すと次のチャプター(トラック)の頭出しができます。

またボタンを数回押すと、押した回数分のチャプター(トラック)を飛ばして頭出しを行うことができます。

ジョイスティックを左右に倒して操作することもできます。左右に短く操作すると、頭出しができます。倒した回数分のチャプター(トラック)を飛ばして頭出しを行うこともできます。

## タイトル(グループ)を切り替える

### 1 ジョイスティックを上下に操作する (◀▶)

再生するタイトル(グループ)を切り替えることができます。

DVDオーディオのボーナスグループを再生しようとする、暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号を入力すると再生できます。(→113ページ)

数字ボタンで選ぶとき(ダイレクトサーチ)リモコンの操作モードを「DVD」にしてください。

### 1 停止中に、見たいタイトル(聞きたいグループ)番号の数字ボタンを押す

指定したタイトル(グループ)から再生が始まります。

#### 数字ボタンの使いかた

3を選ぶとき	③を押す
10を選ぶとき	⑩と①を押す
23を選ぶとき	⑩・⑩・③の順に押す

## 静止画を切り替える (DVDオーディオのみ)

リモコンの操作モードを「DVD」にしてください。

### 1 再生中にジョイスティックを左右に操作する (◀▶)

ブラウザブル静止画を切り替えることができます。

- ▶ ボタンを押して、ブラウザブル静止画を切り替えることもできます。
- この機能は、静止画が複数枚収録されている場合だけ有効です。
- ディスクまたは再生位置によっては、⊘(禁止マーク)が表示され、静止画を切り替えることができない場合があります。

## メニューを操作する

リモコンの操作モードを「DVD」にしてください。

### 1 [MENU] ボタンまたは [TOP.M] ボタンを押す

ディスクのメニューが表示されます。もう一度押すと、メニューに切り替えた場面(曲)から再生することができます。

### 2 ジョイスティックを操作して (◀▶)、メニューを選ぶ

### 3 ジョイスティックを押す

選択したメニューから再生されます。

- ディスクによっては、ディスクメニューの無いものや、表示されない場合もあります。
- メニュー表示や操作方法は、ディスクによって異なります。

## 再生中に音声や言語を切り替える

再生中に言語や音声タイプ(ドルビーデジタルやDTS)を切り替えることができます。

### 1 再生中に [AUDIO] ボタンを押す

押すたびに音声切り替わります。

- この機能は、音声複数収録されている場合だけ有効です。
- ディスクのパッケージにある②)マークの数字が音声の収録数です。
- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り替えることができない場合があります。
- 「Dolby D」や「5.1ch」などの表示は、DVDに収録されている音声を表示しています。実際に再生される音声は設定により表示とは異なる場合があります。
- 音声言語の設定は、DVDセットアップメニューでも行うことができます。(→108ページ)

## 再生中に字幕言語を切り替える

字幕言語が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り替えることができます。

### 1 再生中に [S.TITLE] ボタンを押す

押すたびに字幕言語が切り替わります。

- この機能は、字幕が複数収録されている場合だけ有効です。
- ディスクのパッケージにある [?] マークの数字が字幕の収録数です。
- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り替えることができない場合があります。
- 字幕言語の設定は、DVDセットアップメニューでも行うことができます。(→107ページ)

## 再生中にアングルを切り替える

アングルが複数収録されているディスクの場合、再生中にアングルを切り替えることができます。

### アングル切り替えができる場面について

本機では、複数のアングルが収録されている場面を再生すると、画面左下にマルチアングルマーク ( ) を表示して知らせます。マルチアングルマーク表示のON/OFFは、DVDセットアップメニューで行います。詳しくは「マルチアングルマークの表示/非表示を設定する」(→110ページ) をご覧ください。

### 1 再生中に [ANGLE] ボタンを押す

押すたびにアングルが切り替わります。

- この機能は、アングルが複数収録されている場合だけ有効です。
- ディスクのパッケージにある [ ] マークの数字がアングルの収録数です。

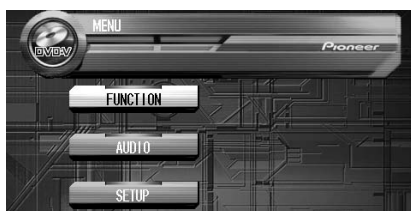
## いろいろな再生をする

リピートやサーチなど、いろいろな再生の操作は、FUNCTIONメニューを表示して行います。FUNCTIONメニューの操作は、DVDビデオとDVDオーディオで異なる場合があります。

## FUNCTIONメニューを表示する

### 1 ジョイスティックを押す

メインメニューが表示されます。



メインメニューでは、FUNCTIONメニューを表示する「FUNCTION」のほか、DSP設定を行う「AUDIO」(→83ページ)と本機の基本設定を行う「SETUP」(→103ページ)があります。

### 2 「FUNCTION」を選択し、ジョイスティックを押す

FUNCTIONメニューが表示されます。



- [BD/ESC] ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- [BACK] ボタンを押すと、前の画面に戻ります。FUNCTIONメニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

## リピート再生する (REPEAT)

リピート再生には、以下の選択項目があります。

### DVDビデオ

「DISC」：再生中のディスク全体を繰り返す

「TITLE」：現在再生中のタイトルを繰り返す

「CHAPTER」：現在再生中のチャプターを繰り返す

### DVDオーディオ

「DISC」：再生中のディスク全体を繰り返す

「GROUP」：現在再生中のグループを繰り返す

「TRACK」：現在再生中のトラックを繰り返す

## 1 FUNCTIONメニューを表示する

## 2 「REPEAT」を選択し、ジョイスティックを押す

リピート範囲の選択項目が表示されます。

## 3 リピートする範囲を選択し、ジョイスティックを押す



決定した範囲でリピート再生が行われます。

- ・リピート機能の情報は、**[DISP]** ボタンを押すと情報プレートに表示されます。
- ・リピート再生中に、早戻し／早送りの操作を行った場合、リピート再生は解除されます。

## ランダム再生をする (RANDOM) (DVDオーディオのみ)

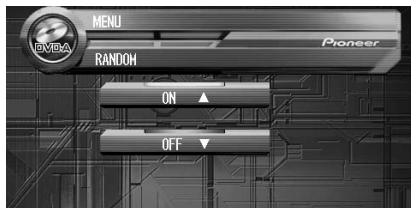
現在再生中のグループ内の曲を順不同 (ランダム) に再生します。

## 1 FUNCTIONメニューを表示する

## 2 「RANDOM」を選択し、ジョイスティックを押す

ランダム機能の選択項目 (「ON」 「OFF」) が表示されます。

## 3 「ON」を選択する



ランダム再生が始まります。

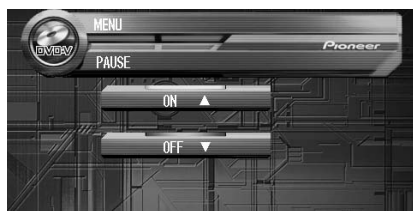
ランダム再生を止めるときは、「OFF」を選択します。

ランダム再生中の情報は、**[DISP]** ボタンを押すとソース画面に表示されます。

## 再生を一時停止（ポーズ）する (PAUSE)

再生を一時停止します。

- 1 FUNCTIONメニューを表示する
- 2 「PAUSE」を選択し、ジョイスティックを押す  
ポーズ機能の選択項目（「ON」「OFF」）が表示されます。
- 3 「ON」を選択する



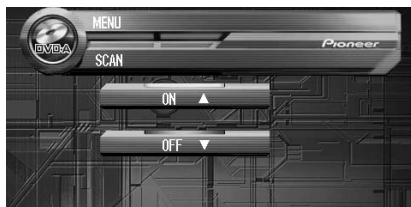
再生が一時停止します。

一時停止を解除し、再び再生を始めるときは、「OFF」を選択します。

## スキャン再生する (SCAN) (DVDオーディオのみ)

今聞いているグループの曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

- 1 FUNCTIONメニューを表示する
- 2 「SCAN」を選択し、ジョイスティックを押す  
スキャン機能の選択項目（「ON」「OFF」）が表示されます。
- 3 「ON」を選択する



スキャン再生が始まります。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にソース画面に戻ります。

## 4 聞きたい曲が再生されたら、「SCAN」にして、「OFF」を選択する

- スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。
- トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、リピート範囲がグループリピートに切り替わり、スキャン再生します。



## 見たい（聞きたい）場所をさがす (SEARCH)

見たい（聞きたい）場所のチャプターやトラックや時間を指定して、その場所から再生します。

### DVDビデオ

「TITLE」：タイトルサーチ

「CHAPTER」：チャプターサーチ

「TIME」：再生時間によるサーチ（タイムサーチ）

### DVDオーディオ

「GROUP」：グループサーチ

「TRACK」：トラックサーチ

## 1 FUNCTIONメニューを表示する

## 2 「SEARCH」を選択し、ジョイスティックを押す

サーチ方法の選択項目が表示されます。

## 3 サーチ方法を選んで、ジョイスティックを押す

## 4 数字ボタンでナンバーまたは時間を入力する



### 数字ボタンの使いかた

3を選ぶとき ③を押す

10を選ぶとき ①と⑩を押す

23を選ぶとき ②と③を押す

入力を取り消すとき ④を押す

### 時間の入力のしかた（例）

21分43秒を入力するとき ②・①・④・③の順に押す

1時間11分（71分00秒）を入力するとき ⑦・①・⑩・⑩の順に押す

- ・ジョイスティックを操作して、数字を入力することもできます。
- ・無効の数字が入力された場合や再生位置によっては、⊘（禁止マーク）が表示され、入力を取り消される場合があります。
- ・停止中は、チャプターサーチやトラックサーチ、タイムサーチは行えません。

## 5 「ENTER」を選択し、ジョイスティックを押す

指定した場所から再生されます。

## ダイナミックレンジコントロールを使う (D.R.C)

ダイナミックレンジとは、一番大きな音と一番小さな音との幅です。ダイナミックレンジコントロールは、この幅を圧縮することで、音量を下げ楽しむ場合に小さな音も聞きとりやすくすることができます。

### 1 FUNCTIONメニューを表示する

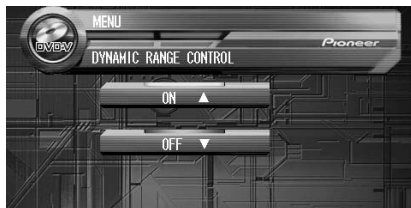
### 2 「NEXT」を選択し、ジョイスティックを押す

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。

### 3 「D.R.C」を選択し、ジョイスティックを押す

ダイナミックレンジコントロール機能の選択項目（「ON」「OFF」）が表示されます。

### 4 「ON」を選択する



ダイナミックレンジコントロールがONになります。ダイナミックレンジコントロールをOFFにするときは、「OFF」を選択します。

ダイナミックレンジコントロールの効果を得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。

# ビデオCD

## ビデオCDを見る

停車中で、パーキングブレーキがかかっているときに、ビデオCDの映像を見られます。走行中は安全のため、ビデオCDの映像は表示されません。(音声を聞くことはできます。)

ビデオCDのPBC (プレイバックコントロール)メニューを数字ボタンで操作するときは、「DVD」モードにしてください。

ディスク挿入口にディスクを挿入したり、他のソースから内蔵プレーヤーに切り替えた場合に、自動的に再生が始まります。

PBCメニューをOFFにするには

再生を停止してから、リモコンをDVDモードに切り替えて、数字ボタンでトラックを指定して再生します。PBC再生に戻すには、再生を一度停止させてから **▶||** ボタンを押します。

## 内蔵プレーヤー (VideoCD) に切り替える

### 1 ソース (SRC) ボタンを押して内蔵プレーヤー (VideoCD) にする

ソースを切り替えると、情報プレートが、約8秒間表示されます。

- ディスク情報の読み込みなど、準備動作中には「FORMAT READ」が表示され、操作はできません。準備動作が終了するまでお待ちください。
- ビデオCDディスクによっては、操作を受け付けない部分があります。そのような場合は、⊘ (禁止マーク) が表示されます。
- PBC (プレイバックコントロール) 機能付きディスクでは、最初にPBCメニューが表示されるものがあります。その場合は、PBCメニューから操作を行います。PBC機能は、ON/OFFすることができます。
- 本機で使用できるディスクに関しては、付録「再生できるディスクの種類」(→123ページ)をご覧ください。

## ビデオCD情報の切り替え

ビデオCD再生中は、情報プレートにトラックナンバーや再生時間などの情報が表示されます。情報プレートは、**[DISP]** ボタンを押すと表示されます。

約8秒間操作しなかった場合、情報プレートは消えます。



## 再生を停止する

### 1 **■** ボタンを押す

## 一時停止する

### 1 **▶||** ボタンを押す


一時停止を解除する場合は、もう一度 **▶||** ボタンを押します。

## コマ送り／スロー再生する

### コマ送り再生

#### 1 ボタンを押す



押すたびに映像がコマ送りされます。


 ボタンを押すと通常再生に戻ります。


### スロー再生

#### 1 再生中に、▶が表示されるまで を押す

映像がスロー再生されます。



スロー再生中にさらに  /  を押すと、スロー再生の速度を4段階 (1/16 ↔ 1/8 ↔ 1/4 ↔ 1/2) で切り替えることができます。

 ボタンを押すと通常再生に戻ります。


- コマ送り／スロー再生中は、音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、コマ送り／スロー再生ができない場合があります。
- ディスクによっては、コマ送り／スロー再生中の映像が乱れる場合があります。
- コマ戻しと戻り方向のスロー再生はできません。

## 早戻し／早送りする

#### 1 / ボタンを押す

押している間、早戻し () / 早送り () ができます。



ピッと音がするまで長く (約5秒) 押し続けると、早戻し／早送りのままになります。

 ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

ジョイスティックを左右に倒して操作することもできます。左右に操作している間、早戻し／早送りができます。

## トラックの選択 (頭出し) をする

#### 1 / ボタンを押す

 ボタンを押すと、現在再生中のトラックの頭出しができ、 ボタンを押すと次のトラックの頭出しができます。またボタンを数回押すと、押した回数分のトラックを飛ばして頭出しを行うことができます。

ジョイスティックを左右に倒して操作することもできます。左右に短く操作すると、頭出しができます。倒した回数分のトラックを飛ばして頭出しを行うこともできます。

## トラックを指定して再生する (ダイレクトサーチ)

リモコンの操作モードを「DVD」にしてください。



PBC再生中にダイレクトサーチをすることはできません。

#### 1 停止中に、見たいトラック番号の数字ボタンを押す

指定したトラックから再生が始まります。

##### 数字ボタンの使いかた

3を選ぶとき  を押す

10を選ぶとき  と  を押す

23を選ぶとき  ・  ・  の順に押す

## PBCメニューを操作する

リモコンの操作モードを「DVD」にしてください。

### 1 PBC再生中に **[RTN]** ボタンを押す

ディスクのPBCメニューが表示されます。

### 2 数字ボタンを押して、メニューを選ぶ

選択したメニューから再生されます。

メニュー画面が2ページ以上ある場合、**[◀▶]** ボタンを押して、表示を切り替えます。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

## 音声の出力方法を切り替える

### 1 再生中に **[AUDIO]** ボタンを押す

押すたびに以下のように切り替わります。

ステレオ (L+R) → モノ左 (L) → モノ右 (R)

**[DISP]** を押して情報プレートを表示すると、切り替えた内容を確認することができます。

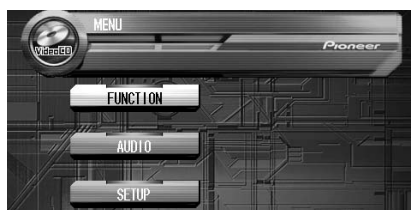
## いろいろな再生をする

リピートやサーチなど、いろいろな再生の操作は、FUNCTIONメニューを表示して行います。

## FUNCTIONメニューを表示する

### 1 ジョイスティックを押す

メインメニューが表示されます。



メインメニューでは、FUNCTIONメニューを表示する「FUNCTION」のほかに、DSP設定を行う「AUDIO」(→83ページ)と本機の基本設定を行う「SETUP」(→103ページ)があります。

### 2 「FUNCTION」を選択し、ジョイスティックを押す

FUNCTIONメニューが表示されます。



- ダイナミックレンジコントロールの効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。(→58ページ)
- **[BD/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。FUNCTIONメニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

## リピート再生する (REPEAT)

リピート再生には、以下の選択項目があります。

「DISC」：再生中のディスク全体を繰り返す  
「TRACK」：現在再生中のトラックを繰り返す

PBC再生中は、リピート範囲の切り替えはできません。

### 1 FUNCTIONメニューを表示する

### 2 「REPEAT」を選択し、ジョイスティックを押す

リピート範囲の選択項目(「DISC」「TRACK」)が表示されます。

### 3 リピートする範囲を選択し、ジョイスティックを押す



決定した範囲でリピート再生が行われます。

- リピート機能の情報は、**[DISP]** ボタンを押すと情報プレートに表示されます。
- リピート再生中に、早戻し/早送りの操作を行った場合、リピート再生は解除されず。

## 再生を一時停止（ポーズ）する (PAUSE)

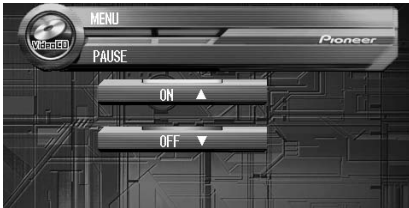
再生を一時停止します。

### 1 FUNCTIONメニューを表示する

### 2 「PAUSE」を選択し、ジョイスティックを押す

ポーズ機能の選択項目（「ON」「OFF」）が表示されます。

### 3 「ON」を選択する



再生が一時停止します。

一時停止を解除し、再び再生を始めるときは、「OFF」を選択します。

## 見たい場所をさがす (SEARCH)

見たい（聞きたい）場所のトラックや時間を指定して、その場所から再生します。

「TRACK」：トラックサーチ

「TIME」：再生時間によるサーチ(タイムサーチ)

PBC再生中は、トラックサーチやタイムサーチはできません。

### 1 FUNCTIONメニューを表示する

### 2 「SEARCH」を選択し、ジョイスティックを押す

サーチ方法の選択項目（「TRACK」「TIME」）が表示されます。

### 3 サーチ方法を選んで、ジョイスティックを押す



#### 4 数字ボタンでナンバーまたは時間を入力する



##### 数字ボタンの使いかた

3を選ぶとき                   ③を押す

10を選ぶとき                 ①と⑩を押す

23を選ぶとき                 ②と③を押す

入力を取り消すとき         ④を押す

##### 時間の入力のしかた (例)

21分43秒を  
入力するとき                 ②・①・④・③  
の順に押す

1時間11分  
(71分00秒)を  
入力するとき                 ⑦・①・⑩・⑩  
の順に押す

- ・ ジョイスティックを操作して、数字を入力することもできます。
- ・ 無効の数字が入力された場合や再生位置によっては、⊘ (禁止マーク) が表示され、入力を取り消される場合があります。
- ・ PBC再生中には、サーチはできません。
- ・ 再生停止中には、タイムサーチはできません。

#### 5 「ENTER」を選択し、ジョイスティックを押す

指定した場所から再生されます。

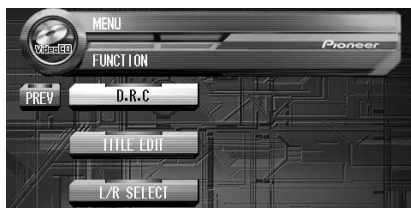
#### 音声の出力方法を切り替える (L/R SELECT)

音声の出力方法を選択することができます。

##### 1 FUNCTIONメニューを表示する

##### 2 「NEXT」を選択し、ジョイスティックを押す

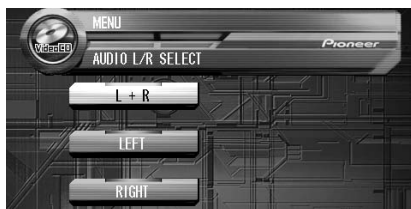
FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。



##### 3 「L/R SELECT」を選択し、ジョイスティックを押す

音声出力設定の選択項目 (「L+R」「LEFT」「RIGHT」) が表示されます。

##### 4 項目を選択し、ジョイスティックを押す



設定した項目に、黄色いランプが点灯します。



# マルチCD (M-CD)

## CDを聞く

### マルチCD (M-CD) に切り替える

- 1 ソース (SRC) ボタンを押して、マルチCDプレーヤー (M-CD) にする

情報プレートとディスクリストが表示されます。



### ディスクを切り替える

- 1 ジョイスティックを上下に操作して(▲▼)、聞きたいディスクを選択する

ディスクリストは1~6枚目と7~12枚目の6枚ずつ表示します。

- 数字ボタンの①~⑥でディスクを選択することもできます。7~12枚目のディスクを選択する場合は、数字ボタンの①~⑥を2秒以上押します。
- マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り替えると“READY”が表示されます。
- マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“NO MAGAZINE”が表示されます。

### 早戻し/早送りする

- 1 ジョイスティックを左右に押し続ける(◀▶)

左右に操作している間、早戻し/早送りができません。

### トラックの選択 (頭出し) をする

- 1 ジョイスティックを左右に短く操作する(◀▶)

左に操作すると、現在再生中のトラックの頭出しができ、右に操作すると次のトラックの頭出しができます。

操作した回数分の曲を飛ばして頭出しをすることができます。

## いろいろな再生をする

リピートやランダムなど、いろいろな再生の操作は、FUNCTIONメニューを表示して行います。

### FUNCTIONメニューを表示する

#### 1 ジョイスティックを押す

メインメニューが表示されます。

メインメニューでは、FUNCTIONメニューを表示する「FUNCTION」のほかに、DSP設定を行う「AUDIO」(→83ページ)と本機の基本設定を行う「SETUP」(→103ページ)があります。

#### 2 「FUNCTION」を選択し、ジョイスティックを押す

FUNCTIONメニューが表示されます。



- **[BD/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。FUNCTIONメニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

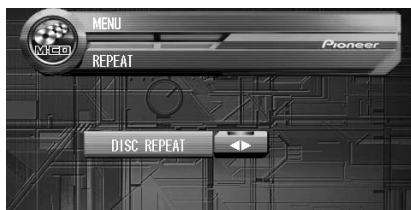
### リピート再生する (REPEAT)

リピート再生には、マルチCD全体を繰り返す「MULTI-CD REPEAT」と現在再生中の曲を繰り返す「TRACK REPEAT」、ディスク全体を繰り返す「DISC REPEAT」があります。

#### 1 FUNCTIONメニューを表示する

#### 2 「REPEAT」を選択し、ジョイスティックを押す

#### 3 ジョイスティックを左右に操作して (◀▶)、リピート範囲を選択する



左右に操作するたびに以下のように切り替わります。

「MULTI-CD REPEAT」 → 「TRACK REPEAT」 → 「DISC REPEAT」

## ランダム再生をする (RANDOM)

曲を順不同 (ランダム) に再生します。

### 1 「REPEAT」にして、リピート範囲を選択する (→66ページ)

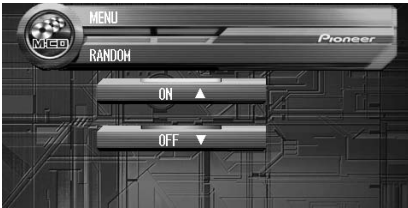
選択したリピート範囲内でランダム再生が行われます。

### 2 [BACK] ボタンを押す

### 3 「RANDOM」を選択し、ジョイスティックを押す

ランダム機能の選択項目 (「ON」「OFF」) が表示されます。

### 4 「ON」を選択する



選択した範囲内で、ランダム再生が始まります。

ランダム再生を止めるときは、「OFF」を選択します。

- ランダム再生中の情報は、ソース画面に常に表示されます。
- トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、リピート範囲がディスクリピートに切り替わり、ランダム再生します。

## 再生を一時停止 (ポーズ) する (PAUSE)

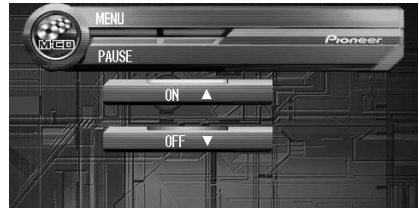
再生を一時停止します。

### 1 FUNCTIONメニューを表示する

### 2 「PAUSE」を選択し、ジョイスティックを押す

ポーズ機能の選択項目 (「ON」「OFF」) が表示されます。

### 3 「ON」を選択する



再生が一時停止します。

一時停止を解除し、再び再生を始めるときは、「OFF」を選択します。

## スキャン再生する (SCAN)

今聞いているディスクの、曲の始めの部分だけを約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのディスクの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

### 1 「REPEAT」にして、リピート範囲を選択する (→66ページ)

聞きたい曲をさがすとき  
(トラックスキャン再生)

再生範囲をディスクリピートに切り替えます。再生中のディスクの全曲を、約10秒ずつ再生することができます。

聞きたいディスクをさがすとき  
(ディスクスキャン再生)

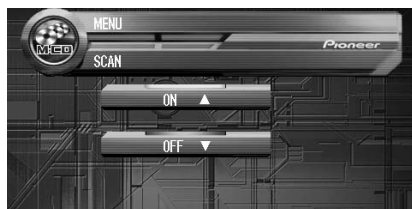
再生範囲をマルチCDリピートに切り替えます。マルチCD内のすべてのディスクの1曲目だけを、約10秒ずつ再生することができます。

### 2 [BACK] ボタンを押す

### 3 「SCAN」を選択し、ジョイスティックを押す

スキャン機能の選択項目(「ON」「OFF」)が表示されます。

### 4 「ON」を選択する



スキャン再生が始まります。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にソース画面に戻ります。

### 5 聞きたい曲 (ディスク) が再生されたら、「SCAN」にして、「OFF」を選択する

- スキャン再生を始めた曲 (またはディスク) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り替わりトラックスキャン再生します。
- スキャン再生中の情報は、ソース画面に常に表示されます。

## CDの音質を調整する (COMPRESSION)

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりします。

COMP/DBE機能付きのマルチCDプレーヤーを接続したときに操作できます。

### COMPについて

COMPとは、Compressionの略で、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞き取りにくいようなときにお使いになると便利です。

### DBEについて

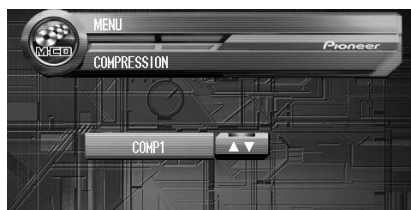
DBEとは、Dynamic Bass Emphasisの略で車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

## 1 FUNCTIONメニューを表示する

## 2 「COMPRESSION」を選択し、ジョイスティックを押す

COMP/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、「NO COMPRESSION」が表示されて、操作ができません。

## 3 ジョイスティックを上下に操作して ()、設定する項目を選択する



上下に操作するたびに以下のように切り替わります。

「OFF」→「COMP1」→「COMP2」→  
「OFF」→「DBE1」→「DBE2」→「OFF」

COMP、DBEともに、1より2のほうが効果が大きくなります。

## リストからトラック名で選んで再生する (TRACK LIST)

「CD TEXT」再生中に、トラック (曲名) のリストを表示して、聞きたい曲を選択することができます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」を再生しているときに操作できます。

### 1 FUNCTIONメニューを表示する

### 2 「TRACK LIST」を選択し、ジョイスティックを押す

トラック名のリストが表示されます。

### 3 聞きたい曲を選択し、ジョイスティックを押す



選んだ曲の再生が始まります。リストは一度に6トラックを表示します。

「NEXT」を選択すると、次の6トラックに表示が切り替わります。

「PREV」を選択すると、前の6トラックに表示が切り替わります。

## タイトルを入力する (TITLE EDIT)

CDにタイトルを入力することができます。また、入力したタイトルを表示することができます。

### タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、画面に表示させる機能です。

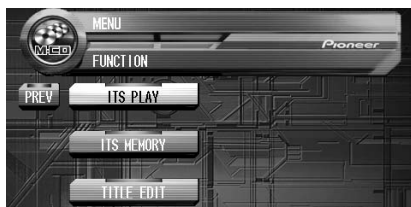
- タイトルは20文字まで入力できます。(「CDX-P1250」「CDX-P650」以前に発売されたマルチCDでは、入力できる文字数が10文字までになります。)
- タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。
- タイトルは、ITS (「ITSリストを作る」→72ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。
- 100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

### 1 タイトルを入力したいディスクを再生する

### 2 FUNCTIONメニューを表示する

### 3 「NEXT」を選択し、ジョイスティックを押す

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。



## 4 「TITLE EDIT」を選択し、ジョイスティックを押す

タイトル入力画面が表示されます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD「CDX-P670」などで「CD TEXT」を再生しているときは、「TITLE EDIT」を選択できません。（「CD TEXT」に収録されているCDタイトルは変更できません。）

以降はCDの「タイトルを入力する」（→40ページ）の手順でタイトルを入力します。

## 「CD TEXT」の情報表示

「CD TEXT」とは

- CDのタイトルや歌手名などの文字情報が収録されているCDです。ディスクタイトル面に下記のマークの付いているCDは「CD TEXT」ディスクです。下記マークの付いていない「CD TEXT」ディスクもあります。



### タイトル表示について

本機はカナやアルファベットなどの表示だけでなく、ひらがなや漢字などの表示にも対応しています。「CD TEXT」に漢字などの文字情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。

### タイトル表示を切り替える

「CD TEXT」に対応しているマルチCD（「CDX-P670」など）で「CD TEXT」再生中に、ディスクタイトルやトラックタイトルなどの文字情報を表示させることができます。全角で10文字、半角で20文字まで一度に表示させることができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

## 1 「CD TEXT」再生中に、**DISP** ボタンを押す

押すたびに以下のように切り替わります。

ディスクタイトルリスト (DISC LIST) → ディスクタイトル (DiscTitle) → ディスクアーティストネーム (DiscArtist) → トラックタイトル (TrackTitle) → トラックアーティストネーム (TrackArtist)

- トラックアーティストネーム（歌手名）などが収録されていないCDで表示を切り替えると、「NO ARTIST」などが表示されます。
- DISP** ボタンを長く押すと（約2秒）、隠れているタイトルをスクロール表示できます。

## ITSを使う

あらかじめ聞きたい曲をITSで記憶させると、記憶させた曲だけを再生できます。

### ITSについて

- ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション)の略です。ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する(「ITSリストから再生する」→73ページ)機能です。
- 曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。
- CD1枚につき99曲まで記憶することができます。(「CDX-P1250」「CDX-P650」以前に発売されたマルチCDでは、記憶できる曲が24曲目までになります。)
- ITSは、タイトル(「タイトルを入力する」→70ページ)と合わせてCD100枚分の記憶ができます。
- 100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

## ITSリストを作る (ITS MEMORY)

**1 ITS記憶したい曲の入ったディスクを再生する**

**2 FUNCTIONメニューを表示する**

**3 「NEXT」を選択し、ジョイスティックを押す**

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。



**4 「ITS MEMORY」を選択し、ジョイスティックを押す**

**5 ジョイスティックを左右に操作して(◀▶)、記憶したい曲を選択する**



**6 ジョイスティックを上(▲)に操作して、「MEMORY」を選択する**

選んだ曲がリストに入ります。

**7 [BD/ESC] ボタンを押して、ソース画面に戻る**



## ITSリストから再生する (ITS PLAY)

選択した範囲から、ITS記憶させた曲(→72ページ)だけを再生します。

1 「REPEAT」にして、リピート範囲を選択する(→66ページ)

2 [BACK] ボタンを押す

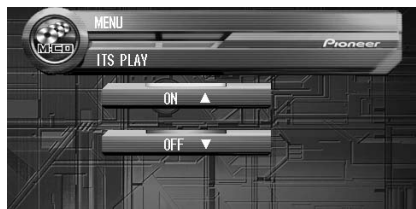
3 「NEXT」を選択し、ジョイスティックを押す

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。

4 「ITS PLAY」を選択し、ジョイスティックを押す

ITS機能の選択項目(「ON」「OFF」)が表示されます。

5 「ON」を選択する



選択した範囲内でITS記憶された曲が再生されます。

ITS再生を止めるときは、「OFF」を選択します。

手順1で選択した再生範囲内に記憶させた曲がない場合は、「ITS EMPTY」が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

## ITSリストから1曲ずつ削除する

1 ITSリストから削除したい曲の入ったディスクをITS再生する

2 FUNCTIONメニューを表示する

3 「NEXT」を選択し、ジョイスティックを押す

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。

4 「ITS MEMORY」を選択し、ジョイスティックを押す

5 ジョイスティックを左右に操作して(◀▶)、削除したい曲を選択する



6 ジョイスティックを下に操作して(◀▶), 「CLEAR」を選択する

選択した曲がリストから削除されます。

7 [BD/ESC] ボタンを押して、ソース画面に戻る

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合、「ITS EMPTY」が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

## ITSリストからディスクごとに削除する

**1** ITS再生をOFF (→73ページ) にして、ITSリストから削除したいディスクを再生する

**2** FUNCTIONメニューを表示する

**3** 「NEXT」を選択し、ジョイスティックを押す

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。

**4** 「ITS MEMORY」を選択し、ジョイスティックを押す

**5** ジョイスティックを下に操作して (◀▶)、 「CLEAR」を選択する

選択したディスク内でITS記憶させた曲が全てリストから削除されます。

**6**  ボタンを押して、ソース画面に戻る

# マルチMD (M-MD)

## マルチMDプレーヤーについて

本機でのマルチMDプレーヤーの基本的な操作方法を説明しています。詳しくは組み合わせたマルチMDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

## MDを聞く

### マルチMD (M-MD) に切り替える

#### 1 ソース (SRC) ボタンを押して、マルチMDプレーヤー (M-MD) にする

情報プレートとディスクリストが表示されます。



### ディスクを切り替える

#### 1 ジョイスティックを上下に操作して (◀▶)、聞きたいディスクを選択する

数字ボタンの①～⑥でディスクを選択することもできます。

### 早戻し／早送りする

#### 1 ジョイスティックを左右に押し続ける (◀▶)

左右に操作している間、早戻し/早送りができます。

### トラックの選択 (頭出し) をする

#### 1 ジョイスティックを左右に短く操作する (◀▶)

左に操作すると、現在再生中のトラックの頭出しができ、右に操作すると次のトラックの頭出しができます。

操作した回数分の曲を飛ばして頭出しを行うことができます。

### タイトル表示を切り替える

情報プレートの下段に現在再生中のディスクタイトルやトラックタイトルなどの文字情報を表示させることができます。半角で20文字まで一度に表示させることができます。

#### 1 [DISP] ボタンを押す

押すたびに次のように切り替わります。

ディスクタイトルリスト (DISC LIST) → ディスクタイトル (DiscTitle) → トラックタイトル (TrackTitle)

- タイトルが入力されていないMDで表示を切り替えると“NO TITLE”が表示されます。
- [DISP] ボタンを長く押すと (約2秒)、隠れているタイトルをスクロール表示できます。

## いろいろな再生をする

リピートやランダムなど、いろいろな再生の操作は、FUNCTIONメニューを表示して行います。

### FUNCTIONメニューを表示する

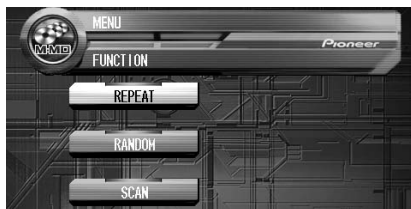
#### 1 ジョイスティックを押す

メインメニューが表示されます。

メインメニューでは、FUNCTIONメニューを表示する「FUNCTION」のほか、DSP設定を行う「AUDIO」(→83ページ)と本機の基本設定を行う「SETUP」(→103ページ)があります。

#### 2 「FUNCTION」を選択し、ジョイスティックを押す

FUNCTIONメニューが表示されます。



- **[BD/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。FUNCTIONメニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

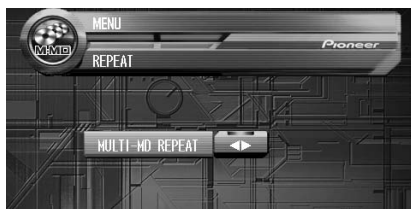
### リピート再生する (REPEAT)

リピート再生には、マルチMD全体を繰り返す「MULTI-MD REPEAT」と現在再生中の曲を繰り返す「TRACK REPEAT」、ディスク全体を繰り返す「DISC REPEAT」があります。

#### 1 FUNCTIONメニューを表示する

#### 2 「REPEAT」を選択し、ジョイスティックを押す

#### 3 ジョイスティックを左右に操作して (◀▶)、リピート範囲を選択する



左右に操作するたびに以下のように切り替わります。

「MULTI-MD REPEAT」 → 「TRACK REPEAT」 → 「DISC REPEAT」

## ランダム再生をする (RANDOM)

曲を順不同 (ランダム) に再生します。MDごとにランダム再生する「RANDOM1」とすべてのMDをランダム再生する「RANDOM2」があります。

- 1 FUNCTIONメニューを表示する
- 2 「RANDOM」を選択し、ジョイスティックを押す
- 3 ジョイスティックを上下に操作して (◀▶)、ランダム機能の種類を選択する



上下に操作するたびに以下のように切り替わります。

「RANDOM OFF」→「RANDOM1」→「RANDOM2」

ランダム再生を止めるときは、「RANDOM OFF」を選択します。

ランダム再生中の情報は、ソース画面に常に表示されます。

## スキャン再生する (SCAN)

曲の始めの部分だけを約10秒間ずつ次々に聞くことができます。すべてのMDのすべての曲をスキャン再生する「SCAN1 (トラックスキャン)」とすべてのMDの1曲目だけをスキャン再生する「SCAN2 (ディスクスキャン)」があります。

- 1 FUNCTIONメニューを表示する
- 2 「SCAN」を選択し、ジョイスティックを押す
- 3 ジョイスティックを上下に操作して (◀▶)、ランダム機能の種類を選択する



上下に操作するたびに以下のように切り替わります。

「SCAN OFF」→「SCAN1」→「SCAN2」

スキャン再生を止めるときは、「SCAN OFF」を選択します。

スキャン再生中の情報は、ソース画面に常に表示されます。

# DVDプレーヤー (S-DVD)

## DVDプレーヤーについて

ここでは、本機のリモコンの「AVH」モードの場合の操作を説明しています。DVDやビデオCD特有の機能は、リモコンの操作モードを「DVD」にして、リモコンコードを正しく設定すると、本機のリモコンでも操作できます(→122ページ)。DVDプレーヤーの機能や操作について、詳しくは組み合わせたDVDプレーヤーやマルチDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

DVDプレーヤーを見るためには、「AV INPUT」を「M-DVD」に設定します。(→103ページ)

## ディスクを再生する

停車中で、パーキングブレーキがかかっているときに、DVDプレーヤーの映像を見られます。走行中は安全のため、DVDプレーヤーの映像は表示されません。(音声を聞くことはできます。)

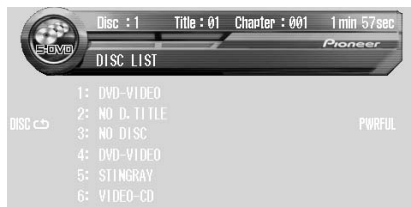
DVDビデオ、ビデオCDやCDが再生できます。

## DVDプレーヤー(S-DVD)に切り替える

### 1 ソース (SRC) ボタンを押して、DVDプレーヤー(S-DVD)にする

ソースを切り替えると、情報プレートが表示されます。

マルチDVDを接続した場合は、ディスクリストも表示されます。



## ディスクを切り替える (マルチDVDの場合)

マルチDVDを接続した場合は、ジョイスティックの操作でディスクを切り替えることができます。

### 1 ジョイスティックを上下に操作して (◀▶)、聞きたいディスクを選択する

- 数字ボタンの①～⑥を押して切り替えることもできます。
- リモコンの操作モードを「DVD」にして、リモコンコードを「A」に設定すると、**BACK** (▲) ボタンと **ENT** (▼) ボタンでも切り替えることができます。

## 早戻し/早送りする

### 1 ジョイスティックを左右に押し続ける (◀▶)

左右に操作している間、早戻し/早送りができます。

## トラック (チャプター) の選択 (頭出し) をする

### 1 ジョイスティックを左右に短く操作する (◀▶)

左に操作すると、現在再生中のトラック (チャプター) の頭出しができ、右に操作すると次のトラック (チャプター) の頭出しができます。操作した回数分のトラック (チャプター) を飛ばして頭出しを行うことができます。

## DVDプレーヤーの電源をON/OFFする

リモコンの操作モードを「DVD」にして、リモコンコードを正しく設定すると、接続したDVDプレーヤーの電源を操作することができます(→122ページ)。

### 1 **[REAR.S]** ボタンを押す

押すたびに、接続されたDVDプレーヤーの電源がON/OFFされます。

## いろいろな再生をする

リピートやランダムなど、いろいろな再生の操作は、FUNCTIONメニューを表示して行います。

接続したプレーヤーおよびディスクの種類によっては、操作できない機能もあります。

## FUNCTIONメニューを表示する

### 1 ジョイスティックを押す

メインメニューが表示されます。

メインメニューでは、FUNCTIONメニューを表示する「FUNCTION」のほかに、DSP設定を行う「AUDIO」(→83ページ)と本機の基本設定を行う「SETUP」(→103ページ)があります。

### 2 「FUNCTION」を選択し、ジョイスティックを押す

FUNCTIONメニューが表示されます。



- **[BD/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。FUNCTIONメニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

## リピート再生する (REPEAT)

リピート再生は、繰り返し再生する範囲を選択できます。

ビデオCDのPBC再生中は、リピート範囲の切り替えはできません。

- 1 FUNCTIONメニューを表示する
- 2 「REPEAT」を選択し、ジョイスティックを押す
- 3 ジョイスティックを左右に操作して(◀▶)、リピート範囲を選択する



左右に操作するたびに以下のように切り替わります。

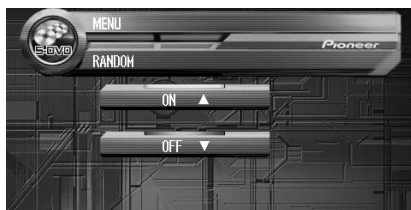
DVDビデオ：  
「CHAPTER REPEAT」→「TITLE REPEAT」  
→「DISC REPEAT」

ビデオCD、CD：  
「TRACK REPEAT」→「DISC REPEAT」

## ランダム再生をする (RANDOM)

CDを再生しているときだけ、ランダム再生できます。

- 1 FUNCTIONメニューを表示する
- 2 「RANDOM」を選択し、ジョイスティックを押す  
ランダム機能の選択項目(「ON」「OFF」)が表示されます。
- 3 「ON」を選択する



ランダム再生が始まります。

ランダム再生を止めるときは、「OFF」を選択します。



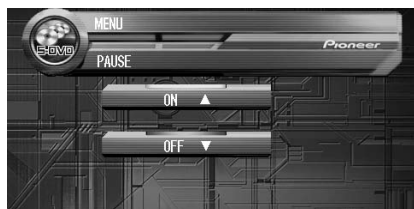
## 再生を一時停止 (ポーズ) する (PAUSE)

再生を一時停止します。

- 1 FUNCTIONメニューを表示する
- 2 「PAUSE」を選択し、ジョイスティックを押す

ポーズ機能の選択項目 (「ON」「OFF」) が表示されます。

### 3 「ON」を選択する



再生が一時停止します。

一時停止を解除し、再び再生を始めるときは、「OFF」を選択します。

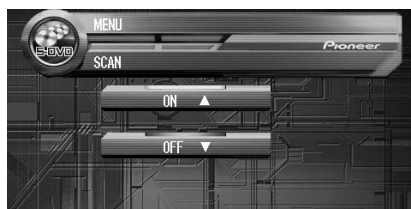
## スキャン再生する (SCAN)

CDを再生しているときだけ、スキャン再生できます。

- 1 FUNCTIONメニューを表示する
- 2 「SCAN」を選択し、ジョイスティックを押す

スキャン機能の選択項目 (「ON」「OFF」) が表示されます。

### 3 「ON」を選択する



スキャン再生が始まります。

- 4 聞きたい曲が再生されたら、「SCAN」にして、「OFF」を選択する

## ITS再生について

マルチDVDプレーヤーを接続した場合、ITS再生をすることができます。(マルチDVDプレーヤーのITS再生は、再生しているCD内でのみ行われます。)

操作方法は、マルチCDと同様です。詳しくはマルチCDの「ITSを使う」(→72ページ)をご覧ください。

## CDのタイトルを入力する

CDにタイトルを入力することができます。また、入力したタイトルを表示することができます。

- タイトルは10文字まで入力できます。操作方法は、マルチCDと同様です。詳しくはマルチCDの「タイトルを入力する」(→70ページ)をご覧ください。

# DSP (Digital Signal Processor)

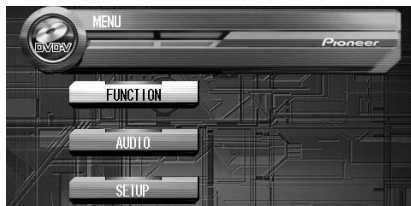
次の順に設定や調節することで、きめ細かく好みの音場を創り出すことができます。

- ① リスニングポジションを選ぶ  
(→86ページ)
- ② カットオフ周波数を設定する  
(→91ページ)
- ③ オートタイムアライメント/  
イコライジング (Auto TA/EQ)  
を行う (→96ページ)

## AUDIOメニューを表示する

### 1 ジョイスティックを押す

メインメニューが表示されます。



### 2 「AUDIO」を選択し、ジョイスティックを押す

AUDIOメニューが表示されます。



- ・ソースがOFFのときは、AUDIOメニューは操作できません。
- ・**[BD/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- ・**[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- ・AUDIOメニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。
- ・96 kHzを超えるサンプリング周波数で記録されたDVDオーディオディスクを再生しているときは、オーディオメニューは操作できません。また、イコライザーカーブやリスニングポジション、オートイコライザー、オートタイムアライメントの設定は解除されます。
- ・96 kHzを超えるサンプリング周波数で記録されたDVDオーディオディスクを再生しているときは、フロントスピーカーだけから音声が出力されます。
- ・ラジオのFMを聞いているときは、SLAモードには切り替わりません。

## イコライザーを使う

あらかじめ用意されているイコライザーカーブの中から、お好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

---

### CUSTOM1について

「CUSTOM1」には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブがソースごとに記憶されます。(External1とExternal2は、同じ設定になります。)

---

### CUSTOM2~4について

「CUSTOM2~4」は、すべてのソースに共通したイコライザーカーブで、お好みに合わせて調節することができます。

---

### FLATについて

イコライザーによる音の補正はされていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り替えることで、設定したイコライザーカーブの効果を確認することができます。

## 1 本体のEQボタンを押す

ボタンを押すたびに、イコライザーカーブが以下のように切り替わります。

PWRFUL (POWERFUL) → NATURAL → VOCAL → FLAT → CUSTOM1 → CUSTOM2 → CUSTOM3 → CUSTOM4 → S BASS (SUPER BASS)

## 3バンドパラメトリックイコライザーを調節する

「CUSTOM1」～「CUSTOM4」は、フロント/リア/センターのイコライザーカーブを別々に調節することができます。各スピーカーのバンドごとに中心周波数を設定し、レベル調節やカーブの傾きの切り替えを行うことができます。

---

### イコライザーの調節について

センタースピーカーは、音像を定位させるのに影響が大きいスピーカーです。このため、他のスピーカーと同時にバランスをとるのは、とても難しい作業です。全体のバランスをとるため、2チャンネルの音声 (CDなど) を再生し、センターを除く全てのスピーカーのバランスを調節した後、5.1チャンネルの音声 (ドルビーデジタルやDTS) を再生し、センタースピーカーを全体のバランスに合わせるように調節すると、スムーズに行うことができます。

---

### 中心周波数について

各バンドの中心周波数は、26種類の周波数の中から選ぶことができます。周波数は、1/3オクターブずつのステップで切り替えることができますが、各バンドの中心周波数の間隔を1オクターブ未満に設定することはできません。

# DSP (Digital Signal Processor)

## 1 AUDIOメニューで「PARAMETRIC EQ」を選択し、ジョイスティックを押す

イコライザー調節画面が表示されます。



## 2 C.EQを選択し、ジョイスティックを押す

押すたびにイコライザーカーブが以下のように切り替わります。

POWERFUL→NATURAL→VOCAL→FLAT  
CUSTOM 1→CUSTOM 2→CUSTOM 3  
CUSTOM 4→SUPER BASS

## 3 POSを選択し、ジョイスティックを押す

押すたびにスピーカーが以下のように切り替わります。

FRONT→REAR→CENTER

## 4 BANDを選択し、ジョイスティックを押す

押すたびにバンドが以下のように切り替わります。

LOW (低音) →MID (中音) →HIGH (高音)

## 5 ◀または▶を選択し、ジョイスティックを押す

◀を押すごとに中心周波数が低くなります。

▶を押すごとに中心周波数が高くなります。

中心周波数は以下の中から選べます。

40、50、63、80、100、125、160、200、  
250、315、400、500、630、800、  
1k、1.25k、1.6k、2k、2.5k、3.15k、4k、  
5k、6.3k、8k、10k、12.5k (Hz)

## 6 ▲または▼を選択し、ジョイスティックを押す

▲を押すたびにレベルが高くなります。

▼を押すたびにレベルが低くなります。

レベルは、-12~+12の範囲で調節できます。

## 7 Q.Facを選択し、ジョイスティックを押す

押すたびにカーブの傾きが以下のように切り替わります。

WIDE (緩やかな傾き) →NARROW (急な傾き)

## 8 [BD/ESC] ボタンを押して、ソース画面に戻る

スピーカー設定モード (→89ページ) で、「OFF」に設定したスピーカーは選択できません。

## オートイコライザーをON/OFFする

Auto TA/EQ (→96ページ) で作成したオートイコライザーカーブのON/OFFをすることができます。

### 1 AUDIOメニューで「AUTO EQ」を選択し、ジョイスティックを押す

### 2 「ON」を選択する



オートイコライザーカーブをOFFにするときは、「OFF」を選択します。

## リスニングポジションを選ぶ

乗車位置や人数に合わせて、リスニングポジション（聞く位置）を選ぶことで、音像の定位を適切に補正することができます。

### リスニングポジションについて

リスニングポジションは、座席位置や人数に合わせて、自動的に各スピーカーから出る音の遅延時間とレベルを調節する機能です。

### 1 AUDIOメニューで「POSITION」を選択し、ジョイスティックを押す

### 2 ジョイスティックを上下左右に操作して（）、リスニングポジションを選択する



右に操作：右ハンドル車に運転者のみがいるとき  
左に操作：左ハンドル車に運転者のみがいるとき  
上に操作：同乗者が助手席にいるとき  
下に操作：同乗者が後部座席にいるとき

同じ操作をするごとに、ON/OFFが切り替わります。

# DSP (Digital Signal Processor)

## 前後左右の音量バランスを調節する

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節します。

**1** AUDIOメニューで「FADER/BALANCE」を選択し、ジョイスティックを押す

**2** ジョイスティックを上下左右に操作して(◀▶)、バランスを調整する



上に操作：前を強めるとき  
下に操作：後ろを強めるとき

前後のバランスはFAD F: 25~FAD R: 25の範囲で調節できます。

左に操作：左を強めるとき  
右に操作：右を強めるとき

左右のバランスはBAL L: 25~BAL R: 25の範囲で調節できます。

## 各ソースの音量の違いをそろえる

ソースを切り替えたときに音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量のレベルを調節します。

**1** FMを受信し、FMの音量を確認する(→33ページ)

**2** 調節するソースに切り替える(→22ページ)

**3** AUDIOメニューで「SLA」を選択し、ジョイスティックを押す

**4** ジョイスティックを上下に操作して(◀▶)、レベルを調整する



上に操作：レベルを大きくするとき  
下に操作：レベルを小さくするとき

レベルは-8dBから+8dBの範囲で調節できます。

- SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター) の略です。
- FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードには切り替わりません。
- AM、テレビ、DVD、CD、External (エクスターナルユニット)、AUX (外部機器)のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、ビデオCDとCD、External1とExternal2、およびAMと交通情報は同じ設定になります。

## オリジナルの音質で聞く

各種オーディオの設定を無効にすることができます。調整したオーディオ設定の効果を確かめるのに便利です。

### 1 AUDIOメニューで「Digital Direct」を選択し、ジョイスティックを押す

### 2 「ON」を選択する



ダイレクトをOFFにするには、「OFF」を選択します。

ダイレクトがONの間は、音量調節（「VOLUME」と「ATT」ボタン）のみ有効です。その他のオーディオ調節はできません。

## ドルビープロロジックIIを使う

ドルビープロロジックIIは、2チャンネルの音声をも5チャンネルで全帯域再生します。オリジナルの録音の空間情報から、より立体的なサラウンド空間を作り出す先進的な機能です。従来のドルビープロロジックに比べ、音の定位がより鮮明になり、音の移動も自然に再生されるので、より立体的な音場を楽しめます。

ドルビープロロジックIIのモードについて  
ドルビープロロジックIIでは、以下の3つのモードを選択することができます。

### ムービー (MOVIE)

映画やTVドラマなどのステレオ音声を、5.1チャンネル録音に迫る立体的な音で楽しめます。

### ミュージック (MUSIC)

広く深い音場を再現し、音楽などを臨場感豊かに楽しめます。

次の3つのパラメータを調整することで、好みに合わせた空間再現を得ることができます。

- PANORAMA (パノラマ) :  
フロントのステレオイメージをサラウンドスピーカーまで拡張して包み込みの効果を大きくします。
- DIMENSION (ディメンション) :  
音場の位置をフロント側、リア側に細かく調整します。-3~+3の間で調整します。+はフロント側に、-はリア（サラウンド）側に音を移動します。
- CENTER WIDTH (センター幅) :  
センターの音を、フロントのLRチャンネルとセンターチャンネルの3つのスピーカーにどのように振り分けるかを「0」~「7」の間で設定します。推奨は3で、ほとんどの録音に適しています。0は、センタースピーカーだけでセンターの音を再生します。7は、通常のステレオと同様にセンターの音をフロントのLRに振り分けます。

### マトリクス (MATRIX)

方向性強調回路がオフになるため、シンプルなサラウンド再生になります。FMやTVなどのステレオ放送で受信状態が不安定な場合に向いています。



# DSP (Digital Signal Processor)

## 1 AUDIOメニューで「Dolby PLII」を選択し、ジョイスティックを押す

ドルビープロロジックII機能の選択項目が表示されます。

## 2 モードを選択し、ジョイスティックを押す

設定したモードに、黄色いランプが点灯します。



- 「MUSIC ADJUST」は、「MUSIC」を選択したときだけ操作できます。
- スピーカー設定モードで、リアスピーカーとセンタースピーカーの両方を「OFF」に設定すると、ドルビープロロジックIIは操作できません。

ミュージックモードを調節する

## 1 「Dolby PLII」で「MUSIC」を選択する

## 2 「MUSIC ADJUST」を選択し、ジョイスティックを押す

MUSICモードの調節項目が表示されます。

## 3 ジョイスティックを上下に操作して(◀▶)、項目を選択する

## 4 ジョイスティックを左右に操作して(◀▶)、選択した項目を調節する

項目	設定/調節範囲
PANORAMA	ON/OFF
DIMENSION	-3~+3
CENTER WIDTH	0~7

## 接続したスピーカーの設定をする

スピーカーの接続の有無や接続したスピーカーのサイズ(低音域再生能力)の設定をすることができます。この設定により、スピーカーを接続していないために再生できないチャンネルの音を他のスピーカーから出力させたり、より再生に適したスピーカーから低音を出力させることができます。

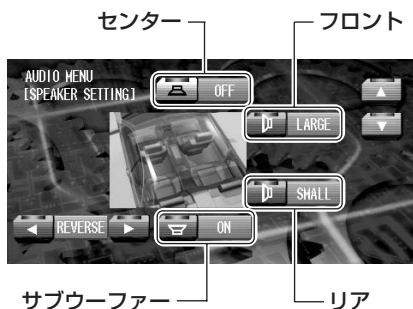
### スピーカーサイズについて

スピーカーサイズ設定は、100 Hz以下の周波数帯域を再生可能かどうかが目安になります。再生可能な場合は、「LARGE」に、再生不可能な場合は、「SMALL」に設定してください。

## 1 AUDIOメニューで「Sound Setting」を選択し、ジョイスティックを押す

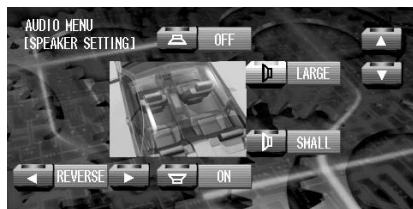
サウンドセッティングメニューが表示されます。

## 2 「SP SET」を選択し、ジョイスティックを押す



## 3 設定したいスピーカーを選択し、ジョイスティックを押す

選択したスピーカーに、黄色いランプが点灯します。



## 4 ジョイスティックを上下に操作して(◀▶)、スピーカーの有無やサイズを設定する

各スピーカーの設定は、次の中から選ぶことができます。

スピーカーの種類	設定
センター	OFF/SMALL/LARGE
フロント	SMALL/LARGE
リア	OFF/SMALL/LARGE
サブウーファー	OFF/ON

サブウーファーをONにすると、サブウーファーの位相切り替え項目が表示されます。

## 5 ジョイスティックを押して、設定を終了する

黄色いランプが消灯し、別のスピーカーを選択できるようになります。

- 接続していないスピーカーの設定は、必ず「OFF」にしてください。
- サブウーファーを接続していない場合、フロントまたはリアスピーカーに低音再生能力がある限り、スピーカー設定は「LARGE」を選んでください。フロントとリア両方のスピーカー設定を「SMALL」にすると、低音が著しく不足した感じになることがあります。

# DSP (Digital Signal Processor)

## サブウーファーの位相を切り替える

サブウーファーからの低音域の出力を調節しても低音域が良く聞こえてこなかったり、逆に小さくなったように感じた場合、他のスピーカーの低音域と打ち消し合っていることがあります。位相を切り替えることで、この現象を防ぎ低音域を聞きやすくすることができます。

### 1 「SP SET」でサブウーファーを選択し、ジョイスティックを押す

サブウーファーに、黄色いランプが点灯します。

### 2 ジョイスティックを上にも操作して(▲)、サブウーファーをONにする

サブウーファーをONにすると、サブウーファーの位相切り替え項目が表示されます。

### 3 ジョイスティックを左右にも操作して(◀▶)、サブウーファーの位相を切り替える

NORMAL (正相) と REVERSE (逆相) から選べます。

### 4 ジョイスティックを押して、設定を終了する

## カットオフ周波数を設定する

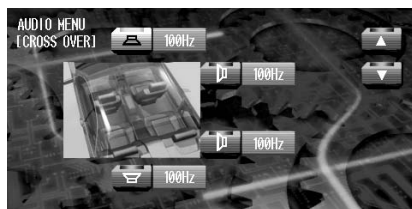
カットオフ周波数は、サブウーファーやスピーカーサイズを「SMALL」に設定したスピーカーの再生音域を設定します。サブウーファーからは、選んだ周波数より低い音域が出力されます。また、「SMALL」に設定したスピーカーからは、選んだ周波数より高い音域が出力され、カットされた低い音域はサブウーファーから出力されるようになります。サブウーファーを接続していない場合、カットされた低い音域は「LARGE」に設定したスピーカー（フロントまたはリア）から出力されるようになります。

### 1 AUDIOメニューで「Sound Setting」を選択し、ジョイスティックを押す

サウンドセッティングメニューが表示されます。

### 2 「Cross Over」を選択し、ジョイスティックを押す

### 3 設定したいスピーカーを選択し、ジョイスティックを押す



選択したスピーカーに、黄色いランプが点灯します。

### 4 ジョイスティックを上下に操作して(▲▼)、カットオフ周波数を設定する

63、80、100、125、160、200 (Hz) から選べます。

## 5 ジョイスティックを押して、設定を終了する

黄色いランプが消灯し、別のスピーカーを選択できるようになります。

- サブウーファーのLPFと、スピーカーサイズを「SMALL」に設定したスピーカーのHPFのカットオフ周波数を設定します。サブウーファーが「OFF」で、他のスピーカーのサイズが「LARGE」や「OFF」に設定されている場合、カットオフ周波数の設定は無効になります。
- スピーカー設定モード（→89ページ）で「OFF」に設定したスピーカーは選択できません。

## スピーカー出力レベルを調節する

テストトーンで調節した各スピーカーからの出力レベルを、実際の音声を聞きながらもう一度調節することができます。

### 1 AUDIOメニューで「Sound Setting」を選択し、ジョイスティックを押す

サウンドセッティングメニューが表示されます。

### 2 「SP LEVEL」を選択し、ジョイスティックを押す

### 3 設定したいスピーカーを選択し、ジョイスティックを押す



選択したスピーカーに、黄色いランプが点灯します。

### 4 ジョイスティックを上下に操作して（ $\blacktriangle$ ）、レベルを調節する

レベルは-10から+10の範囲で調節できます。

### 5 ジョイスティックを押して、設定を終了する

黄色いランプが消灯し、別のスピーカーを選択できるようになります。

- このモードで調節した出力レベルは、テストトーンモード（→93ページ）で調節したレベルと同じ値になります。
- スピーカー設定モード（→89ページ）で「OFF」に設定したスピーカーは選択できません。

## テストトーンでスピーカーレベルを調節する

テストトーンを聞きながら、各スピーカーからの出力レベルを調節し、スピーカーシステム全体のバランスを整えます。

### 1 AUDIOメニューで「Sound Setting」を選択し、ジョイスティックを押す

サウンドセッティングメニューが表示されません。

### 2 「Test Tone」を選択し、ジョイスティックを押す

約2秒ずつ、次の順で各スピーカーからテストトーンが出力されます。出力中のスピーカーに、黄色いランプが点灯します。

フロントスピーカー (左) → センタースピーカー → フロントスピーカー (右) → リアスピーカー (右) → リアスピーカー (左) → サブウーファー

### 3 ジョイスティックを上下に操作して(◀▶)、レベルを調節する

レベルは-10から+10の範囲で調節できます。



### 4 [BD/ESC] ボタンを押して、ソース画面に戻る

- このモードで調節した出力レベルは、スピーカーレベル調節モード (→92ページ) で調節したレベルと同じ値になります。
- スピーカー設定モード (→89ページ) で「OFF」に設定したスピーカーには切り替わりません。
- レベルを調節している間、テストトーンは次のスピーカーには切り替わりません。

## タイムアライメントを使う

各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節することができます。

### 1 AUDIOメニューで「Sound Setting」を選択し、ジョイスティックを押す

サウンドセッティングメニューが表示されます。

### 2 「Time Alignment」を選択し、ジョイスティックを押す

### 3 タイムアライメントを選択して、ジョイスティックを押す

項目	内容
INITIAL	初期設定（ご購入時の設定）
AUTO TA	Auto TA/EQで作成した設定（オートタイムアライメント／イコライジング(Auto TA/EQ)を行う（→96ページ））
CUSTOM	好みに合わせて調節した設定
OFF	タイムアライメントをOFFにする
ADJUSTMENT「CUSTOM」を作成する	

設定したタイムアライメントに、黄色いランプが点灯します。

- Auto TA/EQを行っていないときは、「AUTO TA」は選択できません。
- リスニングポジションの設定で、FLかFRを選んでいると、「ADJUSTMENT」は選択できません。

タイムアライメントを調節する

### 1 「Time Alignment」で調節したいタイムアライメントを選択し、ジョイスティックを押す

設定したタイムアライメントに、黄色いランプが点灯します。

### 2 「ADJUSTMENT」を選択し、ジョイスティックを押す

タイムアライメントの調節画面が表示されます。

### 3 設定したいスピーカーを選択し、ジョイスティックを押す



選択したスピーカーに、黄色いランプが点灯します。

### 4 ジョイスティックを上下に操作して（）、距離を設定する

距離は0.0 cmから500.0 cmの範囲で調節できます

スピーカー設定モード（→89ページ）で「OFF」に設定したスピーカーは選択できません。

### 5 ジョイスティックを押して、設定を終了する

黄色いランプが消灯し、別のスピーカーを選択できるようになります。

### 6 ボタンを押して、ソース画面に戻る

## オートタイムアライメント／イコライジング (Auto TA/EQ) を行う前に

Auto TA/EQ (オートタイムアライメント／イコライジング) を行う前に必ずお読みください。



### 警告

### 走行中にAuto TA/EQを行わない



禁止

自動車が走行中にAutoTA/EQを行わないでください。Auto TA/EQ機能は車室内の音響特性を測定するために、スピーカーから大音量の計測音を出すことがあります。この場合、運転の妨げになり事故の原因となることがあります。

### スピーカー破損防止について

次の状態でAuto TA/EQを行うと、スピーカーが破損する恐れがあります。Auto TA/EQを行う前に、よく確認してください。

- スピーカーの接続を誤っている場合 (例：サブウーファー出力にリアスピーカーを接続している場合)
- スピーカーの耐入力を超える出力のパワーアンプを接続している場合

### Auto TA/EQ機能について

- 車室内空間は、その広さや複雑な形状、材質により、ホームオーディオに比べ、一般的に音響特性が大きく乱れています。このような車室内の音響特性を補正するためにイコライザーを使用しますが、測定器などを使用せずに設定するのはかなり困難な作業になります。
- 本機のAuto TA/EQ機能は、車室内の音響特性を自動的に測定し、そのデータに基づいて、車室内の音響特性が乱れの少ない滑らかな特性に近づくように自動的に補正します。(イコライザーカーブを呼び出したときは、Auto TA/EQにより乱れの少ない滑らかな特性になった上でイコライザーカーブが設定されますので、より効果的になります。) また、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を自動的に測定し、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調整します。

### Auto TA/EQを行う前にお読みください

- Auto TA/EQは、なるべく静かな所で、車のエンジンおよびエアコンやヒーターを止めて行ってください。また、携帯電話や自動車電話などを車載している場合は、電話を車外へ持ち出すか電源を切ってからAuto TA/EQを行ってください。計測音以外の音 (車周辺の騒音、エンジン音、電話の着信音など) によって、車室内の音響特性が正しく測定できないことがあります。
- Auto TA/EQは、必ず付属のマイクを使用し行ってください。付属のマイク以外のマイクでは、Auto TA/EQが実行できなったり、車室内の音響特性が正しく測定できません。
- フロントスピーカーが接続されていない場合は、Auto TA/EQが実行できません。また、接続されていないスピーカーが「LARGE」や「SMALL」に設定されている場合は、エラーとなります。
- 入力レベルコントロール付きのパワーアンプを接続している場合、パワーアンプの入力レベルコントロールを下げていると、Auto TA/EQが実行できない場合があります。パワーアンプの入力レベルコントロールは推奨位置に合わせてください。

- ローパスフィルター付きのパワーアンプを接続している場合、パワーアンプのローパスフィルターはOFFにして測定してください。また、パワーサブウーファー内蔵のローパスフィルターは、カットオフ周波数を最も高い周波数に設定してください。
- Auto TA&EQ測定時に算出したタイムアライメントの値は、次の場合に実際の距離と異なることがあります。計測状況によりコンピューターが算出した正確な遅延時間をもとに設定された距離です。そのままの値で使ってください。
  - 車室内の反射音が直接音より強く、かつ遅延を生じている場合。
  - パワーサブウーファーや外部アンプのローパスフィルターの影響により、低音に遅延が生じている場合。
- Auto TA/EQを行うと、各モードの内容が次のように変更されます。
  - 前後左右の音量バランス調節（フェーダー/バランス）の設定がリセットされ、初期設定に戻ります。
  - イコライザーカーブは、フラット（FLAT）になります。
  - リスニングポジションセレクターは、FRIに設定されます。（ただし、FLに設定していたときだけは、FLのままになります。）
  - フロントやセンター、リアハイパスフィルターの設定が調節されます。

#### Auto TA/EQ の調節内容について

- 一度Auto TA/EQを行ったあとに、再度Auto TA/EQを行うと、前のAutoTA/EQの調節内容は消去されます。

## オートタイムアライメント／イコライジング（Auto TA/EQ）を行う

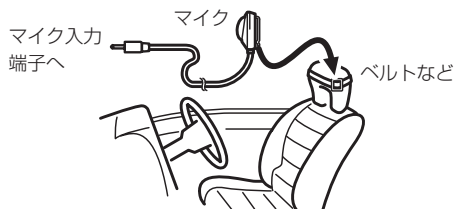
車室内の音響特性を自動的に計測して、車室内の音響特性を最適に自動補正することができます。

### 1 車の環境を整える

- 静かな所に車を停車します。
- ドア、窓、サンルーフなどを閉めます。
- 車のエンジンを停止します。

### 2 マイクをセットする

ベルトなどを使用して、運転席のヘッドレストの中央に付属のマイクを前向きに固定します。



注意

マイクの取付位置が悪いと、測定音が大きくなったり測定時間がかかったりして、車のバッテリーが上がる恐れがあります。マイクは必ず指定の位置に取り付けてください。

### 3 車のエンジンスイッチをACCまたはONにする



注意

車のエアコンやヒーターがONになっている場合は、OFFにしてください。エアコンやヒーターのファンの騒音によってAuto TA/EQが実行できないことがあります。



# DSP (Digital Signal Processor)

4 ソース (SRC) ボタンを押して、ソースをONにする

5 乗車位置を決定する

リスニングポジション (→86ページ) を設定して、乗車位置をマイクをセットした座席に設定します。

乗車位置をFRまたはFL以外に設定したときは、Auto TA/EQを始めると、強制的にFRに再設定されます。

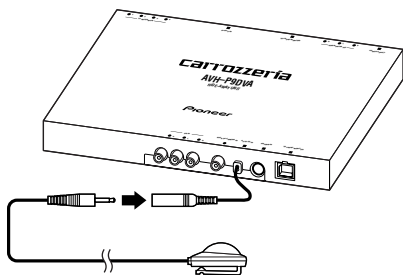
6 ソース (SRC) ボタンを長く (約1秒) 押し、ソースをOFFにする

7 本体のEQボタンを長く (約2秒) 押す



8 マイクをハイダウエイユニットに接続する

付属のマイクをマイク入力端子に接続します。



9 「START」を選択し、ジョイスティックを押す



中止するときは、「STOP」を選択し、ジョイスティックを押します。

10 車外に出る

10秒のカウントダウンが始まるので、10秒以内に車外に出て、ドアを閉めます。計測音 (ノイズ) が各スピーカーから出力され、Auto TA/EQが始まります。

しばらくすると自動的に終了します。



Auto TA/EQ操作が終わったらセットしたマイクを取り外し、**[BD/ESC]** ボタンを押してAuto TA/EQモードを解除します。(ソースがOFFになります。)

- Auto TA/EQを途中でやめたくなくなったときは、**[BACK]** ボタンまたは **[BD/ESC]** ボタンを押します。
- マイクをセットする位置により、Auto TA/EQの調節内容が変わります。お好みにより、助手席にセットすることもできます。
- マイクはグローブボックスなどに、大切に保管してください。直射日光の当たる場所に長時間放置すると、高温による変形、変色、故障の原因になる恐れがあります。

# 各種の設定

## 各種の設定をする

本機には、ソースOFFのときに操作できる初期設定「INITIAL」とソースのON/OFFに関わらず操作できる基本設定「SETUP」があります。

## 初期設定

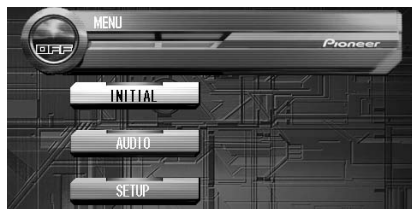
### 初期設定メニューを表示する

#### 1 ソース (SRC) ボタンを長く (約1秒) 押して、ソースをOFFにする

情報プレートに「OFF」が表示されます。

#### 2 ジョイスティックを押す

メインメニューが表示されます。



ソースOFF時のメインメニューでは、初期設定を行う「INITIAL」のほかに、本機の基本設定を行う「SETUP」(→103ページ)があります。(ソースOFF時は、DSP設定を行うことはできません。)

#### 3 「INITIAL」を選択し、ジョイスティックを押す

初期設定メニューが表示されます。



- [BD/ESC] ボタンを押すと、ソースOFFに戻ります。
- [BACK] ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

### 外部機器の音声を聞く (AUX)

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

#### 外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。

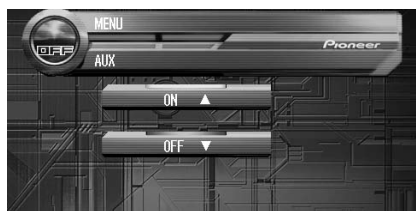
詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

#### 1 初期設定メニューを表示する

#### 2 「AUX」を選択し、ジョイスティックを押す

設定の選択項目(「ON」「OFF」)が表示されます。

### 3 「ON」 を選択する



外部機器が「AUX」ソースとして設定されます。

AUXをOFFにするには、「OFF」を選択します。

### 4 ソース ( SRC ) ボタンを押して、AUXにする

## 外部機器の名称を入力する

外部機器の名称を入力することができます。名称は10文字まで入力できます。

### 1 ソース ( SRC ) ボタンを押して、AUXにする

### 2 ジョイスティックを押す

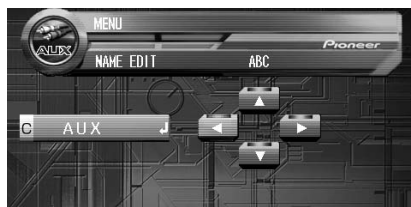
メインメニューが表示されます。

### 3 「FUNCTION」 を選択し、ジョイスティックを押す

FUNCTIONメニューが表示されます。

### 4 「NAME EDIT」 を選択し、ジョイスティックを押す

名称の入力画面が表示されます。



以降は、CDの「タイトルを入力する」(→40ページ)の手順で、名称を入力します。

## 音の歪みを補正する (DIGITAL ATT)

イコライザーカーブの調節 (→84ページ) による音の歪みをなくすことができます。

### デジタルアッテネーターについて

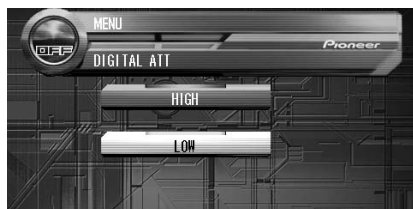
イコライザーカーブの調節 (→84ページ) でレベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの調節で音が歪んだように感じたときは、デジタルアッテネーターの設定をLOWに切り替えてください。

### 1 初期設定メニューを表示する (→98ページ)

### 2 「DIGITAL ATT」を選択し、ジョイスティックを押す

設定の選択項目 (「HIGH」 「LOW」) が表示されます。

### 3 項目を選択し、ジョイスティックを押す



通常は「HIGH」のままお使いください。

## ミュート/アッテネートを設定する (TEL/GUIDE)

ミュート機能のある製品 (パイオニア製ナビゲーションシステム「AVIC-H9」など) と本機を接続すると、その製品からミュート信号を受け取っている間だけ、ミュートまたはアッテネート機能が働きます。

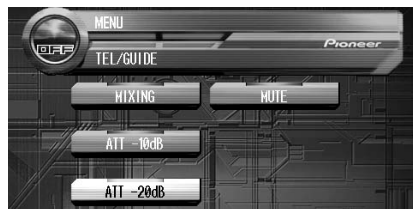
### 1 初期設定メニューを表示する (→98ページ)

### 2 「TEL/GUIDE」を選択し、ジョイスティックを押す

設定の選択項目 (「MIXING」 「ATT -10dB」 「ATT -20dB」 「MUTE」) が表示されます。

項目	内容
MIXING	音量変化なし (ミキシングします)
ATT -10dB	もとの音量の1/3
ATT -20dB	もとの音量の1/10
MUTE	音量「0」

### 3 項目を選択し、ジョイスティックを押す



設定した項目に、黄色いランプが点灯します。

## ディスクの自動再生を設定する (DVD AUTO PLAY)

本機にディスクが挿入されたとき、自動的にソースを内蔵プレーヤーに切り替えて、再生を開始するかしないかを設定します。

### 1 初期設定メニューを表示する (→98ページ)

### 2 「DVD AUTO PLAY」を選択し、ジョイスティックを押す

設定の選択項目（「ON」「OFF」）が表示されます。

### 3 「ON」を選択する



本機にディスクが挿入されたとき、自動再生するように設定されます。

自動再生をOFFにするには、「OFF」を選択します。

## 夜間のサブディスプレイの明るさを切り替える (SUB DISPLAY DIMMER)

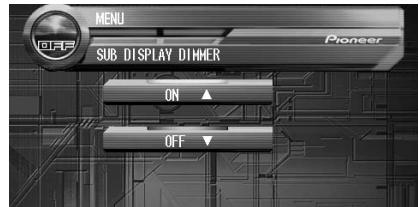
夜間、周囲が暗くなったときにサブディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、サブディスプレイが暗くなります。

### 1 初期設定メニューを表示する (→98ページ)

### 2 「SUB DISPLAY DIMMER」を選択し、ジョイスティックを押す

設定の選択項目（「ON」「OFF」）が表示されます。

### 3 「ON」を選択する



車のライトを点灯すると、サブディスプレイが暗くなるように設定されます。

サブディスプレイのディマーをOFFにするには、「OFF」を選択します。

## オーディオの設定をリセットする (AUDIO RESET)

オーディオの設定をリセットして、出荷時の設定に戻します。

音量の設定は出荷時の状態に戻りません。

### 1 初期設定メニューを表示する (→98ページ)

### 2 「AUDIO RESET」を選択し、ジョイスティックを押す

「RESET」が表示されます。

### 3 ジョイスティックを押す

リセットの確認画面が表示されます。



### 4 「RESET」を選択し、ジョイスティックを押す



オーディオの設定がリセットされます。

リセットを中止したいときは、「CANCEL」を選択します。

## ナビゲーションシステム接続時の設定をする (NAVI MIXING)

本機にパイオニア製ナビゲーションシステム (「AVIC-H9」など) を接続したとき、ナビゲーションシステムからの音声案内や操作音を、本機のスピーカーから出力するかどうかの設定を行います。

本機の「NAVI MIXING」で「GUIDE」を選択する場合、ナビゲーションシステムの「オーディオミュート」を「ガイド・電話・認識」に設定してください。それ以外に設定すると、音声案内が出力されなくなります。

### 1 初期設定メニューを表示する (→98ページ)

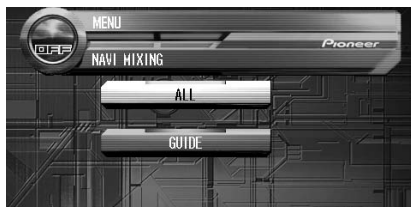
### 2 「NEXT」を選択し、ジョイスティックを押す

### 3 「NAVI MIXING」を選択し、ジョイスティックを押す

設定の選択項目 (「ALL」「GUIDE」) が表示されます。

項目	内容
ALL	音声案内と操作音の両方を出力
GUIDE	音声案内のみ出力

### 4 項目を選択し、ジョイスティックを押す



設定した項目に、黄色いランプが点灯します。

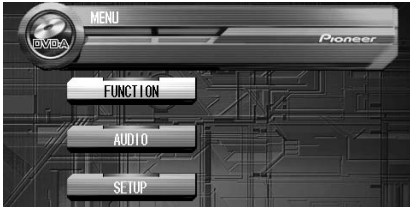
この機能は、パイオニア製ナビゲーションシステムを接続したときだけ操作できます。

## 基本設定

### 基本設定メニューを表示する

#### 1 ジョイスティックを押す

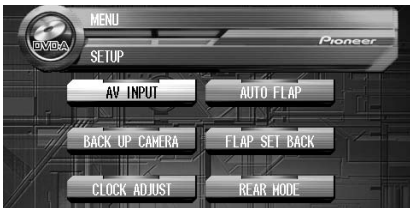
メインメニューが表示されます。



メインメニューでは、本機の基本設定を行う「SETUP」のほかに、各ソースの機能設定を行う「FUNCTION」とDSP設定を行う「AUDIO」(→83ページ)があります。

#### 2 「SETUP」を選択し、ジョイスティックを押す

基本設定メニューが表示されます。



- **[BD/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。基本設定メニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

### ビデオ入力を設定する (AV INPUT)

ビデオやDVDプレーヤーなどの外部機器を本機に接続した場合、機器に合った設定に切り替えます。

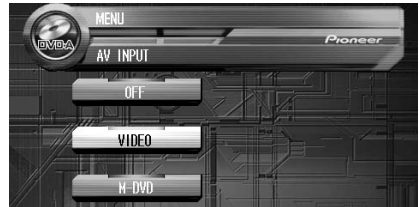
#### 1 基本設定メニューを表示する

#### 2 「AV INPUT」を選択し、ジョイスティックを押す

設定の選択項目(「OFF」「VIDEO」「M-DVD」)が表示されます。

項目	内容
OFF	ビデオ入力に何も接続しない場合
VIDEO	ビデオ機器を接続した場合
M-DVD	DVDプレーヤーをRCAケーブルで接続した場合

#### 3 項目を選択し、ジョイスティックを押す



設定した項目に、黄色いランプが点灯します。

- 「VIDEO」に設定すると、ソースを「AV」にしたときにビデオ機器の映像を見ることができます。
- 「M-DVD」に設定すると、ソースを「S-DVD」にしたときにDVDプレーヤーの映像を見ることができます。

## バックカメラの接続を設定する (BACK UP CAMERA)

市販のバックカメラを接続し、車のシフトレバーをR（リバース）に入れたとき、バックカメラの映像をモニターに映すことができます。

左右反転出力機能のあるバックカメラをお使いになることをおすすめします。

### 1 基本設定メニューを表示する (→103ページ)

### 2 「BACK UP CAMERA」を選択し、 ジョイスティックを押す

設定の選択項目が表示されます。

### 3 「ON」を選択する



車のシフトレバーをR（リバース）の位置にしたときに、バックカメラの映像がモニターに表示されるように設定されます。

バックカメラを使用しない場合は、「OFF」を選択します。

### 4 ジョイスティックを左右に操作して (◀▶)、極性を選択する



左右に操作するたびに以下のように切り替わります。

BATTERY→GND

項目	内容
BATTERY	車のシフトレバーをR（リバース）に入れた時にバック信号の電圧が「HIGH」になる場合
GND	車のシフトレバーをR（リバース）に入れた時にバック信号の電圧が「LOW」になる場合

- バックカメラの映像に正しく切り替わるように、必ずバック信号入力線を接続してください。
- 通常走行時、バックカメラ映像が表示されたり、シフトレバーをR（リバース）に入れたとき、バックカメラ映像が表示されない場合は、極性設定を確認してください。



## バックカメラの映像を解除する

シフトレバーをR（リバース）の位置にし、バックカメラの映像を表示させているときに、バックカメラの映像を解除することができます。

### 1 本体のMENUボタンを押す

ナビゲーション起動時は、ナビゲーションの映像に切り替わります。

## 時計を設定する (CLOCK ADJUST)

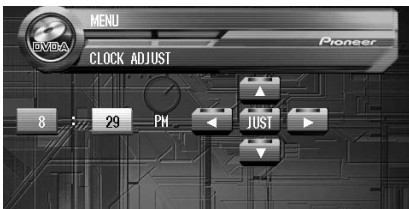
時計を合わせることができます。

### 1 基本設定メニューを表示する (→103ページ)

### 2 「CLOCK ADJUST」を選択し、ジョイスティックを押す

時刻設定画面が表示されます。

### 3 ジョイスティックを操作して(◀▶)、時刻を設定する



左右に操作：時と分を選択するとき  
上下に操作：時刻を調節するとき

- ジョイスティックを押すと、時報に合わせることができます。
- ソースがOFFのとき、時刻が表示されます。
- エンタテインメントクロック（→115ページ）で時刻を表示できます。
- モニター収納時に、一時可倒ボタンを押すと、サブディスプレイに時刻を8秒間表示できます。

## モニターの自動開閉を設定する (AUTO FLAP)

車のエンジンスイッチをACC（またはON）やOFFにしたとき、モニターが自動的に開閉するかどうかを設定します。

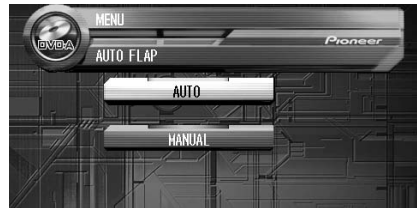
### 1 基本設定メニューを表示する (→103ページ)

### 2 「AUTO FLAP」を選択し、ジョイスティックを押す

設定の選択項目（「AUTO」「MANUAL」）が表示されます。

項目	内容
AUTO	自動開閉
MANUAL	手動開閉

### 3 項目を選択し、ジョイスティックを押す



設定した項目に、黄色いランプが点灯します。

シフトレバーなどにモニターが当たってしまう場合は、「MANUAL」に設定し、OPEN/CLOSEボタンを押して、モニターを開閉します。

## モニターのセットバックを設定する (FLAP SET BACK)

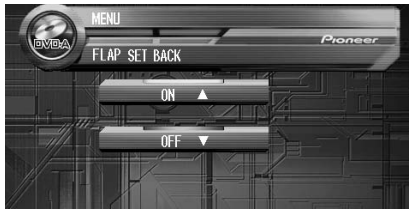
立ち上がったモニターを後ろに下げることができます。

### 1 基本設定メニューを表示する (→103ページ)

### 2 「FLAP SET BACK」を選択し、ジョイスティックを押す

設定の選択項目 (「ON」「OFF」) が表示されます。

### 3 「ON」を選択する



設定を切り替えると同時にモニターが動きません。

セットバックを止めるには、「OFF」を選択します。

## リアモニターの表示を設定する (REAR MODE)

リアモニター接続時に、リアモニターに、フロントモニターと常と同じソースを表示させるか、リアモニターはフロントモニターとは別にお好みのソースを選択できるかを設定します。

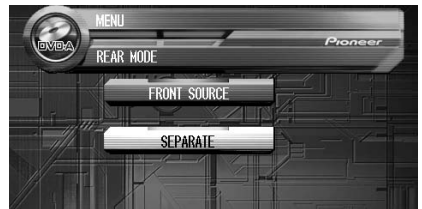
### 1 基本設定メニューを表示する (→103ページ)

### 2 「REAR MODE」を選択し、ジョイスティックを押す

設定の選択項目 (「FRONT SOURCE」「SEPARATE」) が表示されます。

項目	内容
FRONT SOURCE	フロントモニターと常と同じソース
SEPARATE	フロントモニターとは別にお好みのソース

### 3 項目を選択し、ジョイスティックを押す



設定した項目に、黄色いランプが点灯します。

- ・「FRONT SOURCE」を選択した場合に、音声ソース (ラジオやCDなど) を選択すると、リアモニターには何も表示されません。
- ・「FRONT SOURCE」を選択すると、リアモニター出力から音声は出力されません。

# DVDの機能設定

## DVDの機能を設定する

音声や字幕、視聴制限など内蔵プレーヤーの設定を行います。

### DVDセットアップメニューを表示する

- 1 ソースを内蔵プレーヤー (DVD) にして、**[■]** ボタンを押す
- 2 再生停止中に、リモコンの **[MENU]** ボタンを押す

DVDセットアップメニューが表示されます。



- **[BD/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。DVDセットアップメニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

## 字幕言語を設定する

字幕として優先したい言語を設定します。

- 1 DVDセットアップメニューを表示する
- 2 「言語設定」を選択し、ジョイスティックを押す
- 3 「字幕言語」を選択し、ジョイスティックを押す

言語設定メニューが表示されます。

言語リストが表示されます。



「NEXT」を選択して、ジョイスティックを押すと、言語リストの2ページ目に切り替わります。言語リストの1ページ目に戻るには、「PREV」を選択して、ジョイスティックを押します。

### 4 言語を選び、ジョイスティックを押す

設定された言語に、黄色いランプが点灯します。

設定した言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。

## 「その他」を選択した場合

「その他」を選択すると、言語コード入力画面が表示されます。「言語コード表」(→131ページ)をご覧ください。言語コードを入力してください。

### 1 数字ボタンで言語コードを入力する

### 2 「ENTER」を選択し、ジョイスティックを押す

入力した言語コードの言語が設定されます。

- ジョイスティックを操作して、言語コードを入力することもできます。
- クリア (C) ボタンを押すと、入力した数字を消すことができます。

## 音声言語を設定する

音声として優先したい言語を設定します。

### 1 DVDセットアップメニューを表示する (→107ページ)

### 2 「言語設定」を選択し、ジョイスティックを押す

言語設定メニューが表示されます。

### 3 「音声言語」を選択し、ジョイスティックを押す

言語リストが表示されます。



「NEXT」を選択して、ジョイスティックを押すと、言語リストの2ページ目に切り替わります。言語リストの1ページ目に戻るには、「PREV」を選択して、ジョイスティックを押します。

### 4 言語を選び、ジョイスティックを押す

設定された言語に、黄色いランプが点灯します。

- 設定した言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が出力されます。
- 言語の選択で「その他」を選ぶと、言語コードの入力による言語の選択ができます。操作については、「「その他」を選択した場合」をご覧ください。

## メニュー言語を設定する

メニュー表示として優先したい言語を設定します。

### 1 DVDセットアップメニューを表示する (→107ページ)

### 2 「言語設定」を選択し、ジョイスティックを押す

言語設定メニューが表示されます。

### 3 「メニュー言語」を選択し、ジョイスティックを押す

言語リストが表示されます。



「NEXT」を選択して、ジョイスティックを押すと、言語リストの2ページ目に切り替わります。言語リストの1ページ目に戻るには、「PREV」を選択して、ジョイスティックを押します。

### 4 言語を選び、ジョイスティックを押す

設定された言語に、黄色いランプが点灯します。

- 設定した言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- 言語の選択で「その他」を選ぶと、言語コードの入力による言語の選択ができます。操作については、「その他」を選択した場合 (→108ページ) をご覧ください。

## アシスト字幕を設定する

アシスト字幕の表示のオン/オフを設定します。

### アシスト字幕について

アシスト字幕とは、耳の不自由な人のために場面の状況を説明する字幕です。ただしアシスト字幕は、ディスクに収録されている場合のみ表示することができます。

### 1 DVDセットアップメニューを表示する (→107ページ)

### 2 「言語設定」を選択し、ジョイスティックを押す

言語設定メニューが表示されます。

### 3 「NEXT」を選択し、ジョイスティックを押す

言語設定メニューの2ページ目が表示されません。

### 4 「アシスト字幕」を選択し、ジョイスティックを押す

設定の選択項目 (「ON」 「OFF」) が表示されます。

### 5 「ON」を選択する



アシスト字幕の表示がONになります。

アシスト字幕表示を消すには、「OFF」を選択します。

## マルチアングルマークの表示／非表示を設定する

マルチアングルで収録されたディスクで、アングル切り替えができる場面を再生している間、マルチアングルマークを表示することができます。

### 1 DVDセットアップメニューを表示する (→107ページ)

### 2 「映像設定」を選択し、ジョイスティックを押す

映像設定メニューが表示されます。

### 3 「マルチアングル」を選択し、ジョイスティックを押す

設定の選択項目 (「ON」「OFF」) が表示されます。

### 4 「ON」を選択する



マルチアングルマークの表示がONになります。

マルチアングルマークの表示を止めるには、「OFF」を選択します。

## TVアスペクトを設定する

画面の表示比率を設定します。画面比率の違う別売のモニターなどを接続したときや、ディスクに収録された映像 (画像) の比率に合わせて設定します。

### 1 DVDセットアップメニューを表示する (→107ページ)

### 2 「映像設定」を選択し、ジョイスティックを押す

映像設定メニューが表示されます。

### 3 「TVアスペクト」を選択し、ジョイスティックを押す

設定の選択項目 (「16:9」「レターボックス」「パンスキャン」) が表示されます。

項目	内容
16:9	ワイドモニター使用時に設定します。
レターボックス	ノーマルモニター (4:3) 使用時に設定します。16:9で収録された映像 (画像) は、レターボックス (上下に黒い帯のある画面) になります。
パンスキャン	ノーマルモニター (4:3) 使用時に設定します。16:9で収録された映像 (画像) は、パンスキャン (左右の切れた画面) になります。

#### 4 項目を選択し、ジョイスティックを押す



設定した項目に、黄色いランプが点灯します。

- ノーマルモニターをお使いのときは、「レターボックス」または「パンスキャン」のどちらかに設定してください。「16:9」に設定すると、映像が不自然になることがあります。
- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、「パンスキャン」に設定しても「レターボックス」での再生となります。ディスクのパッケージなどで **16:9 LB** マーク（→125ページ）を確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

#### 視聴制限を設定する (パレンタルロック)

ディスクによっては、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

レベル	視聴制限の内容
レベル8	すべてのディスクを再生しません
レベル7～2	成人向けのディスクの再生を制限します（子供向けや一般向けのディスクを再生します）
レベル1	子供向けディスクのみ再生します

- 初めて視聴制限を設定するときは、まず始めに暗証番号を設定します。視聴制限は、暗証番号が無いと設定できません。
- 視聴制限レベルは、ディスクに記録されています。ディスクのパッケージなどでご確認ください。なお、視聴制限レベルが記録されていないディスクでは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- ディスクによっては、視聴制限された場面のみ飛ばして再生するものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

## 暗証番号とレベルの設定

**1 DVDセットアップメニューを表示する (→107ページ)**

**2 「映像設定」を選択し、ジョイスティックを押す**

映像設定メニューが表示されます。

**3 「視聴制限設定」を選択し、ジョイスティックを押す**

暗証番号入力画面が表示されます。



**4 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力する**



- ジョイスティックを操作して、数字を入力することもできます。
- 登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをお勧めします。

**5 「ENTER」を選択し、ジョイスティックを押す**

暗証番号が設定され、レベル設定画面が表示されます。

**6 ジョイスティックを左右に操作して (◀▶)、レベルを設定する**



視聴制限レベルが設定されます。

レベルを変更する

**1 DVDセットアップメニューを表示する (→107ページ)**

**2 「映像設定」を選択し、ジョイスティックを押す**

映像設定メニューが表示されます。

**3 「視聴制限設定」を選択し、ジョイスティックを押す**

暗証番号入力画面が表示されます。





#### 4 暗証番号を入力後、「ENTER」を選択し、ジョイスティックを押す

レベル設定画面が表示されます。



- ・ジョイスティックを操作して、数字を入力することもできます。
- ・間違った暗証番号を入力すると、⊘（禁止マーク）が表示されます。クリア（C）ボタンを押してから、正しい暗証番号を入力し直してください。
- ・暗証番号を忘れてしまったときは、「暗証番号を忘れたときは」（下記）をご覧ください。

#### 5 ジョイスティックを左右に操作して（←→）、レベルを変更する

変更した視聴制限レベルが設定されます。

#### 視聴制限されたディスクを再生するとき

視聴制限されたディスクを再生しようとしたとき、暗証番号の入力画面が表示されることがあります。この場合、暗証番号を入力しないと再生が始まりません。

#### 暗証番号を忘れたときは

「暗証番号とレベルの設定」の手順4で、クリア（C）ボタンを10回押します。登録した暗証番号が解除されるので、新しい暗証番号を入力します。

#### ボーナスグループを再生する

DVDオーディオには、「ボーナスグループ」と呼ばれるグループを収録したディスクがあります。ボーナスグループを再生するには、4桁の暗証番号の入力が必要になります。暗証番号は、ディスクのパッケージなどで確認してください。

ディスクを出し入れすると、再度暗証番号の入力が必要になります。

#### 1 DVDセットアップメニューを表示する（→107ページ）

#### 2 「その他」を選択し、ジョイスティックを押す

その他の設定メニューが表示されます。

#### 3 「ボーナスグループ」を選択し、ジョイスティックを押す

暗証番号入力画面が表示されます。



#### 4 数字ボタンで暗証番号を入力する



## 5 「ENTER」を選択し、ジョイスティックを押す

ボーナスグループの再生が可能になります。

ジョイスティックを操作して、数字を入力することもできます。

# その他の機能

## 瞬時に音量を小さくする(ATT)

車内の会話が聞きにくいときなど、瞬時に音量を小さくすることができます。

### 1 本体のATTボタンを押す

アッテネーター機能が働き、音量が小さくなります。

情報プレートに、「ATT」が点滅します。

もう一度ATTボタンを押すと、アッテネーター機能が解除され、元の音量に戻ります。

## 交通情報を受信する(TI)

AM 1,620 kHzまたはAM 1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。ソースがOFFでも、どのソースのときでも操作できます。

### 1 本体のTIボタンを押す

交通情報を受信します。

### 2 ジョイスティックを左右に操作して(◀▶)、周波数を切り替える

左に操作：1,620 kHz

右に操作：1,629 kHz

### 3 本体のTIボタンを押す

交通情報の受信を終了し、受信前の状態に戻ります。

交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。

## エンタテインメントを表示させる

音楽などを聞いているときに、モニターの表示をエンタテインメント表示に切り替えることができます。車内で、いろいろな表示を楽しむことができます。

### エンタテインメント表示について

エンタテインメント表示は、音楽などを聞いているときに、モニターにいろいろな画像を表示する機能です。

### 1 本体のENTボタンまたはENTボタンを押す

ボタンを押すたびに、エンタテインメントの表示は以下のように切り替わります。

現在のソースの映像(映像ソースのみ) → バックグランドピクチャー1 → バックグランドピクチャー2 → スペクトラムアナライザー → レベルメーター1 → レベルメーター2 → エンタテインメントクロック → 内蔵プレーヤーの映像 → テレビの映像 → ビデオの映像

- 本機にディスクがセットされていないときは、内蔵プレーヤーの映像(DVD)には切り替わりません。(CDやMP3再生時に切り替えると、ブルーバックになります。)
- 「AV INPUT」で「VIDEO」が選択されていないときは、ビデオの映像(AV)には切り替わりません。(→103ページ)

### DVDのコンディションメモリー

ディスク再生中に設定した音声言語・字幕言語・アングル番号、テレビアスペクト設定をディスクごとに最大30枚まで記憶する機能です。特別な操作の必要はなく、ディスク再生中の最後の設定内容を記憶します。記憶されたディスクを再生すると、前回の設定内容で再生されます。

- ディスクによっては、音声言語や字幕言語の設定が自動的にディスクで指定された内容になり、コンディションメモリーが無効になってしまう場合があります。
- 30枚を超えたときは、古い記憶から順に新しい記憶に入れ替わります。
- コンディションメモリーを全て消去するには、エンジンスイッチがONまたはACCの状態では本機のリセットボタンを押します。

## ワイド画面の拡大方法を切り替える

テレビ、ビデオCDおよびDVDの映像は、通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

- 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。
- ワイドモードの設定内容は、映像ごとに記憶されます。
- ナavigーションの映像は、ワイドモードの切り替えはできません。

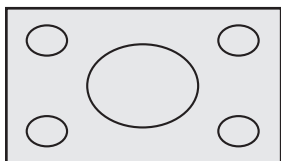
### 1 WIDE ボタンを押す

ボタンを押すたびに以下のように切り替わりません。

フル (FULL) → ジャスト (JUST) → シネマ (CINEMA) → ズーム (ZOOM) → ノーマル (NORMAL)

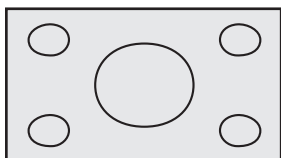
- 通常のテレビ放送の番組でズーム、ノーマル以外の、映像の縦横比が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差がでます。
- シネマ、ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り替え機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- ワイド設定は映像ソース（TV、ビデオ、内蔵プレーヤーなど）でのみ可能です。

## ワイドモードの種類



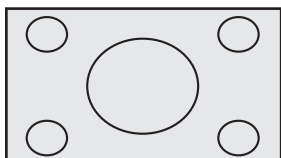
### フル (FULL)

4:3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面で楽しめます。



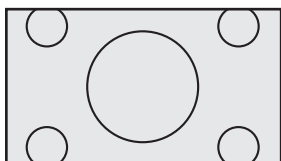
### ジャスト (JUST)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



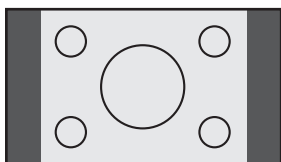
### シネマ (CINEMA)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



### ズーム (ZOOM)

4:3の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



### ノーマル (NORMAL)

4:3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。

## 画質調整

黒の濃さやコントラストなどを調節することができます。

- DVDやテレビなどで別々に設定内容を記憶します。
- 黒の濃さ (BRIGHT) と明暗 (コントラスト) は、外光センサーで周囲の明るさを感じし、明るいとき (☀) と、暗いとき (🌙) で調整内容を別々に記憶します。

### 1 本体のMENUボタンを長く押す (約2秒)

画質調整メニューが表示されます。

### 2 ジョイスティックを上下に操作して (◀▶)、調整する項目を選択する

項目	内容
BRIGHT	黒の濃さ
CONTRAST	コントラスト (明暗)
COLOR	色の濃さ
HUE	色合い (赤・緑)
DIMMER	明るさ

- 「B.Camera」は、バックカメラの接続設定を「ON」にしているときに、選択できます。(→104ページ)
- 「B.Camera」を選択して、ジョイスティックを押すと、バックカメラの画質調整メニューに切り替わります。ソース画面の画質調整メニューに戻るには、「SOURCE」を選択して、ジョイスティックを押します。

### 3 ジョイスティックを左右に操作して (◀▶)、設定を調整する

BRIGHT、CONTRAST、COLOR、HUE は、+24~-24の間で調節できます。

### 4 [BD/ESC] ボタンを押して、画質調整メニューを解除する

- 画質調整メニュー表示後、約30秒間操作を行わなかった場合は、ソース画面に戻ります。
- COLOR、HUEは、オーディオソースのときは調整できません。

### 液晶画面の明るさを調整する

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎで表示されている映像が見えにくくなってしまふことがあります。本機は、周囲の明るさに合わせて、液晶画面の明るさを自動的に調整します (3点式インテリジェントディマー)。その自動的に調整される明るさを好みに合わせて、設定しておくことができます。

### 1 本体のMENUボタンを長く押す (約2秒)

### 2 ジョイスティックを上下に操作して (◀▶)、「DIMMER」を選択する

外光センサーが感知した周囲の明るさ (外光レベル) を以下のように表示します。

表示	内容
橙色の太陽 (☀)	明るいとき (昼間)
赤い太陽 (☀)	中間の明るさ (夕方)
黄色い月 (🌙)	暗いとき (夜間)

### 3 ジョイスティックを左右に操作して (◀▶)、明るさを調整する

- 現在の外光レベルに設定されている画面の明るさが調整されます。
- 暗い、中間、明るい、のそれぞれの外光レベルで調整でき、別々に記憶されます。

### 4 **BD/ESC** ボタンを押して、画質メニューを解除する

画質調整メニュー表示後、約30秒間操作を行わなかった場合は、ソース画面に戻ります。

## リアモニターを使うとき

リアモニターを接続すると、DVDやテレビの映像を後部座席でも楽しむことができます。

### 安全走行のために

リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

- DVDビデオやビデオCDをリアモニターだけで見るときは、リモコンの操作モードをDVDに切り替えてください。
- テレビをリアモニターだけで見るときは、リモコンの操作モードをTVに切り替えてください。
- 本体のREAR ONボタンまたはリモコンの**REAR.S**ボタンを押して、リアモニターに映像を表示した場合は、ソース(SRC)ボタンを長く押ししても(約1秒)、リアモニターの表示を消すことはできません。リアモニターの映像が消えるまで、本体のREAR ONボタンまたはリモコンの**REAR.S**ボタンを押し続けてください。

## リアモニターの映像の切り替え

### 1 本体のREAR ONボタンまたはリモコンの**REAR.S**ボタンを押す

ボタンを押すたびに、映像が以下のように切り替わります。

フロント映像→内蔵プレーヤー→テレビ→ビデオ

### 2 本体のREAR ONボタンまたはリモコンの**REAR.S**ボタンを長く押す(約1秒)

リアモニターの映像が消えます。

[REAR MODE] で [FRONT SOURCE] を選択すると、フロント映像しか選べなくなります。(→106ページ)



- ・リアモニターで映像を表示しているときは、本体のREAR ONボタンの文字色が赤く変わり、リアモニターが作動中であることを表示します。
- ・本機にディスクがセットされていないときは、内蔵プレーヤー（DVD）には切り替わりません。
- ・「AV INPUT」で「VIDEO」が選択されていないときは、ビデオ（AV）には切り替わりません。（→103ページ）
- ・フロント映像（F.SOURCE）を選択して、音声ソースを選択すると、リアモニターには何も表示されません。
- ・フロントモニターとリアモニターの両方で内蔵プレーヤー（DVD）を見ている場合、リアモニター出力から音声は出力されません。
- ・「REAR MODE」で「FRONT SOURCE」を選択すると、リアモニター出力から音声は出力されません。

## 本機のリセット

本機を初期状態に戻すことができます。

### リセットボタンについて

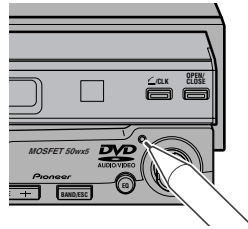
エンジンスイッチOFFでリセットボタンを押すと、コンディションメモリーの内容を保持したまま本機のマイコンを初期化することができます。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

- ・本機が正しく動作しないとき。
  - ・モニターが正しく表示されないとき。
- リセットボタンを押すと、本機の記憶（時計やラジオのプリセットなど）が消去されます。もう一度、セットしなおしてください。

### 1 エンジンスイッチをOFFにする

### 2 ペン先などでリセットボタンを押す

本機のマイコンが初期状態に戻ります。



- ・パイオニア製ナビゲーションシステムと組み合わせた場合、必ずエンジンスイッチをOFFにしてからリセットボタンを押してください。エンジンスイッチがONやACCの状態ではリセットボタンを押しても正しく動作しないおそれがあります。
- ・接続が終わった後や、すべてのメモリー内容を消去し、本機を初期状態（ご購入直後の状態）に戻したいときなどは、エンジンスイッチをONまたはACCの状態ではリセットボタンを押します。（この場合、リセットボタンを押すと、約5秒後に自動的にモニターの立ち上げ／収納動作をします。動作に支障がないことを確かめてから、リセットボタンを押してください。）

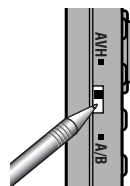
## リモコンコードの設定

本機とパイオニア製DVDプレーヤーを組み合わせたときに、付属のリモコンでパイオニア製DVDプレーヤーをコントロールするために、リモコンコードの設定をします。リモコンコードにはコードAVH、コードA、およびコードBがあります。6連奏マルチDVDプレーヤー（「XDV-P9 II」など）と組み合わせたときは、コードAに設定してください。また、HDDナビゲーションサーバー（「AVIC-H9」など）と組み合わせたときは、コードBに設定してください。

※リモコンの操作モード切り替えスイッチがDVDモードにセットされているときだけ、リモコンコード切り替えスイッチの設定が有効になります。

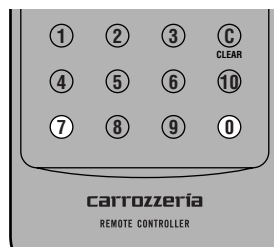
コード設定	設定内容
コードAVH	付属のリモコンで、本機から操作するとき
コードA	付属のリモコンで、パイオニア製6連奏マルチDVDプレーヤー（「XDV-P9 II」など）を操作するとき
コードB	付属のリモコンで、パイオニア製HDDナビゲーションサーバー（「AVIC-H9」など）を操作するとき

### 1 リモコンの左側面にある、リモコンコード切り替えスイッチを、ペン先などで切り替える



### 2 コードA/Bに設定したときは、リモコンの数字ボタン⑦と⑩を同時に押す

数字ボタン⑦と⑩を同時に押すごとに、コードAとコードBが順に切り替わります。（初期設定はコードAです。）



パイオニア製のDVDプレーヤーの初期設定メニューと、本機に付属のリモコンのコードの設定は同じにしてください。設定が異なっていると操作ができません。

## 再生できるディスクの種類

- 下記マークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。
- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

DVDオーディオ



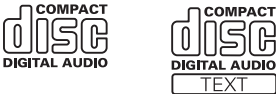
DVDビデオ



ビデオCD



CD



## ディスクの操作について

DVDによっては、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上、リピートなど一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク








## ご注意

- ・DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合があります。
- ・DVDビデオディスクによっては、再生できない場合があります。
- ・DVDビデオディスクでも、リージョン番号（→133ページ）が異なるディスクは再生できません。
- ・DVD-R/DVD-RWディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード）で記録されたものだけに限り、再生することができます。ビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-RWディスクは再生できません。
- ・ビデオフォーマット（ビデオモード）で記録されたDVD-R/DVD-RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- ・本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。
- ・音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- ・パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。（詳細は、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。）
- ・直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/CD-RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- ・CD-R/CD-RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。（音楽データ（CD-DA）再生時）
- ・ファイナライズされていないCD-R/RW、DVD-R/RWディスクには対応しておりません。
- ・CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- ・CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

## DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数を表示します。
	字幕の数を表示します。
	アングルの数を表示します。
	画面サイズ（アスペクト比：横と縦の比率）の種類を表示します。
	再生可能な地域番号（リージョン番号）を表示します。本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

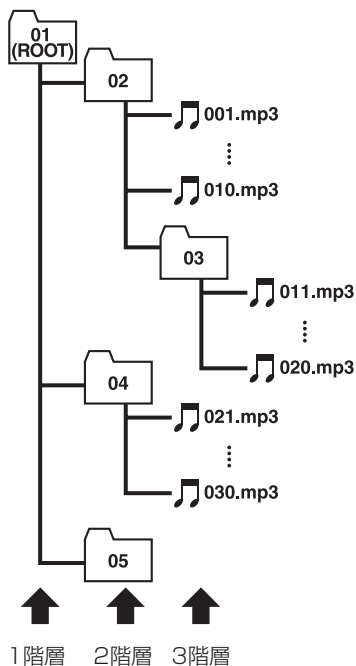
## 著作権について

本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

## MP3について

### フォルダーとMP3ファイルについて

- MP3ファイルを収録したCD-R/CD-RW/CD-ROMのイメージは下図のようになります。



- 本機は、MP3ファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、レベル2および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録されたディスクが再生可能です。（→134ページ）
- 本機はマルチセッション（→133ページ）方式で記録したディスクの再生に対応していません。
- パケットライト（→132ページ）には対応していません。

- m3u（→134ページ）のプレイリストには対応していません。
- MP3i（MP3 interactive）フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子（.mp3）を含めて32文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は32文字までです。
- 拡張フォーマット（Joliet、Romeo）（→134ページ）に準拠して記録されたファイルの場合、先頭から32文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。

- ・フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- ・CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CDディスクにMP3ファイルと、音楽データ（CD-DA）が混在しているときは、MP3ファイルと、音楽データ（CD-DA）を切り替えることができます。MP3ファイルと音楽データ（CD-DA）を切り替えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- ・MP3ファイルを含まないフォルダは認識しません。（フォルダー番号の表示をせずスキップします。）
- ・8階層までのMP3ファイルの再生に対応していますが、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ・ディスクに含まれるフォルダーの合計が253個まで再生可能です。

### MP3とは？

- MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。（→134ページ）

## 再生できるMP3ファイルについて

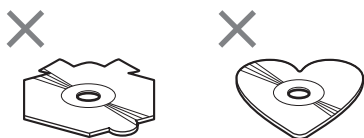
- MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子（.mp3）を付けてください。
- 本機は、拡張子（.mp3）が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子（.mp3）を付けないでください。

- ID3 Tag（→134ページ）のVer1.0およびVer1.1のalbum（Disc Titleとして表示）、track（Track Titleとして表示）、artist（Track Artistとして表示）の表示に対応しています。
- 32/44.1/48 kHzのMP3ファイルを再生している場合のみエンファシスに対応していません。（なお、再生可能なサンプリング周波数は16/22.05/24/32/44.1/48 kHzです。）
- 一般的にMP3ファイルは、ビットレート（→132ページ）が高いほど音質は良くなります。本機は、8kbps～320kbpsのMP3ファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128kbps以上のビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

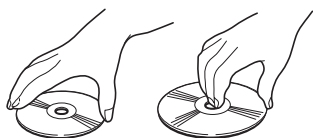
## 使用上の注意

### 取り扱い上のご注意

- ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



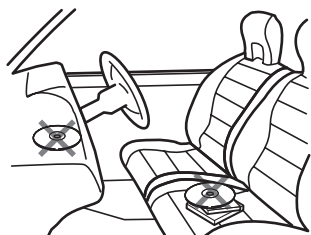
- ディスクは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。



- ディスクにキズを付けしないでください。
- ディスクにシールなどを貼り付けしないでください。

### 保管上のご注意

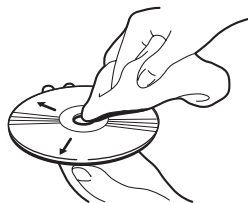
- 直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。



- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

### お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。

### ディスク再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後に再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布でふいてください。

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。



## モニターの正しい使いかた

### 取り扱い上のご注意

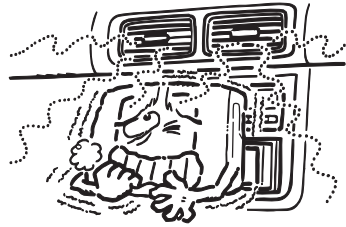
- 温度が-10度以下または+50度以上になる  
ところでは、お使いにならないでください。
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、  
高温になり、モニターの液晶画面が故障する  
おそれがあります。できる限りモニターに直  
射日光が当たらないようにしてください。ま  
た、本機を使用していないときは、本体にモ  
ニターを収納してください。



- モニターの液晶画面は、車内での視認性向上  
のためにむき出しになっています。故障する  
おそれがありますので、液晶画面を強く押さ  
ないでください。
- モニターを立ち上げたときに、モニターの上  
に物を置いたり、モニターの角度調節や立ち  
上げ、収納を手動で行ったりしないでくださ  
い。モニターに強い力が加わると故障するこ  
とがあります。



- モニターを立ち上げたときに、モニターがエ  
アコンの吹き出し口の近くに来る場合は、エ  
アコンの風がモニターに当たらないようにし  
てください。ヒーターの熱で液晶が壊れたり、  
クーラーの冷気でモニター内部に水滴がつい  
て故障するおそれがあります。



- モニターの立ち上げや収納のときに、物をは  
さまないように注意してください。物がはさ  
まると、モニターが動かなくなることがあり  
ます。モニターが動かなくなった場合は、は  
さまった物を取り除いてもう一度  
OPEN/CLOSEボタンを押してください。



- エアバックなどの安全装置装着車の場合は、  
安全装置の作動に支障のないようにご注意く  
ださい。

## 液晶画面について

- モニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）ができることがあります。これは液晶モニター特有の現象で故障ではありません。
- 寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- モニター画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

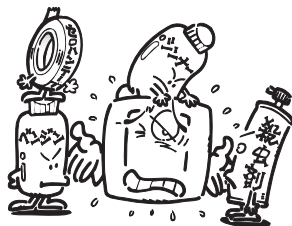
## 小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、モニター内部に小型蛍光管を使用しています。この蛍光管は消耗品で寿命があります。

- 蛍光管の寿命は約1万時間ですが、寒いところでお使いになりますと、寿命が短くなる場合があります。
- 蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店に、蛍光管の交換を依頼してください。

## お手入れについて

- 画面に付いたホコリやモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、付属の布でから拭きしてください。
- 画面をふくときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。
- ぬれたぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



## 言語コード表

言語名 (言語コード)	入カコード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アババジア語 (ab)	0102
アフリカンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハール語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コルシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ブータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ペルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガルシア語 (gl)	0712
グアラニ語 (gn)	0714

言語名 (言語コード)	入カコード
グジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
イヌピアック語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ii)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガラ語 (ln)	1214
ラオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラヤーラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
パンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721

言語名 (言語コード)	入カコード
レートロマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サンド語 (sg)	1907
セルボクロアチア語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバック語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
サモア語 (sm)	1913
シヨナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストウ語 (st)	1920
スンダ語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジル語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チギリス語 (ti)	2009
ツルキ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タタール語 (tt)	2020
トウイ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラピュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズールー語 (zu)	2621

\* 言語表記はISO639:1988 (E/F)に準拠 (1999年9月現在)

## 用語解説

### アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。ノーマルモニターは4：3ですが、ワイドモニターは16：9の比率となっており、臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

### 視聴制限（パレンタルロック）

成人向けの内容や暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限が記録されているものがあります。このようなディスクでは、本機の視聴制限レベルを設定することで、再生できなくなったり、過激なシーンを飛ばして再生したりすることができます。

### 静止画

DVDには、音声や動画だけでなく、静止画が入っている場合があります。DVDオーディオの静止画には、以下の2種類があります。

#### スライドショー

ディスクの設定にしたがって自動的に静止画が切り替わります。

#### ブラウザブル静止画

お好みの静止画を選択して、表示することができます。

### ダイナミックレンジコントロール

ドルビーデジタルには音の強弱の幅を圧縮する機能があります。この機能がダイナミックレンジコントロールです。ダイナミックレンジの広い音声を小さな音量で聞く場合でも、良好な聴感が得られるようにコントロールします。

### ドルビーデジタル

ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

### ドルビープロロジックII

ドルビープロロジックIIは、2チャンネル信号を5.1チャンネルに拡張することができます。CDのような通常のスtereo音楽でも立体音場効果、包囲感、より明確な定位感を実現します。

### パケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

### ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (MP3など) での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音となります。(MP3とATRAC3のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

### プレイバックコントロール (PBC)

ビデオCD (バージョン2.0) に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

## ボーナスグループ

DVDオーディオには、4桁の暗証番号を入力することで再生できる「ボーナスグループ」というグループが収録されているものがあります。

## マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ているので、画像は撮影しているカメラの位置の視点になります。テレビ番組などでは、数台のカメラで同時に撮影した映像のうち1つを各家庭のテレビに送っています。もし、すべてのカメラの映像が同時に送られてくるようになれば、見たい視点の映像を見ることも可能になります。DVDには、同時に複数のカメラで撮影した映像をすべて収録しているものがあり、視点を自由に選ぶことができます。

## マルチ音声

DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を収録しているものがあります。DVDでは、音声を最大8言語（8ストリーム）まで記録することができ、その中からお好みの言語を選ぶことができます。

## マルチ字幕（サブタイトル）

映画などでおなじみの字幕です。DVDでは、字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好みの言語を選ぶことができます。

## マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-ROMやCD-R、CD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

## リージョン番号

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョン番号）が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョン番号は「2」です。（本体底面に表記されています。）

## リニアPCM（LPCM）

音楽CDに用いられている信号記録方式で、Linear Pulse Code Modulationの略です。音楽CDでは、44.1 kHz/16 bitで記録されているのに対し、DVDでは、48 kHz/16 bit～96 kHz/24 bitで記録されているため、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

## DTS

Digital Theater Systemsの略です。DTSは、サラウンドシステムで、最大6チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。

## ID3 Tag

曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容はID3 Tag編集機能のあるソフトを利用して自由に編集ができます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

## ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際基準です。

ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

### レベル1：

ファイル名は、8.3形式（名前は半角英大文字と半角数字、“\_”で8文字以下、拡張子は3文字）で、各フォルダーの階層は8つ以下

### レベル2：

ファイル名は、最大31文字（区切り文字、“.”と拡張子を含む）で、各フォルダーの階層は8つ以下

### 拡張フォーマット

Joliet：ファイル名は、最大で64文字

Romeo：ファイル名は、最大で128文字

## m3u

プレイリストファイルの拡張子（.m3u）で、「WINAMP」というソフトで作成したプレイリストに付きます。

## MP3（エムピースリー）

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループ（MPEG）の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮することができます。

## MPEG

Moving Picture Experts Groupの略で、「エムペグ」と読みます。これは動画圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

## PPCM（Packed PCM）

DVDオーディオに用いられている信号方式で、ロスレス圧縮により、信号データを損うことなく収録効率を向上させています。

## VBR（バイビーアール）

「Variable Bit Rate（可変ビットレート）」の略です。一般的にはCBR（固定ビットレート）が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

## 故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら  
修理を依頼される前に、  
次の表の内容をチェッ  
クしてください。

チェックしても直らな  
いときは  
本機をリセットしてく  
ださい。(→121ページ)

それでも直らないとき  
は  
「保証書とアフターサー  
ビス」(→142ページ)  
をお読みにになり、修理  
を依頼してください。

## 共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく 接続されていない。	正しく確実に接続されているかど うか、もう一度確認してくださ い。(「取付説明書」参照)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切 れたヒューズを同じ容量のヒュー ズと交換してください。 (「取付説明書」参照)
	ノイズなどが原因で内蔵のマイコ ンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 (→121ページ)
リモコンで操作できない。 操作にあった正しい動作をしな い。	リモコンの操作モードが間違っ ている。	リモコンの操作モードを正しく切 り替えてください。 (→15ページ)
	リモコンコードが異なっている。	リモコンコード切り替えスイッ チを正しく切り替えてください。 (→122ページ)
	電池が弱っている。	新しい電池に交換してください。 (→14ページ)
ディスクを再生できない	ディスクによっては、禁止してい る操作があります。	別のディスクで確認してください。
	ディスクが汚れている。	汚れをふき取ってください。 (→128ページ)
	本機で再生できない種類のディス クが入っている。	ディスクを確認してください。

## 共通項目 (つづき)

症状	原因	処置
音が出ない。	音量を下げている。	音量を調節してください。 (→23ページ)
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。 (→115ページ)
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (→87ページ)
	接続が間違っている。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (「取付説明書」参照)
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (→87ページ)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (→87ページ)
音が出ないスピーカーがある。	スピーカーサイズの設定がOFFになっている。	接続しているスピーカーのサイズを正しく設定してください。 (→89ページ)
	スピーカーのレベル設定が極端に小さくなっている。	他のスピーカーのレベルとバランスをとってください。 (→92ページ)
	センタースピーカーを接続していない状態で、センタースピーカーのサイズをSMALLやLARGEにしている。	センタースピーカーのサイズ設定をOFFにしてください。 (→89ページ)
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 (「取付説明書」参照)
	パーキングブレーキをかけていない。	
⊘ (禁止マーク) が画面に出ず操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構成上対応できない操作をしている。	この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けられない。	ディスク再生中にデータを読みとれなくなった。	一度、リモコンの停止 (⏏) ボタンを押してから、もう一度再生してください。
音や映像が飛ばす。	本機がしっかり固定されていない。	本機をしっかり固定してください。
画面が伸びる、アスペクトが合わない。	モニターに対しての設定が正しくない。	ご使用のモニターに合った設定にしてください。



## 共通項目（つづき）

症状	原因	処置
エンジンスイッチをONまたはACCにすると、モーター音がする。	本機がディスクの有無を確認しています。	正常な動作です。
何も表示されない。	バックカメラが接続されていない。	バックカメラを接続してください。 （「取付説明書」参照）
	バックカメラの設定が間違っている。	正しく設定してください。 （→104ページ）

## 内蔵プレーヤー：DVD

症状	原因	処置
ディスクを再生できない。	PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください
視聴制限のメッセージが表示され、再生ができない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除またはレベルを変更してください。
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。
	暗証番号を忘れてしまった。	クリア（ <b>C</b> ）ボタンを10回押して、暗証番号を解除してください。
音声（または字幕）言語が切り替えられない。	ディスクのメニューでしか切り替えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り替えてください。
字幕が出ない。	字幕が収録されていないDVDを再生している。	字幕が収録されていないDVDでは、字幕を表示できません。
	ディスクのメニューでしか切り替えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り替えてください。
DVDセットアップメニューで選んだ音声言語、字幕言語にならない。	DVDセットアップメニューで選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	DVDセットアップメニューで選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り替わりません。

## 内蔵プレーヤー：DVD（つづき）

症状	原因	処置
アングルを切り替えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。 複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り替えできません。 複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。映像が暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。（ディスクによって入っている場合があります。）	本製品はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものもあります。これは、正常な動作です。

## 内蔵プレーヤー：ビデオCD

症状	原因	処置
PBCのメニュー画面を呼び出せない。	PBCの付いていないビデオCDを再生している。 PBCをOFFにしている。	PBCの付いていないビデオCDでは操作できません。 PBCをONにしてください。 (→59ページ)
リピート再生、トラック/タイムサーチができない。	PBCがONになっている。	PBCをOFFにしてください。 (→59ページ)

## 内蔵プレーヤー：CD

症状	原因	処置
CD再生中、大きな雑音が出る。CDの再生が途中で止まる。CDが自動的に出てくる。	CDに大きなキズやそりがある。 CDが極端に汚れている。 CDに曇りや水滴がついている。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。 CDの汚れをふき取ってください。 (→128ページ) CDの曇りや水滴をふき取ってください。 (→128ページ)

## ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (→33ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (→33ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 (→33ページ)

## テレビ

症状	原因	処置
テレビの映りが悪い。“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。(→47ページ)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。(→47ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りが良くなり、雑音が少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 (→47ページ)

## こんなメッセージが表示されたら

### 内蔵プレーヤーのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処置
「ERROR-02」	ディスクが汚れているとき。	ディスクの汚れをふき取ってください。(→128ページ)
	ディスクにキズやひびがあるとき。	ディスクを交換してください。
「ERROR-05」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	リセットボタンを押してください。(→121ページ)
「THERMAL PROTECTION IN MOTION (TEMP)」	本機の内部温度に異常があるとき。	本機が正常に動作する温度になるまでお待ちください。
「DIFFERENT REGION DISC (REGION ERR)」	リージョン番号が異なるディスクを使用しているとき。	リージョン番号「2」を含むDVDに交換してください。
「NON-PLAYABLE DISC (NON-PLAY)」	ディスクの裏表を逆にしてセットしているとき。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。(→20ページ)
	本機では再生できないディスクを使用しているとき。	本機で再生できるディスクに交換してください。(→123ページ)

## オートイコライジングのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処置
「マイクを確認下さい」	マイクが接続されていない。	付属のマイクをきちんと差し込んでください。(→97ページ)
「フロントレフトスピーカーを確認下さい」 「フロントライトスピーカーを確認下さい」 「フロントスピーカーを確認下さい」 「センタースピーカーを確認下さい」 「サブウーファーを確認下さい」 「リアレフトスピーカーを確認下さい」 「リアライトスピーカーを確認下さい」	スピーカーの計測音がマイクで拾えない。	本機の電源を入れて、スピーカーから音が出るか確認してください。音が出ない場合は、スピーカーリード線の接続を確認してください。(「取付説明書」参照) 付属のマイクを正しくセットしてください。
「騒音が大きすぎます」	周囲の騒音レベルが高すぎる。	なるべく静かな所に車を停車し、車のエンジン、およびエアコンやヒーターを止めてください。 付属のマイクを正しくセットしてください。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

### 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

### 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

### 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

### ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 仕 様

## 共通部

## 使用電源：

DC 14.4 V (10.8～15.1 V 使用可能)

## アース方式：

マイナスアース方式

## 最大消費電流：

本体：10.0 A

ハイダウェイ部：3.5 A

## 外形寸法：

## (本体取付寸法)

178 (W) × 50 (H) × 165 (D) mm

## (本体ノーズ寸法)：

170 (W) × 46 (H) × 31 (D) mm

## (ハイダウェイ部寸法)

279 (W) × 28 (H) × 171 (D) mm

## 質 量：

本体：2.3 kg (コードユニット含まず)

ハイダウェイ部：1.1 kg (コードユニット  
含まず)

## オーディオ/DSP部

## 最大出力：

50W × 5

## 定格出力：

22W × 5

(50～15,000 Hz、5 % THD)

## 負荷インピーダンス：

4 Ω (4～8 Ω 使用可能)

## プリアウト：

最大出力レベル：

5.0 V

出カインピーダンス：

100 Ω

## デコーダー：

リニアPCM/ドルビーデジタル/ドルビー

プロロジックII/DTS

## サブウーファー：

クロスオーバー周波数：

63/80/100/125/160/200 Hz

レベル：

±10 dB

## スピーカー設定：

タイムアライメント：

0.00～5.00 m (2.5 cm)

調整幅：

±10 dB

イコライザー：

バンド：3バンド

周波数：40/50/63/80/100/

125/160/200/250/

315/400/500/630/

800/1k/1.25k/1.6k/2k/

2.5k/3.15k/4k/5k/6.3k/

8k/10k/12.5k Hz

ゲイン：±12 dB

Qファクター：1.2/3.6

クロスオーバー周波数：

63/80/100/125/160/

200 Hz

## モニター部

## 画面サイズ：

7.0 インチワイドモニター

## アスペクト比：

16 : 9

## 有効表示面積：

154 × 87 mm

## 有効画素数：

336,960 画素 (1,440 × 234)

## 方式：

TFTアクティブマトリクス方式

## 使用温度範囲：

-10 ～ +50 °C

## 保存温度範囲：

-20 ～ +80 °C

## スライド角度調整範囲：

50° ～ 110° (初期設定角度：110°)

## DVDプレーヤー部

## 形式：

DVDオーディオ、DVDビデオ、ビデオCD、

CD、dts CDおよびMP3システム

## リージョン番号：

2

## 使用ディスク：

DVDオーディオ、DVDビデオ、ビデオCD、

CDおよびdts CD

## 信号フォーマット：

サンプリング周波数：  
16/22.05/24/44.1/48/88.2/  
96/176.4/192 kHz  
量子化ビット数：  
16/20/24ビット直線

## 周波数特性：

5~96,000 Hz (DVD、サンプリング周波  
数192 kHz時)

## S/N比：

97 dB (IHF-A ネットワーク)  
96 dB (IHF-A ネットワーク) : CD

## ダイナミックレンジ：

95 dB (1 kHz)  
94 dB (1 kHz) : CD

## 高調波歪率：

0.008 % (1 kHz)

## 出力レベル：

映像  
1 Vp-p/75 Ω  
音声  
1.1 V (1 kHz、0 dB)

## チャンネル数：

2 (ステレオ)、デジタル 6 ch

## MP3デコーディングフォーマット：

MPEG-1 & 2 Audio Layer-3

## FMチューナー部

### 受信周波数帯域：

76.1~89.9 MHz

### 実用感度：

8 dBf (0.7  $\mu$ V/75 Ω、  
モノラル、S/N : 30 dB)

### S/N 50 dB感度：

10 dBf (0.9  $\mu$ V/75 Ω、モノラル)

### S/N：

75 dB (IHF-A ネットワーク)

### 高調波歪率：

0.3 % (65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)  
0.1 % (65 dBf入力、1 kHz、モノラル)

### 周波数特性：

30~15,000 Hz ( $\pm$ 3 dB)

### ステレオセパレーション：

45 dB (65 dBf入力、1 kHz)

## AMチューナー部

### 受信周波数帯域：

522~1,629 kHz (9 kHz)

### 実用感度：

18  $\mu$ V (S/N : 20 dB)

### S/N：

65 dB (IHF-Aネットワーク)

## TVチューナー部

### 受信チャンネル：

VHF1 ~ 12 ch、UHF13 ~ 62 ch

### 映像信号方式：

NTSC

### 実用感度：

6 dB $\mu$  (75 Ω、モノラル音声)

### 映像 S/N：

40 dB以上 (59 dB $\mu$ 入力、白100 %)

### 映像雑音制限感度：

40 dB $\mu$

### アンテナ入力：

4 chダイバシティ ( $\phi$ 3.5ミニプラグ)

### アンテナケーブル長：

7.0 m

## 付属品

リモコン	: 1
リチウム電池 (CR2025)	: 1
コードユニット	: 1式
取付ネジ類	: 1式
マイク	: 1
ダイバシティアンテナ	: 1式
取扱説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内	: 1

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。



## 索 引

## あ

アシスト字幕	109
アスペクト比	132
頭出し	
CD	37
DVD	52
DVDプレーヤー	78
MP3	43
ビデオCD	60
マルチCD	65
マルチMD	75
アッテネーター	115
イコライザー	84
一時可倒	19
一時停止	
CD	37、39
DVD	52、56
DVDプレーヤー	81
MP3	42、45
ビデオCD	59、63
マルチCD	67
エラー表示	140
エンタテインメント	115
オートイコライザー	86
オートタイムアライメント/ イコライジング	95、96
音声言語	53、108
音量バランス	87

## か

外部機器	98
角度調節	18
画質調整	119
カットオフ周波数	91
基本設定メニュー	103
グループサーチ	57
言語コード表	131
交通情報	115
コマ送り再生	
DVD	52
ビデオCD	60
コンディションメモリー	116

## さ

視聴制限	111、132
自動開閉	105
字幕言語	54、107
情報プレート	24
初期設定メニュー	98
スキャン再生	
CD	39
DVDオーディオ	56
DVDプレーヤー	81
MP3	45
マルチCD	68
マルチMD	77
スピーカー出力レベル	92
スピーカー設定	89
スロー再生	
DVD	52
ビデオCD	60
静止画	53、132
セットバック	106
ソースレベルアジャスター	87

## た

タイトルサーチ	57
タイトル入力	
CD	40
DVDプレーヤー	82
マルチCD	70
ダイナミックレンジコントロール	58、132
タイムアライメント	94
タイムサーチ	
DVDビデオ	57
ビデオCD	63
ダイレクトサーチ	
DVD	53
ビデオCD	60
チャプターサーチ	57
停止	
CD	37
DVD	52
MP3	42
ビデオCD	59

ディスクの自動再生 .....	101
デジタルアッテネーター .....	100
テストトーン .....	93
デモモード .....	17
時計 .....	105
トラックサーチ	
DVDオーディオ .....	57
ビデオCD .....	63
ドルビーデジタル .....	5、132
ドルビープロロジックII .....	88、132

## は

パケットライト .....	132
バックカメラ .....	104
パラメトリックイコライザー .....	84
パレンタルロック .....	111、132
早戻し/早送り	
CD .....	37
DVD .....	52
DVDプレーヤー .....	78
MP3 .....	42
ビデオCD .....	60
マルチCD .....	65
マルチMD .....	75
バンド	
テレビ .....	47
ラジオ .....	33
ビットレート .....	132
ビデオ入力 .....	103
プリセットチャンネル	
テレビ .....	47、49
ラジオ .....	33、35
プレイバックコントロール .....	59、132
ボーナスメニュー .....	113、133

## ま

マニュアル選局	
テレビ .....	47
ラジオ .....	33
マルチアングル .....	54、110、133
マルチ音声 .....	133
マルチ字幕 .....	133
マルチセッション .....	133
ミュート/アッテネート .....	100
メニュー言語 .....	109

## ら

ランダム再生	
CD .....	39
DVDオーディオ .....	55
DVDプレーヤー .....	80
MP3 .....	44
マルチCD .....	67
マルチMD .....	77
リージョン番号 .....	125、133
リスニングポジション .....	86
リセット .....	121
リニアPCM .....	133
リピート再生	
CD .....	38
DVD .....	55
DVDプレーヤー .....	80
MP3 .....	44
ビデオCD .....	62
マルチCD .....	66
マルチMD .....	76
リモコンコード .....	122
リモコンの操作モード .....	15

## わ

ワイド画面 .....	117
ワイドモード .....	118

## アルファベット・数字

2カ国語放送 .....	50
AUDIOメニュー .....	32、83
AUDIO RESET .....	102
Auto TA/EQ.....	95、96
AVHモード .....	15
BSM .....	34
BSSM .....	48
CD TEXT .....	41、71
COMPRESSION .....	69
D.R.C .....	58
DSP (Digital Signal Processor) .....	32、83
DSPメニュー .....	32
DTS .....	5、133
DVDセットアップメニュー .....	107
DVDモード .....	15
FUNCTIONメニュー	
CD .....	38
DVD .....	54
DVDプレーヤー .....	79
MP3 .....	43
テレビ .....	48
ビデオCD .....	61
マルチCD .....	66
マルチMD .....	76
ラジオ .....	34
ID3 Tag .....	134
ISO 9660フォーマット .....	134
ITS再生 .....	73、82
ITSリスト .....	72、73、74
m3u .....	134
MP3 .....	5、126、134
MPEG .....	134
PBC .....	59、61、132
PPCM .....	134
SETUPメニュー .....	21、103
TVアスペクト .....	110
TVモード .....	15
VBR .....	134



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

## ご購入後の製品の修理・取り扱いのご相談は、お買い求めの販売店へお問い合わせください

- 修理のご依頼は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認のうえ、お買い求めの販売店へご相談ください。
- 取り付け・組み合わせなどのお問い合わせにつきましても、お買い求めの販売店へご相談・ご相談ください。

### 〈下記窓口へのお問い合わせ時のご注意〉

市外局番「0070」で始まるフリーフォンおよび「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。また、一般電話は携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。あらかじめご了承ください。

### 〈安全上のご注意〉

携帯電話などの走行中の使用などの禁止に関する規定が、改正道路交通法（法第71条第5号の5）にて施行されています。自動車または原動機付自転車（原付）からの、携帯電話などによる発信・応答・通話は、安全な場所に止めてからご利用ください。

## 製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

### ● カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

〈受付〉月曜～金曜 9:30～17:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

カーオーディオ/カーナビゲーション製品のご相談窓口： **0070-800-8181-11**  
**03-5496-8016**（一般電話）

カタログのご請求窓口： **0070-800-8181-33**  
ファックス：**03-3490-5718**

パイオニアホームページでのご案内

商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内  
カタログ請求とメールサービス登録のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html>  
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html>

## 部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入に関するご相談については、部品受注センターにご相談ください。

### ● 部品受注センター（フリーダイヤル）

〈受付〉月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話： **0120-5-81095**  
**0538-43-1161**（一般電話）

ファックス： **0120-5-81096**

## ご贈答品などの修理についてのご相談窓口

修理のお問い合わせは、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』の項目をご確認のうえお問い合わせください。ご転居されたり、ご贈答品などで、お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、下記の修理受付センターにご相談ください。

### ● 修理受付センター（沖縄県を除く全国）（フリーダイヤル）

〈受付〉月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話： **0120-5-81028**  
**03-5496-2023**（一般電話）

ファックス： **0120-5-81029**

### ● 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

〈受付〉月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話：**098-879-1910**（一般電話）  
ファックス：**098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

©パイオニア株式会社 2003

< KMMNF/03E00001 > < CRA3478-D >